

HD Video Camera

iVIG HF G40

使用説明書



HDMI

AVCHD
Progressive



CANON
iMAGE
GATEWAY

はじめに

準備

撮影

カスタマイズ

再生／編集

接続

静止画

保存／共有

Wi-Fi

メニュー

その他

本機の特長

高画質HD記録システム

**291万画素、1/2.84型HD CMOS PROと
映像処理プラットフォーム「DIGIC DV 4」
を搭載**

有効画素数約291万画素（2136×1362）の1/2.84型単板式CMOSイメージセンサーと映像処理プラットフォーム「DIGIC DV 4」を搭載。防振機能や低照度での画質に優れ、さまざまな撮影ニーズに応えます。

高画質ワイドズームレンズ

コンパクト光学20倍ズームレンズを搭載。35mm換算でワイド26.8mm*からと多様な撮影シーンに応えます。

* 手ブレ補正の「ダイナミック」使用時は、28.8mmになります。

優れた操作性と汎用性

機動力を発揮する小型ボディ

高性能を小型、軽量ボディに凝縮。機動力が求められる現場で活躍します。

**作品づくりに集中できる優れた
マニュアル操作性**

フォーカスとズームを切り換えできるフォーカス／ズームリングを搭載。よく使う機能を割り当てることができるカスタムボタンとカスタムキー、5個のアサインボタンを搭載することで、操作性を向上させました。

**ノンカメラマンによる撮影時にも配慮した
自由な構図を実現するフェイスキャッチ
テクノロジー**

横顔に近い状態でも、検出した顔を追尾してフォーカスする顔追尾機能。さらに、顔が検出されている間のみ顔にフォーカスするフェイスオンリー AF機能*を搭載。

* 顔が検出されていないときはマニュアルフォーカスになります。

**多彩な動画形式で、長時間撮影と
安心バックアップ機能**

AVCHDとMP4の動画形式に対応。2つのカードスロットを搭載し、片方のSDカードの残量がなくなったら自動的に他方のSDカードへ記録したり（リレー記録）、同じ映像を同時に記録したり（同時記録）することができます*。

* 同時記録は、同じ形式または異なる形式でカードに記録することができます。

有機ELパネルとビューファインダー

静電容量方式タッチパネルの有機ELパネルを採用。クリアな画面表示と軽快な操作感覚を実現しています。また、ビューファインダーは、上方約45°までの角度調整ができますので、ローアングル時の操作性を向上させています。

2.4GHz/5GHz対応無線ネットワーク (Wi-Fi対応)

スマートフォンやタブレットなど、ネットワークに接続した機器からリモート操作が可能（ブラウザリモート）。端末上のWebブラウザからカメラを遠隔操作できます。5GHzに対応していますので、より安定したWi-Fi接続が可能です。また、再生時には、撮影した映像をiOS機器からYouTubeやFacebookにアップロード*や、スマートフォンやタブレットなどのWebブラウザで一覧表示（ブラウザレビュー）することも可能。アクセスポイントを介して、パソコンなどで映像を再生（メディアサーバー）や映像ファイルをFTPサーバーに転送することもできます。

* iOSアプリMovie Uploaderのインストールが必要です。

制作意図に応える多彩な表現力

さまざまな映像表現が可能な記録機能 (M57、117)

スロー&ファストモーション記録*¹では、記録速度を変更することにより、最低0.5倍速のスローモーション撮影や最大1200倍速のファストモーション撮影ができます*²。

プレ記録では撮影開始時点の約3秒前から記録することで、撮り逃がしを防ぎます。

*¹ MP4形式動画のみ

*² 「フレームレート」を「29.97P」に設定しているとき

映像表現にあわせて、多彩な画づくりを実現するピクチャー設定 (M91)

多彩なピクチャー設定を搭載。ルックの設定や、色の濃さ、シャープネス、コントラスト、明るさなどを調整して画質調整が可能です。ルックの「Wide DR」では、広いラチチュードを持つガンマと、ガンマに合わせた色再現。また、ルックの「高輝度優先」を使って撮影すると、高輝度領域を圧縮しないため、白トビを抑え、自然な階調で撮影します。再生時、外部モニターを明るく設定することで、より高精細な映像を楽しむことができます。

使いやすさを向上させる さまざまな機能

- 正確な残量を確認できるインテリジェントリチウムイオンバッテリー。
- GPSレシーバー GP-E2（別売）を接続すると、映像にGPS情報を付加することができます。
- 撮影状況によって、4種類の手ブレ補正を自動で切り換えるマルチシーンIS。

Contents

本機の特長	2
本書の読みかた	8

はじめに

商品を確認する	10
各部の名称	12
本体の名称	12
リモコン WL-D89の名称	17

準 備

バッテリーを充電する	20
フェライトコアを取り付ける	20
バッテリーを充電する	20
カメラを準備する	24
レンズフードとレンズキャップについて	24
ビューファインダーの視度を調整する	25
有機ELパネルを使う	26
グリップベルトを調節する	26
リストストラップ (別売)を取り付ける	27
ショルダーストラップ (別売)を取り付ける	27
リモコンを使う	28
本体を三脚に取り付ける	29
カメラを操作する	30
電源を入れる／切る	30
カメラモードを切り換える	31
タッチパネルで操作する	32
FUNC. (ファンクション) ボタン／ジョイスティックで操作する	33
日付／時刻を合わせる	34
カードを準備する	35

使用可能なSDカード (2015年11月現在) ...	35
カードを入れる	36
メニューの設定を変える	37
カードを初期化する	39
動画形式を選ぶ	40
記録先を選ぶ	41

撮 影

動画や静止画を撮影する	44
準備する	44
撮影する	45
いま撮ったシーンを確認する (レックレビュー) ...	51
画質を選ぶ	52
記録方法を選ぶ	55
映像のなめらかさを選ぶ	56
スロー&ファストモーション記録を行う	57
撮影フレームレートを設定する	57
映画のように撮る	59
ピントを合わせる	61
MF(マニュアルフォーカス)で調整する	61
フォーカス位置をプリセットする	62
ピントの合った被写体の輪郭に色をつける (ピーキング)	63
AF(オートフォーカス)で調整する	65
AF(オートフォーカス)のスピードを選ぶ	65
顔を検出してAFやAEを合わせる (フェイスキャッチ&追尾)	67
フェイスオンリー AF	68
拡大して撮る	69
フォーカス／ズームリングで操作する	69
グリップズーム／リモコンのズームで操作する	70

ズームの操作を滑らかにする (ソフトズームコントロール)	74
画面のズームボタンで操作する	75
画面中央を拡大して撮る (デジタルテレコン) ...	76
手ブレをおさえて撮る	77
ゲインリミットを調整する	79
動きの速いものを撮る／背景をぼかして撮る ...	80
マニュアルで明るさを調整する	82
明るさを調整する	83
明るい部分にタッチして明るさを 補正する (ハilight AE)	84
強制逆光補正	85
明るさの目安を表示する (ゼブラパターン) ...	86
色合いを調整する	87
場面や目的に合わせて撮る	89
好みの画質にする	91
タイムコードを設定する	93
カウントアップ方式を選ぶ	93
ドロップ／ノンドロップフレームを切り換える ...	94
ユーザービットを設定する	95
任意の16進数を設定する	95
時刻または日付を設定する	95
ユーザービットを出力する	96
ミニアドバンストシューを使う	97
ビデオライトを使う	98
ビデオライトVL-5(別売)を使う	98
音声を記録する	99
サラウンドマイクロホンSM-V1(別売)／ 指向性ステレオマイクロホンDM-100 (別売)を使う	99
ワイヤレスマイクロホンWM-V1(別売)を使う ...	100
市販のマイクを使う	100
場面に合わせて音の設定を選択する (オーディオシーン)	101

内蔵マイク／外部マイク (Φ3.5mm)の 録音レベルを調整する	103
内蔵マイクウィンドカットを使う	105
マイクのアッテネーターを使う	106
内蔵マイクの周波数特性を変える	107
内蔵マイクの指向性を切り換える	108
MICローカットを使う	109
MIC端子入力選択	110
音声ミックス	110
ヘッドホンを使う	112
ヘッドホンで音声を聞きながら撮影／再生する ...	112
再生中にヘッドホン音量を調整する	113
カラーバー／テストトーンを記録する	114
カラーバーを記録する	114
テストトーンを記録する	115
ビデオスナップを撮る	116
撮影チャンスを逃さない	117
画面の表示を切り換える	118
表示される内容や切り換わりかた	118
GPSレシーバー GP-E2を使う	119

カスタマイズ

よく使う機能を設定する	122
機能を割り当てる	122
CUSTOM(カスタム) ボタン／CUSTOM (カスタム)ダイヤルの操作	124
アサインボタンの機能を変更する	125
機能を変更する	126
メニューデータの保存と読み出し	127
メニューデータをカードに保存する	127
メニューデータをカードから読み込む ...	128

再生／編集

シーンを再生する	130
再生する	130
映像を写真として切りとる （あとからフォト）	134
シーンを消す	135
ある日のシーン、選んだシーン、 すべてのシーンをまとめて消す	135
再生一時停止中のシーンを消す	136
シーンを分割する	137
シーンを切りとる	138

接 続

外部モニターを接続する	140
接続のしかた	140
HDMI OUT端子を使用する	141
コンボジット出力端子を使用する	142
音声出力を選択する	143
映像と音声のタイミングを選ぶ （モニターディレイ）	143

静止画

写真を見る	146
再生中に他の静止画にジャンプする （静止画ジャンプ）	147
インデックス画面を出す	148
写真を消す	149
再生中の静止画を消す	149

ある日の静止画、選んだ静止画、 すべての静止画をまとめて消す	149
---	-----

撮影データの保存／共有

シーンをパソコンに保存する	152
静止画をパソコンに保存する	154
ビデオ／写真をカードにコピーする	156
動画をコピーする	156
静止画をコピーする	157
MP4形式の動画に変換する	160
BDレコーダーなどにダビングする	163
ハイビジョン画質のままダビングする ...	163
標準画質に変換してダビングする	164

Wi-Fi（無線接続）

Wi-Fiでできること	168
Wi-Fi機能を使う前に	170
スマートフォンをリモコンとして使って操作する ...	172
カメラパスワードを設定する	172
ブラウザーリモートを使用する	173
ブラウザーリモート中の画面表示	174
ブラウザーリモート画面での操作	176
Android / iOSのスマートフォンなどの	
Webブラウザーで見る	179
iOS機器からアップロードする	181
パソコンなどで見る	183
パソコンなどに転送する	185
Webサービスで共有する	188
準備する	188
使用するWebサービスをビデオカメラに登録する ...	189

動画や静止画をWebサービスに公開する...	191
CANON IMAGE GATEWAYの	
ライブラリで確認する	193
アクセスポイントにWi-Fi接続する	194
必要なものを確認する	194
接続方法を選ぶ	194
WPSで接続する	195
アクセスポイント検索で接続する	196
手動設定で接続する	197
Wi-Fi設定を表示／変更する	199
用語の説明	201

メニュー

FUNC.メニューの紹介	204
撮影時に使う「FUNC.メニュー」	204
再生時に使う「FUNC.メニュー」	205
メニューの紹介	207

その他

画面の見かた	220
撮影時の画面表示	220
再生のときの画面	224
トラブルシューティング	226
まずココを確認しよう！	226
電源	226
撮影中	227
再生中	228
表示やランプ	228
画面や音	229

アクセサリー	230
他機	230
Wi-Fi 接続	231
メッセージが出たら？	232
Wi-Fi 機能使用時	236
Wi-Fi 機能のWebサービス使用時	238
安全上のご注意	240
取り扱い上のご注意	243
ビデオカメラ本体	243
バッテリー	245
カード	246
充電式内蔵電池	246
その他のご注意	247
コイン型リチウム電池（CR2025）	247
日常のお手入れ	248
海外で使う	249
充電する	249
テレビで見る	249
旅行先の日時に合わせる	250
アクセサリー紹介	251
主な仕様	253
iVIS HF G40	253
付属品	256
バッテリーの充電時間／使用時間の目安 ...	257
Full HD 1080iについて	259
索引	261
保証書と修理対応	265
保証書	265
修理対応	265
修理について	266
修理に出すまえに	266
修理のお問い合わせは	266

本書の読みかた

画質を選ぶ

CAMERA MEDIA

録画モード

AVCHDとMP4それぞれで録画モードを設定できます。AVCHDで「28 Mbps LPCM (59.94P)」または「24 Mbps LPCM」で撮影すると、音声はリニアPCM(16ビット、48kHz)の2チャンネル記録が可能です。また、録画モード(C22/50)の18Mbpsは、追従用データとして活用し、FTPファイル転送機能を使い、撮影後すぐにファイルを転送して編集可能です。

動画形式 AVCHD MP4 カメラモード AUTO M CINEMA

録画モード一覧

動画形式	録画モード	解像度	音声記録形式
MP4	28 Mbps (LPCM (59.94P))	1920 × 1080	リニアPCM
	28 Mbps (59.94P)		Dolby Digital
	24 Mbps LPCM		リニアPCM
	24 Mbps		Dolby Digital
	17 Mbps	1440 × 1080	Dolby Digital
	5 Mbps		
AVCHD	35 Mbps (59.94P)	1920 × 1080	AAC
	24 Mbps		
	17 Mbps	1280 × 720	
	8 Mbps (59.94P)		
	4 Mbps		
3 Mbps	640 × 360		

FUNC. 1 タッチする

MENU 2 録画モードを選ぶ

- ① [MENU] (メニュー) → [] をタッチする。
- ② 「録画モード」をタッチする。
- ③ いずれかをタッチする。



x 3 タッチする

52

POWER(電源)スイッチの位置を示すマーク

- CAMERA MEDIA CAMERAにする
- CAMERA MEDIA MEDIAにする
- CAMERA MEDIA CAMERAかMEDIAにする

モードスイッチやボタンの状態を示すマーク

動画形式 AVCHD MP4

AVCHD形式とMP4形式のどちらの動画に対応するか示すマーク。

カメラモード AUTO M CINEMA

撮影時に選択するモード。AUTO (オート)、M (マニュアル)、CINEMA (シネマ)がある。

コラムのマーク

！ 必ず守っていただきたいこと
ご注意

MEMO 知っておいていただきたいこと

POINT 知っていると便利なこと

画質を選ぶ

撮影

POINT

録画時間の目安

AVCHD形式

録画モード	容量	8GB	16GB	32GB	64GB	128GB
28 Mbps LPCM (59.94P)	35分	18時間15分	28時間30分	5時間05分	10時間10分	
28 Mbps (59.94P)	40分	18時間25分	28時間55分	5時間55分	11時間55分	
24 Mbps LPCM	40分	18時間25分	28時間55分	5時間55分	11時間55分	
24 Mbps	1時間	28時間05分	48時間10分	8時間20分	16時間45分	
17 Mbps	3時間	68時間05分	128時間15分	24時間30分	48時間	

MP4形式

録画モード	容量	8GB	16GB	32GB	64GB	128GB
35 Mbps (59.94P)	30分	18時間	28時間	48時間	88時間	
24 Mbps (59.94P)	40分	18時間25分	28時間55分	5時間55分	11時間55分	
24 Mbps	1時間	28時間05分	48時間10分	8時間20分	16時間45分	
8 Mbps (59.94P)	2時間10分	48時間20分	88時間40分	17時間20分	34時間45分	
4 Mbps	48時間20分	88時間40分	17時間20分	34時間45分	68時間30分	
3 Mbps	58時間40分	118時間25分	22時間55分	45時間55分	91時間55分	

180秒の撮影操作で記録できる時間は、約128時間です。それを越えると自動的に停止します。

次のページに続くことを示すマーク

本文中の表記



参照ページを示す

参考

参考になるページなどを示す

画面

ファインダーの画面、または有機ELパネルの画面のこと

カード

SD/SDHC/SDXCメモリーカードのこと

カメラモード

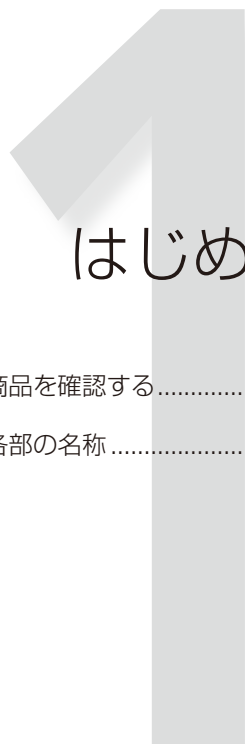
動画撮影モードのこと

メディアモード

再生モードのこと

- 本書で使用している作例写真はスチルカメラで撮影したものです。
- 本書では、見やすくするために加工した画面を一部使用しています。

53



はじめに

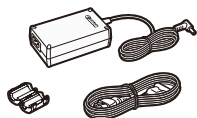
商品を確認する	10
各部の名称	12

商品を確認する

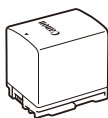
iVIS HF G40には、次のものが付属しています。ご使用になる前に足りないものはないか確認してください。



ビデオカメラ本体



コンパクトパワーアダプター
(ACアダプター) CA-570



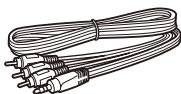
バッテリーパック
BP-820



USBケーブル
IFC-300PCU/S



ハイスピードHDMIケーブル
HTC-100/S



ステレオビデオケーブル
STV-250N



バリア付きレンズフード



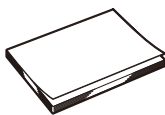
レンズキャップ



リモコン (ワイヤレスコン
トローラー) WL-D89



コイン型リチウム電池
CR2025 (リモコン用)



クイックガイド

使う前に知っておいてください

必ずためし撮りをしてください

映像を撮るときは、必ず事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。万一、ビデオカメラが正常に動作しないときは、「トラブルシューティング」(P.226)をご確認ください。

記録内容の補償はできません

ビデオカメラやSDカードなどの不具合により、記録や再生ができなかった場合であっても、記録内容の補償はご容赦ください。

著作権にご注意ください

録画・録音したビデオは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

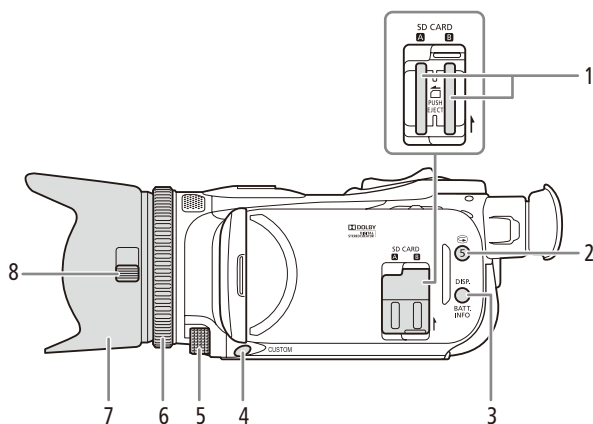
有機ELパネルやビューファインダーの画面について

有機ELパネルやビューファインダーの画面は非常に精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、黒い点があらわれることがあります。また、ビューファインダーの画面には白の点が常時点灯することがあります。これは、故障ではありません。なお、これらの点は記録されません。

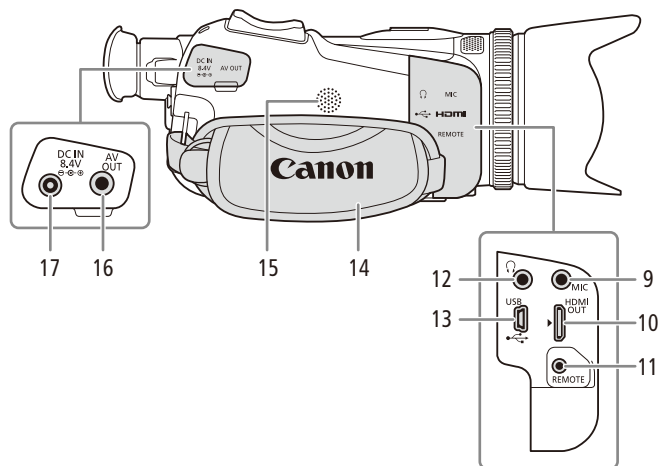
各部の名称

各部の機能と使いかたについては、▶▶に記載されているページをご覧ください。

■ 本体の名称



- 1 カードスロット ▶▶ **A** / **B** ▶▶ 36
- 2 (レックレビュー) / アサイン5ボタン ▶▶ 51
- 3 DISP.(ディスプレイ) ▶▶ 118 / BATT. INFO(バッテリー情報)ボタン ▶▶ 23
- 4 CUSTOM(カスタム)ボタン ▶▶ 122
- 5 CUSTOM(カスタム)ダイヤル ▶▶ 122
- 6 フォーカス／ズームリング ▶▶ 61、69
- 7 レンズフード ▶▶ 24
- 8 レンズバリア開閉スイッチ ▶▶ 44



9 MIC(マイク)端子 ▶▶ 99、116

10 HDMI OUT端子 ▶▶ 140

11 REMOTE(リモート)端子

● 市販のリモコンなどを接続する

12 Ω(ヘッドホン)端子 ▶▶ 112

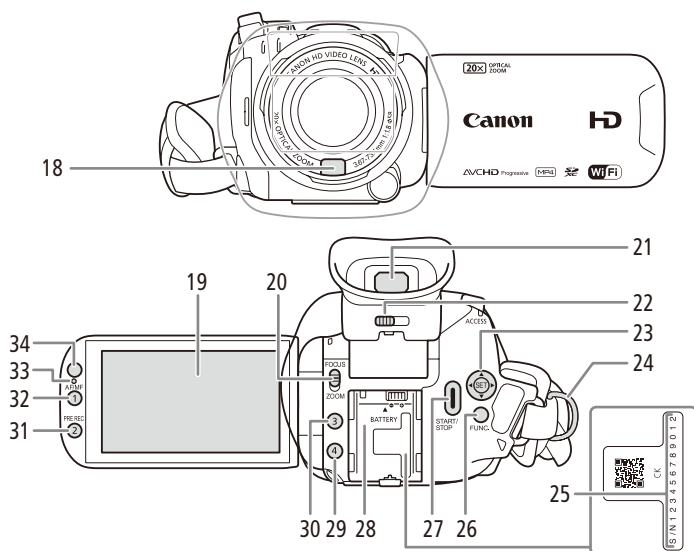
13 USB端子 ▶▶ 119、152

14 グリップベルト ▶▶ 26

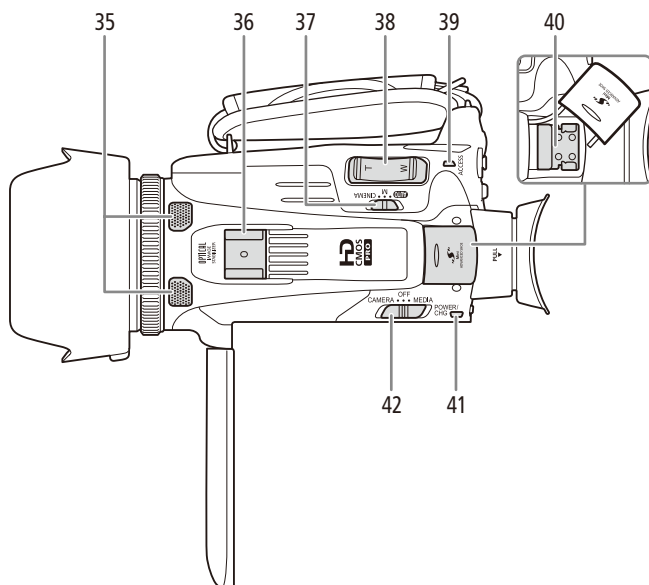
15 内蔵スピーカー ▶▶ 133

16 AV OUT ▶▶ 140

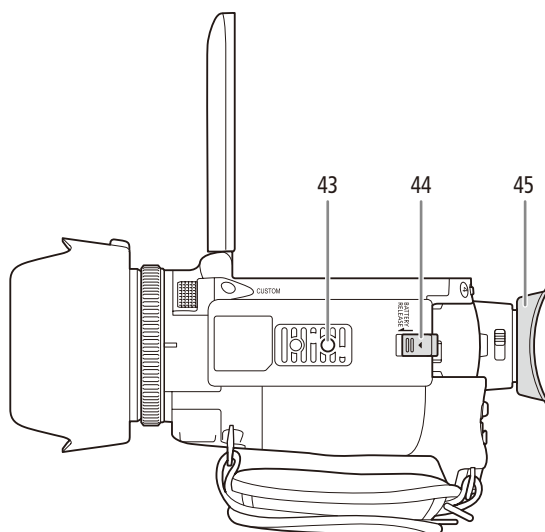
17 DC IN端子 ▶▶ 20



- 18 ハイスピードAF用外部センサー ▶▶ 65
- 19 有機ELパネル (タッチパネル) ▶▶ 26、32
- 20 フォーカス／ズームリング切り換えスイッチ ▶▶ 61、69
- 21 ビューファインダー ▶▶ 25
- 22 視度調整レバー ▶▶ 25
- 23 ジョイスティック ▶▶ 33
- 24 ストラップ取り付け部 ▶▶ 27
- 25 シリアル番号 (機番)
- 26 FUNC.(ファンクション)ボタン ▶▶ 33
- 27 START/STOP(スタート/ストップ)ボタン ▶▶ 45
- 28 バッテリー装着部 ▶▶ 20
- 29 アサイン4ボタン ▶▶ 125
- 30 アサイン3ボタン ▶▶ 125
- 31 PRE REC(プレREC) /アサイン2ボタン ▶▶ 117、125
- 32 AF/MF切り換え/アサイン1ボタン ▶▶ 61、125
- 33 照度センサー ▶▶ 216
- 34 リモコン受光部 ▶▶ 28



- 35 内蔵マイク ▶▶ 107
- 36 コールドシュー
- 37 カメラモード切り換えスイッチ ▶▶ 31、45
- 38 グリップズーム ▶▶ 70
- 39 ACCESS(アクセス)ランプ ▶▶ 36
- 40 Mini ADVANCED SHOE(ミニアドバンストシュー) ▶▶ 97
- 41 電源ランプ／CHG(充電)ランプ ▶▶ 20
- 42 POWER(電源)スイッチ ▶▶ 34

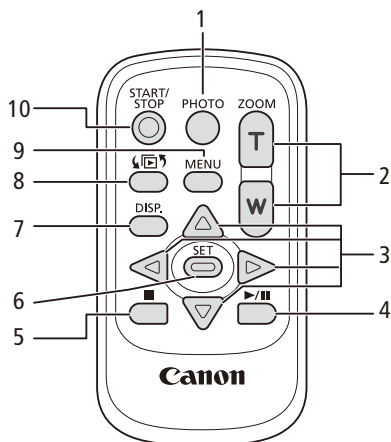


43 三脚ねじ穴 ▶▶ 29

44 BATTERY RELEASE(バッテリー取り外し)スイッチ ▶▶ 22

45 アイカップ ▶▶ 25

■ リモコン WL-D89の名称



- 1 PHOTO(フォト)ボタン▶▶ 46
- 2 ZOOM(ズーム)ボタン▶▶ 69
- 3 ▲/▼/◀/▶ボタン
- 4 ▶/|| (再生/一時停止)ボタン▶▶ 132
- 5 ■ (停止)ボタン▶▶ 132
- 6 SET(設定)ボタン
- 7 DISP.(ディスプレイ)ボタン▶▶ 118
- 8 ◀▶ (インデックス選択)ボタン▶▶ 131
- 9 MENU(メニュー)ボタン▶▶ 37
- 10 START/STOP(スタート/ストップ)ボタン▶▶ 45

準備

バッテリーを充電する	20
カメラを準備する	24
カメラを操作する	30
日付／時刻を合わせる	34
カードを準備する	35
メニューの設定を変える	37
カードを初期化する	39
記録形式を選ぶ	40
記録先を選ぶ	41

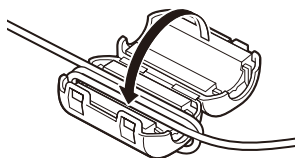
バッテリーを充電する

本機はバッテリーパックを取り付けるか、コンパクトパワーアダプター（ACアダプター）をつないで使用できます。

はじめてお使いになるときは、バッテリーパックを充電してから使います。

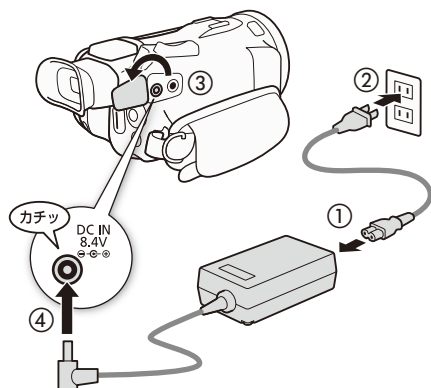
■ フェラライトコアを取り付ける

コンパクトパワーアダプター（ACアダプター）を使用するまえに、フェラライトコアを取り付けてください。フェラライトコアを取り付けることで、発生するノイズを低減できます。

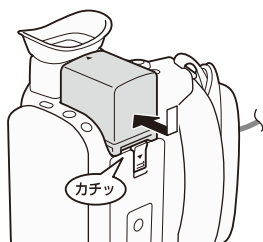


- 1 コンパクトパワーアダプタのプラグの端（ビデオカメラに接続しているプラグ）から約6cmの位置で、フェラライトコアを取り付ける。
- 2 ケーブルを中心に通して、フェラライトコアに1回巻きつけて、フェラライトコアを閉じる。

■ バッテリーを充電する



- 1 コンセントにつなぐ

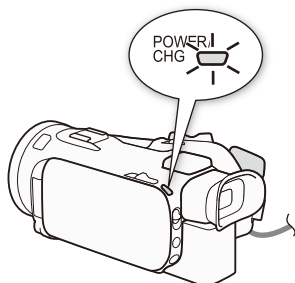


- 2 バッテリーを取り付ける

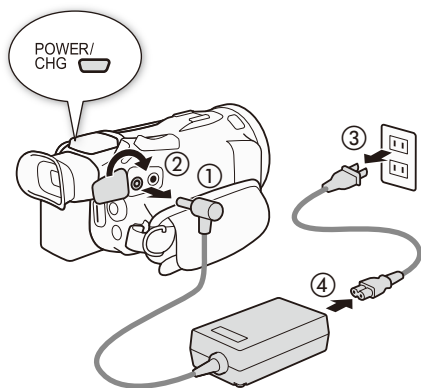
3 電源OFFで充電開始

赤く点灯

点滅しているときは、「トラブルシューティング」の「表示やランプ」(P. 228)をご覧ください。

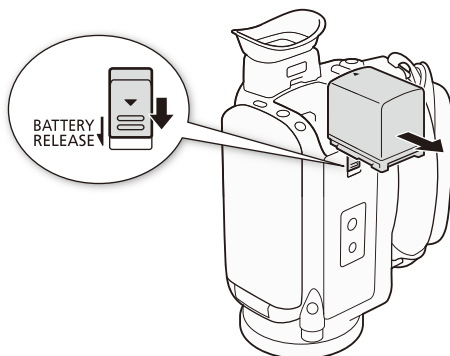


4 点灯→消灯で充電完了



バッテリーを取り外すとき

バッテリー取り外しスイッチを矢印の方向に押して取り外す。



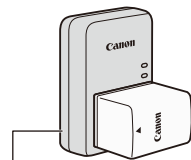
ご注意

- 電源プラグを抜き差しするときは、まず電源を切って、電源ランプが消えていることを確認してください。撮影したデータが破損する恐れがあります。
- 故障の原因となりますので、コンパクトパワーアダプター(ACアダプター)を固定して使用しないでください。



MEMO

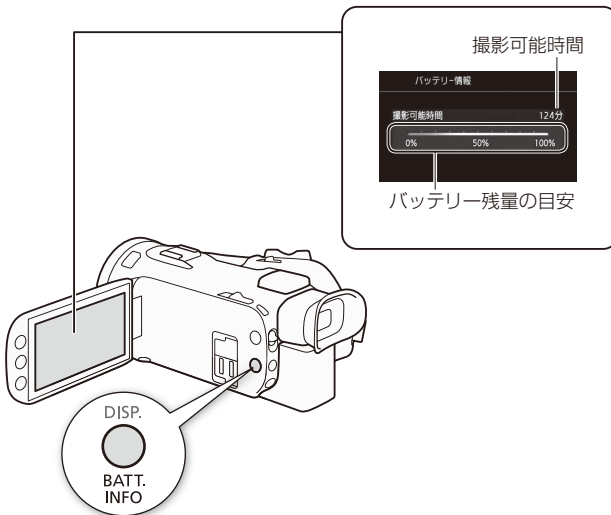
- 10℃～30℃の場所で充電することをおすすめします。バッテリーや周囲の温度が約0℃～40℃(使用温度)の範囲外の場合は、充電できません。
- 充電するときは電源を切ってください。電源が入っているときは充電できません。
- 充電中にコンセントまたはDC IN端子からプラグを抜いたときは、再び接続する前にCHG(充電)ランプの消灯を確認してください。
- バッテリー残量が気になるときは、電源プラグをコンセントにつないだままお使いください。
- バッテリーをフル充電したときの使用時間は257～258ページをご覧ください。
- フル充電したバッテリーも少しずつ放電します。使用直前に充電することをおすすめします。
- 撮影可能時間をより正しく表示するために、ご購入直後にバッテリーを初めて使うときは、一度充電完了まで充電してから使い切ってください。
- 付属のバッテリー BP-820の充電時間は約275分です。なお、周囲の温度や充電状態によって異なります。
- 別売のバッテリーチャージャー CG-800Dを使うと約190分で充電できます。詳しくはバッテリーチャージャーの使用説明書をご覧ください。
- バッテリーの取り扱いについては、245ページをご覧ください。



バッテリーチャージャー
CG-800D(別売)

POINT バッテリーの残量を確認するには

電源OFFのときにBATT.INFOボタンを押すと、バッテリーの残量と撮影可能時間が5秒間表示されます。ただしバッテリーが消耗していると表示されないことがあります。



カメラを準備する

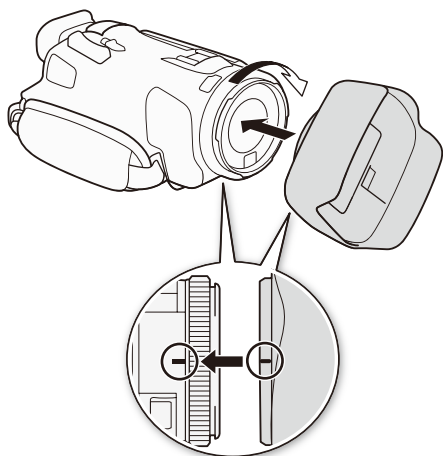
ここでは、レンズフードの取り付け、ビューファインダーや有機ELパネルの調整、グリップベルトやストラップの調整など、はじめに行うカメラの準備について説明します。取り付ける際は、落下したりしないように、机などの安定した所で取り付けてください。

■ レンズフードとレンズキャップについて

撮影時はレンズフードを取り付けてください。ゴーストやフレアなどの低減に効果的です。また、レンズフードのバリアを閉じることで、レンズに指紋などの汚れがつきにくくなります。

レンズキャップはビデオカメラの保管や持ち運びの際にご使用ください。

レンズキャップが付いていると、フードを取り付けることができません。レンズキャップを外してから、レンズフードを取り付けてください。



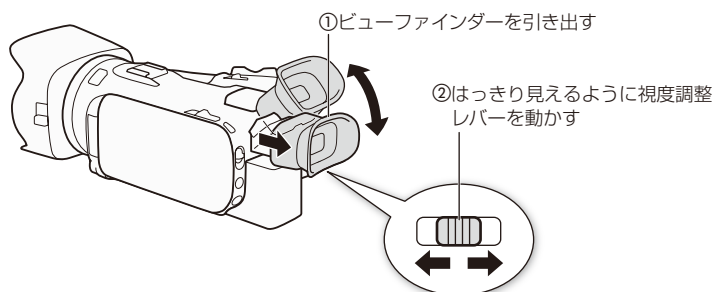
1 レンズキャップを外す。

2 レンズ先端部にフードをはめ込み目印が真下に来るように取り付け (①)、時計方向にカチッと音がして止まるまで回す (②)

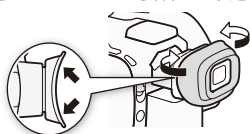
- フードの先端を軽く持って取り付けてください。強く握ると変形して、取り付け/取り外しにくくなります。取り外すときは、フードを矢印の反対方向に回してください。

■ ビューファインダーの視度を調整する

ビューファインダーの映像がはっきり見えるように、視力に合わせて視度を調整します。電源を入れ(□ 45)、視度調整レバーを左右に動かして調整してください。また、ビューファインダーは、角度を調整できます。



MEMO 必ずアイカップを装着した状態でご使用ください。



眼鏡装着時、アイカップのペロ部が邪魔になる場合は➡部を押して、折り返してご使用ください。

POINT 画面を相手に見せながら撮る

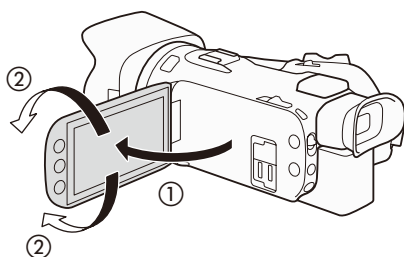
ビューファインダーを表示したまま、有機ELパネルをレンズ側に回転させると、相手に画面を見せながら撮影できます。

どのように映像が撮れているのか、お互いに確認ができて、より自由な撮影スタイルが楽しめます。

- MEMO**
- 画面やビューファインダーの明るさを調整したり、「ビューアシスト」を「ON」(□ 214)にしたりしても、記録される映像の明るさには影響しません。
 - 画面を明るくすると、バッテリーの使用時間が短くなります。
 - 画面やビューファインダーの明るさは、メニューの「有機ELパネル/VF明るさ」(□ 216)で調整できます。また、「有機ELパネル/VF明るさ」はDISP./BATT. INFOボタン(□ 12)を2秒以上押して「高輝度」と「通常」を切り換えることができます。有機ELパネルとビューファインダーの明るさは同時に切り換わります。
 - 有機ELパネル/ビューファインダーの取り扱いについては243ページを、お手入れについては248ページをご覧ください。

■ 有機ELパネルを使う

有機ELパネルを開く



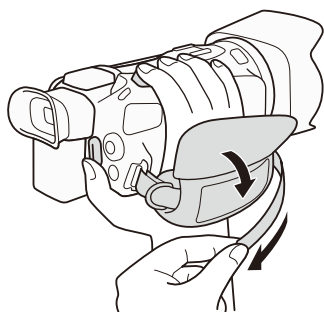
- 1 有機ELパネルを手前に引き出し、見やすい位置まで回転させる



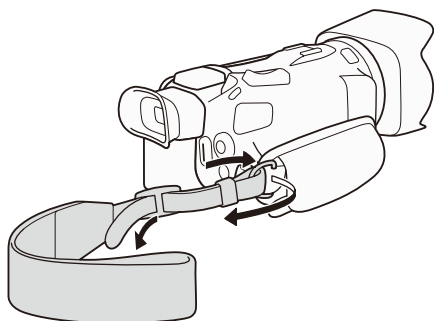
MEMO 有機ELパネルを回転させた際、画面に一瞬ノイズが出るかもしれませんが、故障ではありません。

■ グリップベルトを調節する

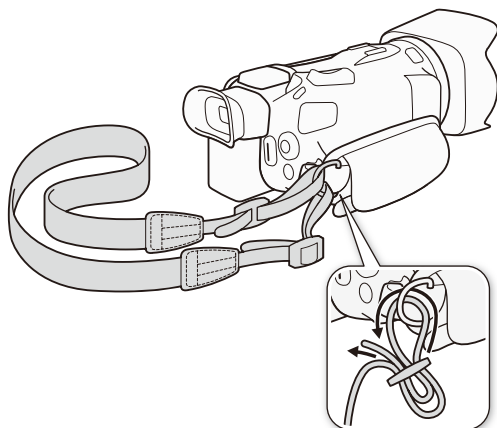
親指がスタート/ストップボタンに、人さし指がグリップズームに、ちょうど合うようにベルトの長さを調節します。



■ リストストラップ (別売)を取り付ける

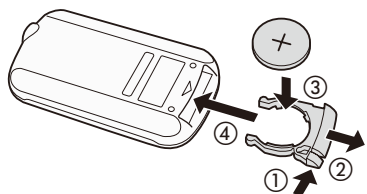


■ ショルダーストラップ (別売)を取り付ける



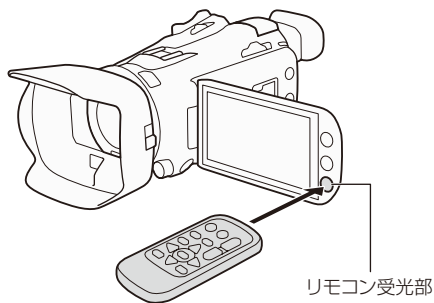
■ リモコンを使う

電池を入れる



- 1 ツマミを押して (①) 引き抜く (②)
- 2 +側を上にして付属の電池を入れる (③)
- 3 リモコンに取り付ける (④)

リモコンを使って操作する



リモコン受光部に向けて、リモコンのボタンを押す。

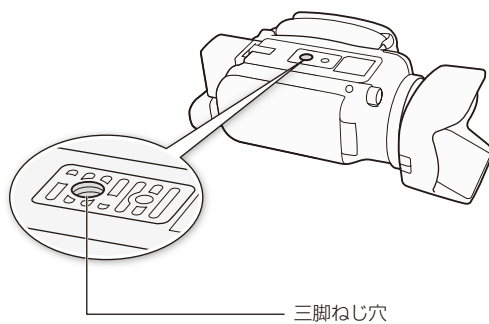


MEMO

- リモコンのボタンを押しても動作しない、本体に近づかないと動作しないなどのときは、電池を交換してください。
- リモコン受光部に直射日光や照明などの強い光が当たっていると、正常に動作しないことがあります。

■ 本体を三脚に取り付ける

取り付けネジの長さが6.5mm以下の三脚を取り付けることができます。

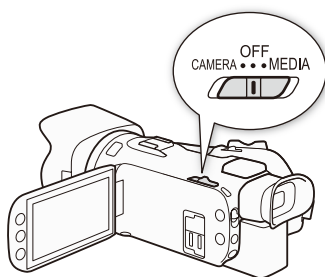


カメラを操作する

ここでは基本的なカメラの操作について説明します。

■ 電源を入れる／切る

本機には、撮影用のカメラモードと再生用のメディアモードとがあり、電源を入れるときに選択します。POWER(電源)スイッチを「CAMERA」にして電源を入れるとカメラモードに、「MEDIA」にして電源を入れるとメディアモードになります。



カメラモードで起動するとき

POWER(電源)スイッチをCAMERAにする



メディアモードで起動するとき

POWER(電源)スイッチをMEDIAにする

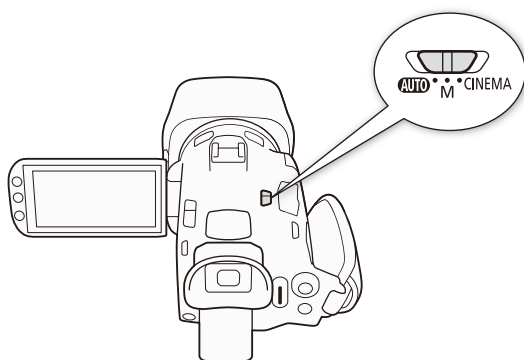


電源を切るとき

POWER(電源)スイッチをOFFにする

■ カメラモードを切り換える

カメラモード切り換えスイッチで撮影時のモードを切り換えます。



AUTO (オート)モード

ビデオカメラまかせで、撮りたい状況に合わせた動画を撮影できます (45)。



M (マニュアル)モード

ピント (フォーカス) や露出など、調整したい機能を自分で設定して撮影できます (49)。



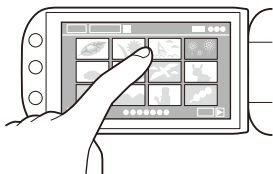
CINEMA (シネマ)モード

映像の色合いや雰囲気を変えて、映画のワンシーンのように撮影できます (59)。

■ タッチパネルで操作する

有機ELパネル（タッチパネル）を直接タッチして直観的に操作できます。

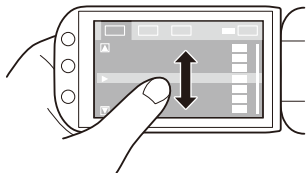
タッチ



画面に表示される項目やボタンなどを指で押します。

- シーン（動画）の再生、項目の選択などに使います。

ドラッグ



画面を押したまま上下または左右に指を移動します。

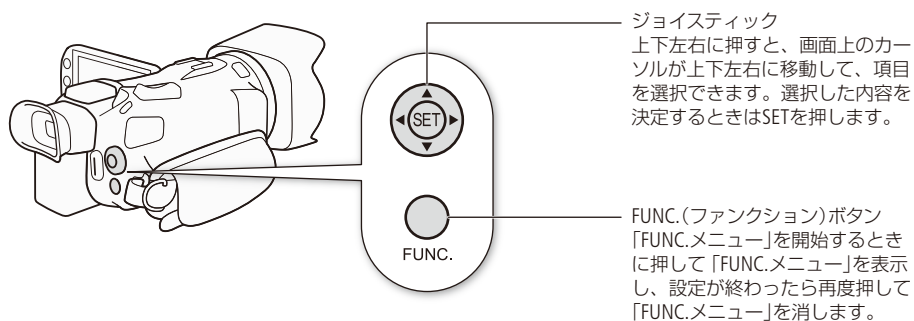
- 指の動きに合わせて画面の表示が変わります。画面スクロールやメニュー操作などに使います。
- 画面によっては、表示される三角マークのボタンをタッチして動かすこともできます。

● **ご注意**  タッチパネルは静電容量方式です。次の場合はタッチパネルが正常に動作しないことがあります。

- 爪先やボールペンなどが当たったもので操作をしたとき。
- ぬれた手や手袋をしたままで操作したとき。
- 強く押したまま擦る操作をしたとき。
- 市販の保護シートやシールなどを貼った上から操作したとき。

■ FUNC.(ファンクション)ボタン／ジョイスティックで操作する

タッチパネルを使わず、FUNC.(ファンクション)ボタンとジョイスティックを使って、本機を操作できます。



日付／時刻を合わせる

CAMERA MEDIA

はじめてお使いになるときは、日付、時刻を設定する画面が表示されます。時刻は、お住まいの地域と旅先の地域の2か所を設定できます。海外旅行先の日時を指定しておく、現地時間で記録できます(□ 250)。

動画形式 AVCHD MP4

カメラモード AUTO M CINEMA

1 電源を入れる (□ 30)

- はじめて電源をいれると「日付/時刻」設定画面がでる。



2 日時を設定する

タッチパネルで操作するとき

- ① 項目(年月日時分)をタッチし、▲/▼をタッチして設定する。

- この操作を繰り返して日時を設定する。

- ② 必要に応じて、日時スタイルを設定する。

- 使用するスタイルをタッチして選ぶ。

- ③ 「OK」をタッチする。



ジョイスティックで操作するとき

- ① ジョイスティックを上下に押して「年」の数字を選ぶ。

- ジョイスティックを右に押すと、カーソルが「月」に移動する。

- ② ①の操作を繰り返して日付/時刻の設定をする。

- ジョイスティックを上下左右に押して「OK」を選びSETを押す。






MEMO

- 日時設定は、メニューの「日付/時刻」で変更できます。また、地域とサマータイムをメニューの「エリア/サマータイム」で設定できます(□ 214、250)。
- 本機を約3か月使わないと、内蔵の充電式電池が放電して、日時の設定が解除されることがあります。その場合は、充電してから設定し直してください(□ 246)。

カードを準備する

本機では、動画や静止画をSDカードに記録します（下表）。SDスピードクラス4、6、10のカードの使用をおすすめします。*1

■ 使用可能なSDカード（2015年11月現在）

メモリーカードのタイプ	 SDメモリーカード、  SDHCメモリーカード、  SDXCメモリーカード
スピードクラス*2	SDスピードクラス CLASS4 、 CLASS6 、 CLASS10
容量	128 MB以上*3

*1 「録画モード」(□□ 52)を「28 Mbps」または「35Mbps」に設定しているときは、SDスピードクラス6、10のカードの使用をおすすめします。また、「Slow & Fastモーション記録」(□□ 57)で撮影するときは、クラス10のカードの使用をおすすめします。

*2 SDスピードクラスに対応していないSDメモリーカードや、スピードクラス2のSDメモリーカードを使う場合、カードによっては動画を記録できないことがあります。

*3 容量が64 MB以下のSDメモリーカードには、動画を記録できません。

動画記録時の動作確認済みメモリーカード

次のメーカー製のSD / SDHC / SDXCメモリーカードについて、動画記録時の動作を確認しています。

- Panasonic
- TOSHIBA
- SanDisk

！ ご注意 SDXCメモリーカードをお使いになるときは

SDXCメモリーカードに対応した機器でのみ使用できます。SDXCに対応する、レコーダー、パソコンまたはカードリーダー／ライターなどでご使用ください。対応状況については、パソコン、OSまたはカードのメーカーにお問い合わせください。

- SDXCメモリーカードに対応していないOSで使用すると、カードの初期化を促すメッセージが表示されることがあります。初期化するとデータが失われますので、キャンセルしてください。
- 撮影や編集を繰り返しているカードの場合、データの書き込み速度が低下し、記録が停止することがあります。あらかじめカードの動画や静止画を保存してから、本機でカードを初期化してください。

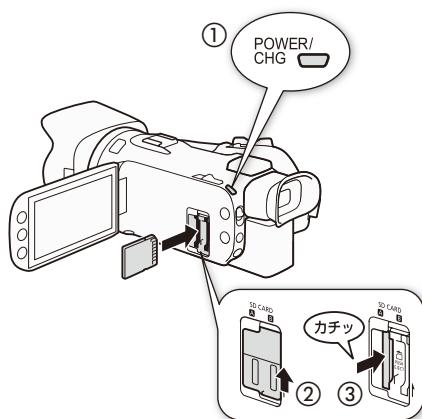


MEMO SDスピードクラスとは？

メモリーカードのデータ記録時の最低速度を保証する規格です。ご購入の際は、スピードクラスのマークを確認してください。

■ カードを入れる

はじめて使用するときは、初期化してからお使いください（[39](#)）。



1 電源をOFFにする (①)

2 カードカバーを開ける (②)

3 カードのラベル面をレンズ側に向けて、カチッと音がするまで奥までしっかり入れる (③)

- カードスロット **A** と **B** いずれかに一枚ずつ入れることもできる。

カードを出すとき

カードの端を押して、カードが出てきたら抜く。

4 カードカバーを閉じる

- カードが正しく入っていない状態で、カバーを無理に閉めない。



● **ご注意**

- アクセスランプが赤色に点灯中は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
 - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
 - カードを取り出さない。
- カードの出し入れは、本体の電源を切ってから行ってください。電源を切らずにカードを出し入れすると、故障の原因となることがあります。
- カードには表裏の区別があります。カードを裏返しに入れると、本機に不具合が発生することがあります。操作3のような正しい向きで入れてください。



MEMO 誤ってデータを消さないために



誤消去防止ツマミ

カードの誤消去防止ツマミを「LOCK」側にする、データを保護できます。

メニューの設定を変える

CAMERA MEDIA

本機のさまざまな機能をご購入時の状態からメニューで変更できます。ここではタッチパネルやジョイスティックを使って行うメニュー設定の基本操作について説明しますので、本書の各項目で説明されているメニュー設定を操作するときの参考にしてください。次ページ以降、本書では主にタッチパネルでの操作を説明しています。メニューの種類については「メニューの紹介」(P.207)をご覧ください。

準備

動画形式 **AVCHD MP4** カメラモード **AUTO M CINEMA**

例 「おしらせ音」を「切」に設定する

FUNC.



1 FUNC.メニューを表示させる

[FUNC.]をタッチ、またはFUNC.ボタン(P.14)を押す。

- メニュー操作モードになり、画面にFUNC.メニューが表示される。



MENU



2 項目を選ぶ

タッチパネルで操作するとき

[MENU] (メニュー) → [方向キー] をタッチする。

ジョイスティックで操作するとき

- ① ジョイスティックを上下左右に押して、[MENU] (メニュー) を選んでSETを押す。
- ② ジョイスティックを左右に押して[方向キー]を選ぶ。



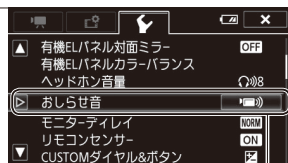
3 機能を選ぶ

タッチパネルで操作するとき

- ① 上下にドラッグして、「おしらせ音」をオレンジ色のバーに合わせる。

- 左端の△または▽にタッチしてスクロールさせることもできる。
- 画面の機能名をタッチしても機能を選べる。自動的にオレンジのバーまでスクロールされる。

- ② 右の△をタッチする。



ジョイスティックで操作するとき

ジョイスティックを上下に押して、「おしらせ音」を選んでSETを押す。

OFF

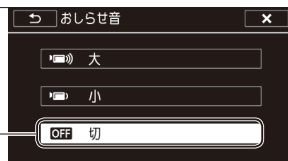
4 設定内容を選ぶ

タッチパネルで操作するとき

[OFF] (切) をタッチする。

ジョイスティックで操作するとき

ジョイスティックを上下に押して、「[OFF] (切)」を選んでSETを押す。



× 5 メニューを終了する

タッチパネルで操作するとき

×をタッチする。

ジョイスティックで操作するとき

ジョイスティックを上下左右に押して、×を選んでSETを押す。



MEMO

- リモコンのMENUボタンを押してもメニューを表示できます。
- ×をタッチしたり、FUNC.ボタンを押したりすると、メニューはいつでも終了します。
- 他の機能の設定内容などにより設定できない機能は、灰色で表示されます。

カードを初期化する

CAMERA MEDIA

カードをはじめて使用するときや、カードに記録した動画/静止画などすべての情報を消すときに初期化します。初期化には「初期化」と「完全初期化」があり、データを完全に抹消する必要があるときは「完全初期化」を選びます。

動画形式 AVCHD MP4

カメラモード AUTO M CINEMA

1 コンパクトパワーアダプター (ACアダプター)をつなぐ

- 初期化中は取り外さない。

FUNC.

2 タッチする

メディアモードのときは、この操作は不要。

MENU



3 初期化するカードを選ぶ

- ① [MENU] (メニュー) → → 「初期化 [SD]」をタッチする。
- ② 「[A] カードA」または「[B] カードB」をタッチする。

4 初期化を選ぶ

- ① 「初期化する」をタッチする。

データを完全に消去するとき
「完全初期化」をタッチする。

- ② 「はい」をタッチする。

完全初期化を中止するとき

「中止」をタッチする。カードはそのまま使用できるが、データはすべて消える。

- ③ 「OK」をタッチする。

画面例：カードAの場合



×

5 タッチする



● ご注意

- 初期化すると、すべての情報が消え、元に戻せません。残しておきたい動画や静止画がある場合は、パソコンやBD(ブルーレイディスク)などにバックアップ (152, 163) してから初期化してください。

動画形式を選ぶ

CAMERA MEDIA

本機ではAVCHD形式、MP4形式の2つの動画形式で動画を記録できます。

MP4形式の場合、以下を行うことができます。

- ・ iPhoneなどスマートフォンでの再生
- ・ YouTubeやFacebookなどへのアップロード

動画形式 AVCHD MP4

カメラモード AUTO M CINEMA

FUNC.

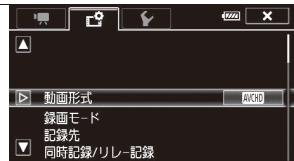
1 タッチする

MENU



2 動画形式を選ぶ

- ① MENU (メニュー) → [カメラ] をタッチする。
- ② 「動画形式」をタッチする。
- ③ 「AVCHD AVCHD」または「MP4 MP4」を選ぶ。



×

3 タッチする

- 選択した動画形式のアイコンが画面に表示される。

記録先を選ぶ

CAMERA MEDIA

動画や静止画の記録先を選びます。

動画形式 AVCHD MP4

カメラモード AUTO M CINEMA





FUNC.

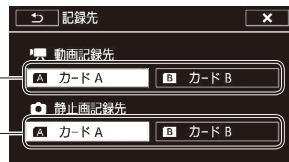
1 タッチする

MENU



2 動画または静止画の記録先を選ぶ

- ① [MENU] (メニュー) →  をタッチする。
- ② 「記録先」をタッチする。
- ③ 「 動画記録先」と「 静止画記録先」をそれぞれ「**A** カードA」または「**B** カードB」を選んでタッチする。
- ④  をタッチする。



×

3 タッチする

- 「動画記録先」で選択した記録先のアイコンが画面に表示される。

撮 影

動画や静止画を撮影する	44	場面や目的に合わせて撮る	89
画質を選ぶ	52	好みの画質にする	91
記録方法を選ぶ	55	タイムコードを設定する	93
映像のなめらかさを選ぶ	56	ユーザービットを設定する	95
スロー&ファスト モーション記録を行う	57	ミニアドバンストシューを使う	97
映画のように撮る	59	ビデオライトを使う	98
ピントを合わせる	61	音声を記録する	99
拡大して撮る	69	ヘッドホンを使う	112
手ブレをおさえて撮る	77	カラーバー／テストトーンを 記録する	114
ゲインリミットを調整する	79	ビデオスナップを撮る	116
動きの速いものを撮る／ 背景をぼかして撮る	80	撮影チャンスを逃さない	117
マニュアルで明るさを調整する	82	画面の表示を切り換える	118
明るさを調整する	83	GPSレシーバー GP-E2を使う	119
色合いを調整する	87		

動画や静止画を撮影する

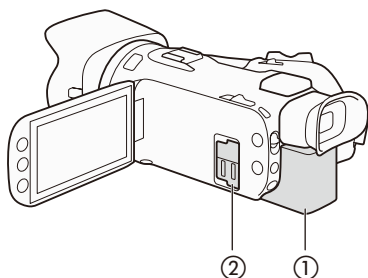
CAMERA MEDIA

ここでは基本的な撮影について説明します。音声の記録については、99ページをご覧ください。

動画形式 AVCHD MP4

カメラモード AUTO M CINEMA

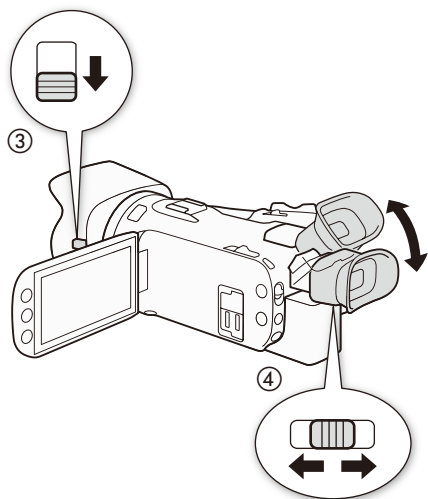
準備する



1 充電したバッテリーパックを取り付ける (①)

2 SDカードを入れる (②)

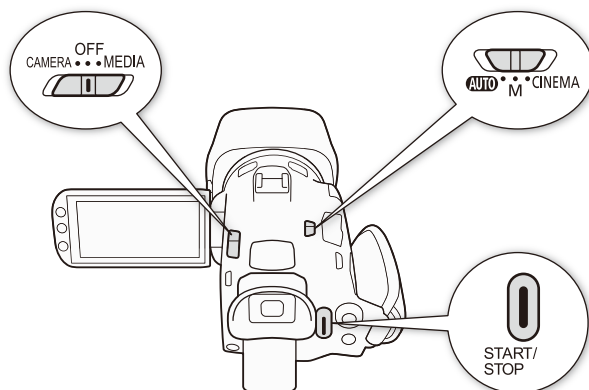
- 「同時記録」「リレー記録」(P. 55)を行うときは、カードを2枚入れる。



3 レンズバリア開閉スイッチを下げ、レンズバリアを開ける (③)

4 ビューファインダーを使用するときは、ビューファインダーを引き出して、視度や角度を調整する (④) (P. 25)

■ 撮影する



AUTO (オートモード)

このモードでは、ビデオカメラにすべておまかせで気軽に撮影できます。



1 **AUTO** にする

- モードスイッチを「AUTO」側にする (31)。



2 POWER(電源)スイッチを「CAMERA」にする

- 電源ランプが緑色に点灯。



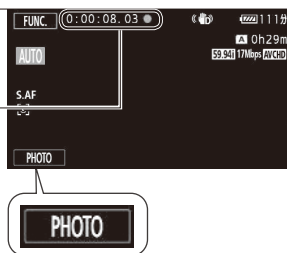
3 START/STOP(スタート/ストップ)ボタンを押す

- 撮影が始まり、画面に●が表示される。
- リモコンの場合、リモコンのSTART/STOPボタンを押す (17)。

静止画を撮るとき

PHOTOボタンをタッチする

- 画面右上に📷と記録先のアイコンが表示される。記録先は、メニューの「記録先」の「静止画」で選んだカードとなる。
- リモコンの場合、リモコンのPHOTOボタンを押す (17)。



4 撮影を停止するとき もう一度START/STOP(スタート/ストップ)ボタンを押す

- 画面の●が■に変わる。
- 1シーン*の動画が記録され、撮影が停止する。
* 本書では、一回の撮影操作で記録された動画を「シーン」と呼びます。

静止画を撮るとき

PHOTOボタンをタッチする

- 画面下部に緑色の⦿と、画面右上に、📷と記録先のアイコンが表示される。記録先は、メニューの「記録先」の「静止画」で選んだカードとなる。
- リモコンの場合、リモコンのPHOTOボタンを押す (17)。



5 レンズバリアを閉じて、電源をOFFにする

- ① レンズバリア開閉スイッチを上げて、レンズバリアを閉じる。
- ② ACCESSランプが消えていることを確認する。
- ③ POWER(電源)スイッチを「OFF」にする。
- ④ 有機ELパネルを垂直にしてから閉じる。ビューファインダーを引き出しているときは元の位置に戻す。

POINT こだわりオートの自動設定機能

ビデオカメラはシーンに応じて、ピント合わせや被写体の明るさ、色合い、手ブレ補正、画質が最適になるように自動的に調整します。判別した被写体やシーンに応じて、画面に次のようなマークが出ます。

背景 被写体	明るい (灰色)	青空 (水色)	鮮やかな色 (緑/黄/赤色)	夕景 (オレンジ色)
静止した人物				—
動いている人物				—
風景など、人物 以外の被写体				
近くの被写体				—

()は逆光下の場合。

背景 被写体		暗い(紺色)	
		スポットライト	夜景
静止した人物		—	—
動いている人物		—	—
風景など、人物 以外の被写体			
近くの被写体		—	—

* 望遠端付近にズームして被写体に近づくと、自動的にテレマクロが有効になります。テレマクロを使うと背景がぼけるので、被写体を強調したシーンにすることができます。

POINT

マルチシーンISのマークについて

AUTO（オート）モードのときは、撮影状況によって自動的に設定された手ブレ補正に合わせて、マークの表示が変わります。**M**（マニュアル）モードの手ブレ補正については「手ブレをおさえて撮る」(P.77)をご覧ください。

表示されるマーク	撮影状況
《B》（ダイナミック）	ズームの広角側で撮影しているとき ズームの望遠側で、カメラを左右に動かして被写体を追いかけて撮影しているとき
《P》（パワードIS）*	ズームの望遠側で、静止して撮影しているとき
《M》（マクロIS）	近くの被写体を撮影しているとき
《T》（三脚モード）	三脚装着時など、静止して撮影しているとき

* 《P》（パワードIS）は、**MENU**（メニュー）→**〔P〕**の「マルチシーンIS」で「パワードISあり」または「パワードISなし」を選択できます。

M(マニュアル)モード

このモードではピント(フォーカス)や露出など、自分で設定して撮影できます。

**1 Mにする**

- モードスイッチを「**M**」側にする。

**2 POWER(電源)スイッチを「CAMERA」にする**

- 電源ランプが緑色に点灯。

3 動画／静止画を撮影する

- 操作のしかたは **AUTO** (オート)モードと同じ(□ 46)。



- ACCESSランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
 - カードカバーを開けない。
 - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
 - カメラモードスイッチを切り換えない。
- 万一のデータ破損に備えて、撮影したデータは必ずバックアップしてください。データ破損の場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。



MEMO

- **[MENU]**(メニュー)→**[F4]**の「記録コマンド」を「入」にして本機とHDMI記録コマンド対応機器をHDMI OUT端子でつなぐと、本機の撮影／撮影停止操作(START/STOPボタンの操作)と連動して、他機の記録／記録停止を行うことができます。
 - 「記録コマンド」を「入」にすると、「ビデオスナップ」、「オートパワーオフ」は使用できません。
- 撮影中にリレー記録(□ 55)が発生すると、撮影された映像はそれぞれ別々のシーンとして記録されます。撮影された映像は、ソフトウェアData Import Utilityで結合して1つのファイルとしてパソコンに取り込むことができます(□ 152)。
- シーン内の映像ファイル(ストリーム)は、約4GBに分割して記録されます(本機で再生したときは、連続して再生されます)。分割されたファイルは、ソフトウェアData Import Utilityで結合して1つのファイルとしてパソコンに取り込むことができます(□ 152)。
- 画面に光が当たって映像がよく見えないときは、ビューファインダーを使うか画面の明るさを調節してください(□ 216)。
- **[MENU]** (メニュー)→**[F4]**の「オートパワーオフ」を「入」にすると、バッテリー使用時、約5分間何も操作しないと、節電のために電源が切れます。

「こだわりオート」のシーン判別について

シーンによっては、実際のシーンと異なるマークが出る場合があります。特に背景がオレンジ色や青色の壁などのときは、や「青空」のマーク類が出て、適切な色合いで撮影できないことがあります。そのときは**M**(マニュアル)モードで撮影することをおすすめします。

静止画について

- **AUTO**(オート)モードまたは**M**(マニュアル)モードで、動画を撮影中または撮影停止中に、静止画を記録できます(□ 46)。静止画のサイズと、1GBのメモリーカードに記録できるおおよその静止画枚数は以下の通りです。ただし、撮影条件や被写体により記録できる枚数は異なります。

動画形式	録画モード	静止画サイズ	記録可能枚数
AVCHD	すべて	1920x1080	660枚
MP4	35 Mbps, 24 Mbps, 17 Mbps	1920x1080	660枚
	8 Mbps, 4 Mbps	1280x720	1490枚
	3 Mbps	640x360	5800枚

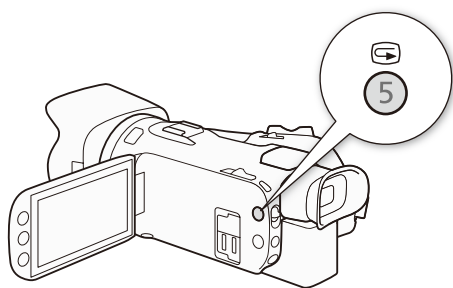
- 撮影した映像から、気に入った場面を静止画として切りとることもできます(あとからフォト)(□ 134)。


画面を閉じて撮影する

- 三脚に取り付けて長時間撮影する場合は、画面を閉じてビューファインダーで撮影するとバッテリーの持ちが良くなります(□ 25、257 ~ 258)。

■ いま撮ったシーンを確認する（レックレビュー）

直前に撮ったシーンを再生して、録画状態をチェックすることができます。このとき、音声は再生されません。初期設定ではアサインボタン5(□ 12)に割り当てられていますので、アサインボタン5を押して操作します。



撮影が終了したあと、（レックレビュー）ボタンを押す。

- 直前に撮ったシーンの最後の4秒間が再生される。

画質を選ぶ

CAMERA

MEDIA

録画モード

AVCHDとMP4それぞれで録画モードを設定できます。AVCHDで「28 Mbps LPCM (59.94P)」または「24 Mbps LPCM」で撮影すると、音声はリニアPCM(16ビット、48kHz)の2チャンネル記録が可能です。また、録画モード(□ 52)の「3Mbps」は、速報用データとして活用。FTPファイル転送機能を使い撮影後すぐにファイルを転送して編集可能です。

動画形式 AVCHD MP4

カメラモード

AUTO M CINEMA

録画モード一覧

動画形式	録画モード	解像度	音声記録形式
AVCHD	28 Mbps LPCM (59.94P)	1920 x 1080	リニアPCM
	28 Mbps (59.94P)		Dolby Digital
	24 Mbps LPCM		リニアPCM
	24 Mbps		Dolby Digital
	17 Mbps		
	5 Mbps	1440 x 1080	
MP4	35 Mbps (59.94P)	1920 x 1080	AAC
	24 Mbps		
	17 Mbps		
	8 Mbps (59.94P)	1280 x 720	
	4 Mbps		
	3 Mbps	640 x 360	

FUNC.

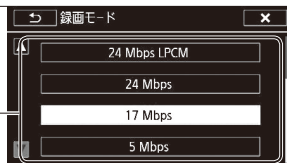
1 タッチする

MENU

2 録画モードを選ぶ

□

- ① MENU (メニュー) → □ をタッチする。
- ② 「録画モード」をタッチする。
- ③ いずれかをタッチする。



×

3 タッチする

POINT

録画時間の目安

AVCHD形式

容量	8GB	16GB	32GB	64GB	128GB
録画モード					
28 Mbps LPCM (59.94P) 28 Mbps (59.94P)	35分	1時間15分	2時間30分	5時間05分	10時間10分
24 Mbps LPCM 24 Mbps	40分	1時間25分	2時間55分	5時間55分	11時間55分
17 Mbps	1時間	2時間05分	4時間10分	8時間20分	16時間45分
5 Mbps	3時間	6時間05分	12時間15分	24時間30分	49時間

MP4形式

容量	8GB	16GB	32GB	64GB	128GB
録画モード					
35 Mbps (59.94P)	30分	1時間	2時間	4時間	8時間
24 Mbps	40分	1時間25分	2時間55分	5時間55分	11時間55分
17 Mbps	1時間	2時間05分	4時間10分	8時間20分	16時間45分
8 Mbps (59.94P)	2時間10分	4時間20分	8時間40分	17時間20分	34時間45分
4 Mbps	4時間20分	8時間40分	17時間20分	34時間45分	69時間30分
3 Mbps	5時間40分	11時間25分	22時間55分	45時間55分	91時間55分

1回の撮影操作で記録できる時間は、約12時間です。それを越えると自動的に停止します。



MEMO

- お使いのスマートフォンや機器によっては再生できない場合があります(□ 179)。
- 28 Mbpsモード(AVCHD) の動画を使って、AVCHD規格のDVDを作成することはできません。AVCHD Ver.2.0に準拠したBD(ブルーレイディスク)レコーダーへのダビングはできます。
- 以下のMP4形式のシーンは、他の機器では複数のファイルとして認識されます。
 - データ容量が4GBを超えるもの。
 - 録画時間が1時間以上のもの。ただし、録画モードが「35 Mbps」または「8 Mbps」の場合は、30分以上のもの。
- 「28 Mbps LPCM (59.94P)」 / 「28 Mbps (59.94P)」 (AVCHD)、「35 Mbps (59.94P)」 / 「8 Mbps (59.94P)」 (MP4) で記録した動画はテレビによっては再生できない場合があります。
- 「28 Mbps LPCM (59.94P)」 / 「28 Mbps (59.94P)」 (AVCHD)、「35 Mbps (59.94P)」 / 「8 Mbps (59.94P)」 (MP4) にしているときは「同時記録」できません。
- カメラモードを「シネマ」 にしているときは「28 Mbps LPCM (59.94P)」 / 「28 Mbps (59.94P)」 (AVCHD)、「35 Mbps (59.94P)」 / 「8 Mbps (59.94P)」 (MP4) に設定できません。
- 録画時間は撮影する被写体によって変化します。被写体に合わせて自動で画質を調整するVBR (Variable BitRate)方式を採用しているためです。

記録方法を選ぶ

CAMERA

MEDIA

同時記録／リレー記録

「同時記録」では、記録先に指定していないカードに、同時に映像を記録します。同じ動画形式や、異なる動画形式、または、異なる画像サイズで記録し、映像をバックアップできます。「リレー記録」では記録先に指定したカードがいっぱいになったら、自動でもう一方のカードに切り換えて撮影を継続できます。記録先に設定したカードのみ記録するときは「通常記録」を選びます。

撮影

動画形式 AVCHD MP4

カメラモード AUTO M CINEMA

FUNC.

1 タッチする

MENU



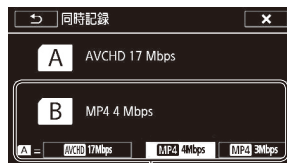
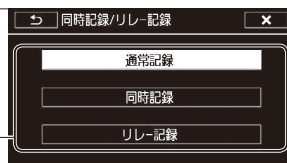
2 同時記録またはリレー記録を選ぶ

- ① [MENU] (メニュー) → [] をタッチする。
- ② 「同時記録／リレー記録」をタッチする。
- ③ いずれかをタッチする。

同時記録を選んだとき

例：「記録先」をカードA、「録画モード」をAVCHDの「17 Mbps」に設定しているとき

この場合は、カードBにMP4(4 Mbps)で記録する。



×

3 タッチする



MEMO

- リレー記録で分割されたファイルはソフトウェアData Import Utilityを使用すると、結合して1つのファイルとしてパソコンに取り込めます。
「リレー記録」は、カードAからカードB、または、カードBからカードAの1回のみ記録可能です。
- 以下の場合は同時記録できません。
 - 録画モードを「28 Mbps LPCM (59.94P)」、「28 Mbps (59.94P)」、「35Mbps (59.94P)」、「8 Mbps (59.94P)」にしているとき。
 - カメラモードを「シネマ」にしているとき。

映像のなめらかさを選ぶ

CAMERA

MEDIA

フレームレート

1秒間に記録されるコマの数（フレームレート）を設定できます。フレームレートによって、記録される動画のなめらかさが変わります。AVCHD形式では、通常は **59.94i** 59.94i を選びます。録画モードが 28 Mbps LPCM (59.94P) / 28 Mbps (59.94P) (AVCHD)、35 Mbps (59.94P) / 8 Mbps (59.94P) (MP4) のときには、フレームレートが同時に設定されますので、「フレームレート」設定画面では設定できません。

動画形式 **AVCHD MP4**カメラモード **AUTO M CINEMA**

FUNC.

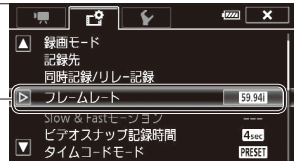
1 タッチする

MENU

2 フレームレートを選ぶ



- ① **[MENU]** (メニュー) → **[カメラ]** をタッチする。
- ② 上下にドラッグして、「フレームレート」をタッチする。
- ③ いずれかをタッチする。



AVCHD動画形式

59.94i 59.94i

テレビ信号と同じように記録する (59.94フィールドインターレース)。

PF29.97 PF29.97

映像を29.97コマ/秒で撮影、59.94iに変換して記録する。インターネットで映像を公開するときなどに便利。

23.98P 23.98P

(23.98プログレッシブ記録) 映像を23.98コマ/秒で撮影、記録する。

MP4動画形式

29.97P 29.97P

映像を29.97コマ/秒で撮影して記録する。

23.98P 23.98P

映像を23.98コマ/秒で撮影して記録する。

×

3 タッチする



MEMO

M (マニュアル) モードと **CINEMA** (シネマ) モードで個別に設定できます。ご購入時は「59.94i」に設定されています。MP4記録のときは「29.97P」に設定されています。

スロー&ファストモーション記録を行う

CAMERA

MEDIA

Slow & Fastモーション記録

MP4形式の動画は、動きのある映像を0.4倍、0.5倍、0.8倍のスローで記録したり、自然観察など時間の経過に伴う変化を間欠的に記録（ファスト記録）したりすることができます。スロー&ファストの記録速度は、0.4倍から1200倍までから選べます。設定出来る記録速度は「録画モード」／「フレームレート」の設定によって異なります。なお、記録中、音声は記録されません。

動画形式 AVCHD MP4

カメラモード AUTO M CINEMA

撮
影

撮影フレームレートを設定する

FUNC.

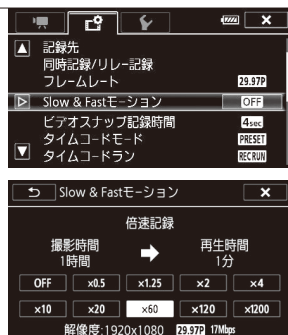
1 タッチする

MENU



2 撮影フレームレートを設定する

- ① [MENU] (メニュー) → をタッチする。
- ② 上下にドラッグして、「Slow & Fastモーション」をタッチする。
- ③ いずれかの記録速度をタッチする。
 - 「録画モード」／「フレームレート」の設定によって、以下の記録速度の選択ができる。



録画モード	フレームレート	記録速度
35 Mbps (59.94P)、8 Mbps (59.94P)		x2, x2.5
24 Mbps、17 Mbps	29.97P	x0.5, x1.25, x2, x4, x10, x20, x60, x120, x1200
	23.98P	x0.4, x0.8

×

3 タッチする



MEMO

- 「同時記録」、「リレー記録」、「PRE REC」、「ビデオスナップ」、「カラーバー」、「フェイスキャッチ&追尾」と同時に使用することはできません。
- スロー&ファストモーション記録モードで撮影中に静止画は撮影できません。
- スロー&ファストモーション記録モード中のタイムコードは「Rec Run」または「Regen.」で記録され、記録フレーム数ずつ歩進します。「Free Run」に設定している状態でスロー&ファストモーション記録モードにすると、強制的に「Rec Run」に設定され、「Slow & Fastモーション」を「切」にすると、元のカウントアップ方式に戻ります。
- 「録画モード」が「35 Mbps (59.94P)」または「8 Mbps (59.94P)」、「Slow Fastモーション」が「x2」または「x2.5」のとき、記録停止に約1秒程度の時間がかかることがあります。
- 1回の撮影操作で記録できる時間は、再生時間における約12時間です。それを越えると自動的に停止します。
例) 「Slow Fastモーション」が「x0.5」の場合、記録時間6時間(再生時間12時間)。

映画のように撮る

CAMERA MEDIA

シネマモード／シネマルックフィルター

好みのシネマルックフィルターを選んで撮影すると、映像の色合いや雰囲気を変えて、映画のワンシーンのように撮影できます。MP4形式の動画に変換するときにシネマルックフィルターを使うこともできます（[160](#)）。

動画形式 AVCHD MP4

カメラモード AUTO M CINEMA

撮
影



1 CINEMAにする

FILTER 1

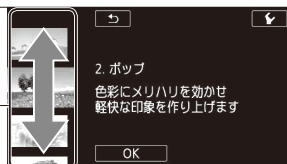
2 タッチする



3 シネマルックフィルターを選ぶ

上下にドラッグして、いずれかのフィルターを選ぶ。

- 画面の表示が、選んだフィルターの色合いに変わる。



4 効果の強さを選ぶ

シネマスタンダードの場合

- ① をタッチする。
- ② 「ON」をタッチする。
- ③ 調整する項目名を選びタッチする。

色の濃さ : -2(薄い) ～ +2(濃い)
ソフトフィルター : OFF, 1 ～ 3
キー : L, M, H
コントラスト : -2(弱い) ～ +2(強い)

- ④ 調整が終わったら をタッチする。

シネマスタンダード以外の場合

- ① をタッチする。
- ② 「L」(弱)、「M」(中)、「H」(強)のいずれかをタッチする。
- ③ をタッチする。

OK

5 タッチする

POINT

シネマリックフィルターの一覧

1 シネマスタンダード

映画のような基本画質。



2 ポップ

色彩にメリハリをきかせ軽快な印象に。



3 ファンタジー

まるで夢の中にいるかのような柔らかな幻想世界。



4 クール

見慣れたシーンをシャープで未来的なイメージに。



5 セピア

何気ない日常の印象から懐かしい記憶の世界へ。



6 オールドムービー

画面に揺れや傷、明滅をつけて映画館のように。



7 メモリー

はるか昔に出会った場面のよう。



MEMO

● カメラモードを「シネマ」にしているときは以下のことができません。

- 静止画の記録
- 同時記録
- 「28 Mbps LPCM (59.94P)」、「28 Mbps (59.94P)」、「35 Mbps (59.94P)」、「8 Mbps (59.94P)」（録画モード）での記録。
- Slow & Fastモーション記録

ピントを合わせる

CAMERA

MEDIA

フォーカス

本機のマニュアルフォーカスでは、フォーカスプリセットができます。オートフォーカスでは、フェイスオンリー AFができます。

■ MF(マニュアルフォーカス)で調整する

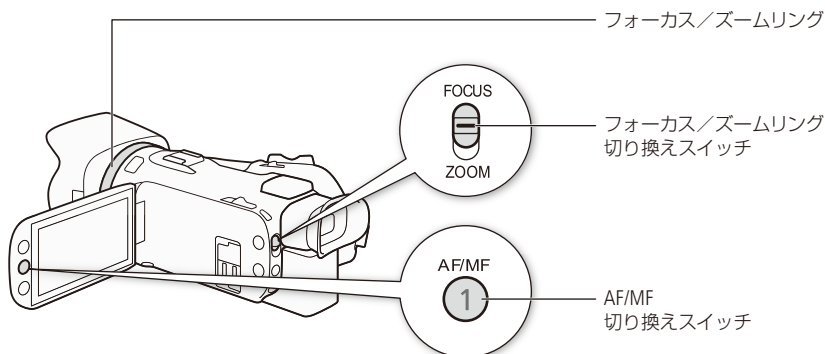
動画形式 AVCHD MP4

カメラモード AUTO M CINEMA

撮
影

フォーカス／ズームリングを回して、手でフォーカス調整を行います。フォーカス／ズームリングの回転速度に応じてフォーカスが移動します。フォーカス／ズームリングの操作方向、敏感度をメニューで設定することができます（□ 217）。

FUNC.メニューまたはAF/MF切り換えボタンを使ってマニュアルフォーカスに設定します。



1 フォーカス／ズームリング切り換えスイッチをFOCUSにする

FUNC.

2 タッチする

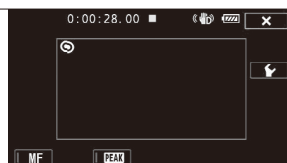


AF/MF切り換えボタンで設定するとき

AF/MF切り換えボタンを押す。

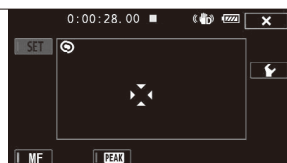
- マニュアルフォーカスのときは画面にMFが表示される（操作5へ）。

- 3 フォーカスを選ぶ
- ☉ (フォーカス) をタッチする。



MF 4 MFをタッチする

画面の枠内の、ピントを合わせたい被写体をタッチすると、タッチした場所に☉が点滅して、ピントが自動で調整された後にマニュアルフォーカスになる。



5 必要に応じてフォーカス／ズームリングを操作して、フォーカスを合わせる

- メニューの「フォーカスアシスト」を「入」に設定しているときは、フォーカス／ズームリングを回すと画面の中央が拡大され、くっきりと表示される。操作中は、操作方向の目安として被写体との距離表示が数秒間出る。

■ フォーカス位置をプリセットする

FUNCメニューでマニュアルフォーカスにしたときは、プリセットしたフォーカス位置に、フォーカスを合わせます。フォーカスを合わせるスピードはメニューで3段階から選択できます (P.217)。

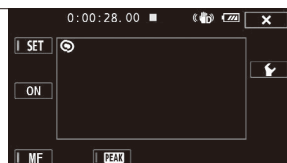
フォーカス位置をプリセットする

1 マニュアルフォーカスにする

- 「MF (マニュアルフォーカス) で調整する」の操作1～5を行う。

2 タッチする

- タッチしたときのフォーカス位置がプリセットされる。



プリセットしたフォーカス位置に戻る

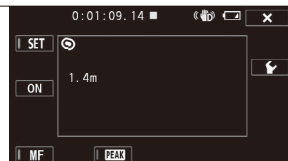
ON

1 タッチする

- フォーカスがプリセットした位置に合って固定される。

プリセット位置をキャンセルするとき

SET をタッチする



MEMO

- 電源を切るとプリセットしたフォーカス位置はキャンセルされます。なお、オートモードではフォーカスプリセット機能が無効になります。
- マニュアルフォーカスで、ズームしていないときに **ON** がタッチできます。

ピントの合った被写体の輪郭に色をつける（ピーキング）

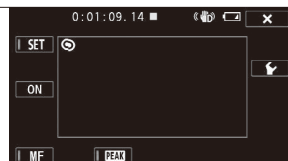
FUNCメニューでマニュアルフォーカスにしたときは、ピント合わせをやすくするために、ピントの合った被写体の輪郭に色をつけて表示できます。また、画面を白黒に変えて輪郭につける色（ピーキング色）をさらに強調することもできます。なお、色は「レッド」、「ブルー」、「イエロー」の3色から選択できます。

1 ピーキングを選ぶ

- 61ページの操作3までを行う。



2 タッチする



3 ピーキング色を選ぶ

- ① いずれかをタッチする。
- ② ↶ をタッチする。



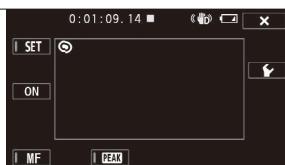
PEAK

4 ピーキング色を表示する

- PEAK をタッチする。——
- ピントの合った被写体の輪郭に色が表示される。

「ピーキング時白黒」を入にしたとき
画面が白黒になり、ピーキング色がさらに強調される。

ピーキングを使わないとき
もう一度 PEAK をタッチする。



×

5 タッチする



MEMO ピーキングを表示しても、記録される映像に影響はありません。

■ AF(オートフォーカス)で調整する

動画形式 AVCHD MP4

カメラモード AUTO M CINEMA

オートフォーカスは、画面の中央部にある被写体にピントが合うように、フォーカスを常に自動調整します。自動的にピント合わせが可能なのは1cm(ワイド端、レンズ先端から)～∞(無限遠)または60cm(ズーム全域、レンズ先端から)です。

AF/MF



1 AF/MF切り換えボタンを押す

■ AF(オートフォーカス)のスピードを選ぶ

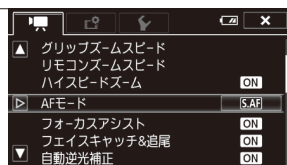
FUNC.

1 タッチする

MENU

2 AFモードを選ぶ

- ① [MENU] (メニュー) をタッチする。
- ② 上下にドラッグして、「AFモード」をタッチする。
- ③ いずれかをタッチする。



[SAF] (ハイスピードAF)

もっとも高速でAF動作を行います。高輝度、夜景などでも効果的です。外部センサーを併用します。

[MAF] (ミディアムスピードAF)

ハイスピードAFに比べてより滑らかな動作を行います。外部センサーを併用します。

[AF] (ノーマルAF)

安定したAF動作を行います。

×

3 タッチする



MEMO

- 晴れた日の屋外など明るいシーンを撮影するときは、絞りが絞り込まれ、小絞りによるボケが生じます。このボケは、テレ側よりワイド側の方が目立ちます(被写体が小さく撮影されるため)。このときは、撮影モードの「**P** (プログラムAE)」 「**Tv** (シャッター優先AE)」 「**Av** (絞り優先AE)」 「**M** (マニュアル露出)」で、NDフィルターを「オート」にしてください(□ 209)。
- 別売のコンバージョンレンズを装着して、メニューの「コンバージョンレンズ」を「TL-H58」または「WA-H58」に設定すると、「ハイスピードAF」、「ミディアムスピードAF」は使用できません。
- フレームレートを「PF29.97」または「23.98P」に設定していると、「59.94P」や「59.94i」よりもフォーカスが合うまで若干時間がかかります。
- 暗い室内などで撮影するときは、絞りが開き、ピントの合う範囲が非常に狭くなります。このため、特に奥行きのある被写体を撮影すると、全体にボケたような画像に見えることがあります。
- オートフォーカス中でもフォーカス／ズームリングを回すと、操作している間だけマニュアルフォーカスになります。操作をやめるとオートフォーカスに戻ります。ガラス越しに撮影するときなどに便利です。
- 撮影モードが「打上げ花火」に設定されている場合、ピントは∞(無限遠)で固定となります。

POINT

自動でピントが合いにくいときはどんなとき？



強い光が反射



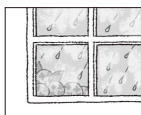
動きが速い



夜景



画面の中央に明暗の差がない



水滴が付いているガラス越しの撮影

■ 顔を検出してAFやAEを合わせる（フェイスキャッチ&追尾）

人物の顔を検出して、自動的にピントや明るさを調整します。主な被写体を変えたいときは、その人物の顔をタッチします。人物以外にもペットなどの動いている被写体を主な被写体にできます（追尾）。被写体を選ぶときはタッチパネルで操作してください。

FUNC. 1 タッチする

MENU 2 フェイスキャッチ&追尾を選ぶ

ON

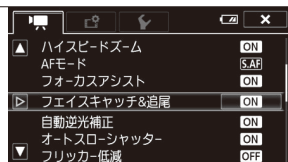
×

- ① **MENU**（メニュー）をタッチする。
- ② 上下にドラッグして、「フェイスキャッチ&追尾」をタッチする。
- ③ **ON**（入）をタッチする。

解除するとき

OFF（切）をタッチする。

- ④ **×**をタッチする。



3 カメラを人物に向ける

- 主な被写体と判断した顔に白い枠、その他の顔にグレーの枠が表示される。

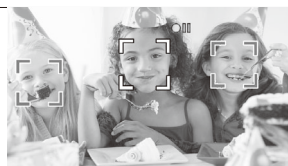
特定の人やペットを選ぶとき

特定の人物をタッチする。


- タッチした被写体に白い2重枠が出る。
- 被写体が動くと、自動で枠も一緒に動く。

解除するとき

「解除」をタッチする。



■ フェイスオンリー AF

検出した顔に対して、自動的にピントや明るさを調整します。顔がない場合はマニュアルフォーカスになります。アサインボタンに「フェイスオンリー AF」を割り当てると、アサインボタンを押して「フェイスオンリー AF」のON/OFFを切り換えられます (□ 125)。「フェイスオンリー AF」を「ON」にすると、 が表示されます。「フェイスオンリー AF」は、AFモードがオートフォーカスのときのみ有効です。



MEMO

- 人物以外の被写体を、誤って顔として検出することがあります。その場合は「フェイスキャッチ&追尾」を「OFF」にしてください。
- 「フェイスキャッチ&追尾」を「ON」にしているとき、シャッタースピードは1/30秒以上*に設定されます。
 - * メニューの「フレームレート」を「23.98P」にしているときは、1/24秒以上。
- 被写体の特徴的な部分 (色など) をタッチすると追尾しやすくなります。なお、タッチした被写体と特徴が似ている被写体が周囲にあると、別の被写体を追尾することがあります。そのときは、もう一度被写体をタッチしてください。

顔が検出されない主な例

- 顔が画面全体に対して、極端に小さいまたは大きい、暗いまたは明るいとき。
- 顔が横や斜めを向いていたり、顔が上下逆さのとき、顔の一部が隠れたりしているとき。

フェイスキャッチ&追尾、フェイスオンリー AFが使用できない場合

- FUNC.メニューの撮影モードを「夜景」、「ローライト」、「打上げ花火」に設定しているとき。
- シャッタースピードを1/30秒未満*にしているとき。
 - * メニューの「フレームレート」を「23.98P」にしているときは、1/24秒未満。
- デジタルズームで80倍を超えて拡大しているとき。
- 「Slow & Fastモーション」 (□ 57) で「OFF」以外を設定しているとき。

タッチ追尾が働かない場合


- 被写体が大きすぎるとき。
- 被写体が画面上で非常に小さいとき。
- 被写体と背景が似ているとき。
- 被写体のコントラストがないとき。
- 高速で動く被写体を撮影するとき。
- 暗い室内などで撮影するとき。

拡大して撮る

CAMERA

MEDIA

ズーム

ズームは、フォーカス／ズームリング、グリップズーム、画面上のズームボタン、またはリモコンで操作します。光学ズームで20倍まで拡大でき、デジタルズーム*を使うと400倍まで拡大できます（ 209）。

* デジタルズームは **AUTO**（オート）モードやメニューの「コンバージョンレンズ」で「WA-H58」を設定しているときは使えません。

動画形式 **AVCHD MP4**

カメラモード **AUTO M CINEMA**

撮
影

フォーカス／ズームリングで操作する

FOCUS



ZOOM

1 フォーカス／ズームリング切り換えスイッチをZOOM(ズーム)にする



2 フォーカス／ズームリングを回して調整する

- ズームスピードは、フォーカス／ズームリングをゆっくり回すと低速になり、早く回すと高速になります。
- ズーム操作を行うと、ズーム位置の目安となるズームバーが画面に表示されます。

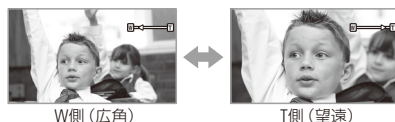
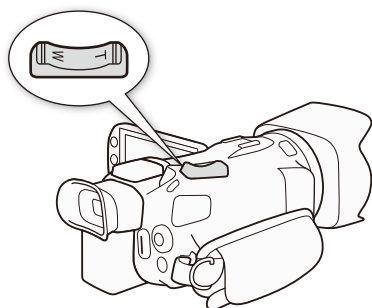


MEMO

フォーカス／ズームリングをすばやく操作すると、レンズの移動が追いつかなくなることがあります。このとき、フォーカス／ズームリングの操作終了より遅れてレンズの移動が完了します。

■ グリップズーム／リモコンのズームで操作する

グリップズームで操作する



広角にするときは**W**（ワイド）側を押し、望遠にするときは**T**（テレ）側を押します。グリップズームの押しかた（操作量）に応じてズーム速度が変わる「可変速」と、一定の速度でズームする「固定速」とを切り換えることができ、ズームスピードは「ズームスピードレベル」との組み合わせで決まります。ズームスピードレベルを「ハイ」にすると、ズーム音が大きくなることもあり、ズーム音が記録されることがあります。

グリップズーム操作のズームスピードを設定する

グリップズーム スピードの設定	Constantスピード の設定（16段階）	ズームスピードレベルの設定とワイド端→テレ端の時間		
		ロー	ミドル	ハイ
VAR （可変速）	ズームの押しかたによって可変	約4.0秒～約4分45秒	約2.5秒～約3分	約1.9秒* ～約1分
CONST （固定速）	速度1（最低速）	約4分45秒	約3分	約1分
	速度16（最高速）	約4.0秒	約2.5秒	約1.9秒*

* ズームスピードが約1.9秒のときは、ズーム中にオートフォーカスが合いにくくなることがあります。

FUNC.

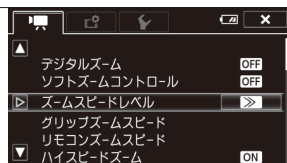
1 タッチする

MENU



2 ズームスピードレベルを設定する

- ① **MENU** (メニュー) をタッチする。
- ② 上下にドラッグして「ズームスピードレベル」をタッチする。
- ③ 「**ハイ**」、「**ミドル**」、「**ロー**」のいずれかをタッチする。
- ④ **OK** をタッチする。



3 **VAR** (可変速) または **CONST** (固定速) を設定する

- ① 上下にドラッグして「グリップズームスピード」をタッチする。
- ② **VAR** または **CONST** をタッチする。

4 **CONST** (固定速) の場合 ズームの速度を設定する

- ① **DOWN** または **UP** をタッチして設定する。
● メーターを左右にドラッグして選ぶこともできる。
- ② **OK** をタッチする。



MEMO

「ハイスピードズーム」(□ 72) を「入」にすると、撮影停止状態でのズームは、「ハイ」になります。
(ただし、「ズームスピード」を「可変速」に設定したときのみ)。また撮影停止中にプレREC(□ 117)
を「ON」に設定していると「ズームスピードレベル」で選んだ速度になります。

ハイスピードズーム

撮影停止中のズームスピードレベルを「ハイ」にする機能。グリップズームスピードが「可変速」のときに有効です。撮影中は「ズームスピードレベル」で選んだ速度になります。

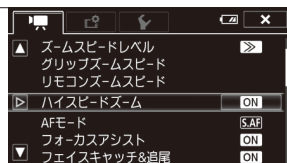
FUNC.

1 タッチする

MENU

2 ハイスピードズームを選ぶ

- ① **MENU**（メニュー）→「ハイスピードズーム」をタッチする。
- ② **ハイスピードズーム**を使うとき「**ON**（入）」を選ぶ。
- ③ **↵**をタッチする。



×

3 タッチする



MEMO

外部マイクを使って撮影するとき、ズーム音が記録されることがあります。

リモコンで操作する

付属のリモコンの場合、リモコンのZOOMボタン(17)で操作します。ズームのしかたは「固定速」です。

リモコン操作のズームスピードを設定する

付属のリモコンのズームスピードを切り換えるときは、次の設定を行います。

リモコンズームスピードの設定	ズームスピードレベルの設定とワイド端→テレ端の時間		
	ロー	ミドル	ハイ
速度1(最低速)	約4分45秒	約3分	約1分
速度16(最高速)	約4.0秒	約2.5秒	約1.9秒*

* ズームスピードが約1.9秒のときは、ズーム中にオートフォーカスが合いにくくなる場合があります。

FUNC.

1 タッチする

MENU

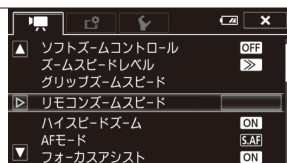


2 ズームスピードレベルを設定する

- ① [MENU] (メニュー) をタッチする。
- ② 上下にドラッグして「ズームスピードレベル」をタッチする。
- ③ 「[ハイ]」、「[ミドル]」、「[ロー]」のいずれかをタッチする。
- ④ [戻る] をタッチする。

3 ズームの速度を設定する

- ① 上下にドラッグして「リモコンズームスピード」をタッチする。
- ② [下] または [上] をタッチして設定する。
● メーターを左右にドラッグして選ぶこともできる。
- ③ [X] をタッチする。



■ ズームの操作を滑らかにする（ソフトズームコントロール）

ズームスタート時の加速、ズームストップ時の減速を緩やかにします。

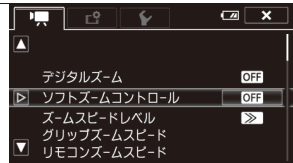
FUNC.

1 タッチする

MENU

2 設定を選ぶ

- ① **MENU**（メニュー）をタッチする。
- ② 上下にドラッグして、「ソフトズームコントロール」をタッチする。
- ③ いずれかをタッチする。



START （スタート）	スタート時のみ有効にする
STOP （ストップ）	ストップ時のみ有効にする
START STOP （スタート&ストップ）	スタート／ストップ時有効にする

×

3 タッチする

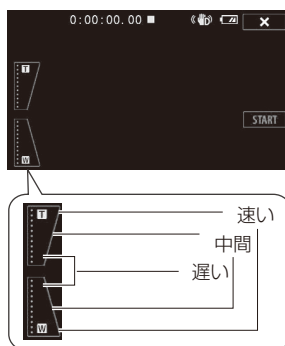
■ 画面のズームボタンで操作する

FUNC.

1 タッチする

2 ズームを選ぶ

- ① 上下にドラッグして、「ZOOM」(ズーム)をタッチする。
 - ズーム画面が出る。
- ② 画面上のズームボタン「**T**」または「**W**」をタッチして、ズーム操作をする。



- ズームのスピードは、タッチする場所によって、「速い」、「中間」、「遅い」を選べる。

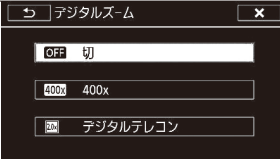
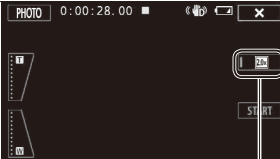
×

3 タッチする

■ 画面中央を拡大して撮る（デジタルテレコン）

ズーム画面で **20x** をタッチすると、焦点距離を2倍にして撮影できます。

動画形式 **AVCHD MP4** カメラモード **AUTO M CINEMA**

<div>FUNC.</div>	1 タッチする	
<div>MENU</div> <div>×</div> <div>20x</div>	2 デジタルテレコンを選ぶ <ol style="list-style-type: none"> ① MENU（メニュー）をタッチする。 ② 「デジタルズーム」をタッチする。 ③ 「20x デジタルテレコン」をタッチする。 ④ ×をタッチする。 	
<div>FUNC.</div>	3 タッチする	
<div>20x</div>	4 デジタルテレコンを有効にする <ol style="list-style-type: none"> ① 上下にドラッグして、「ZOOM」（ズーム）をタッチする。 ② 20x（デジタルテレコン）をタッチする。 <ul style="list-style-type: none"> ● 画面の中央が拡大される。 <div>解除するとき</div> もう一度 20x をタッチする。	
<div>×</div>	5 タッチする	



MEMO

- 別売のテレコンバーターをあわせて使用すると、さらに拡大した映像を記録できます。
- 撮影中や、メニューの「コンバージョンレンズ」で「WA-H58」を選択しているときは設定できません。
- 映像をデジタル処理するため、ズーム全域で映像が粗くなります。

手ブレをおさえて撮る

CAMERA

MEDIA

手ブレ補正

手ブレの少ない安定した映像を撮影できます。撮影のしかたによって補正方式を選べます。

動画形式 AVCHD MP4

カメラモード AUTO M CINEMA

FUNC.

1 タッチする



2 手ブレ補正を選ぶ

- ① 上下にドラッグして、 (手ブレ補正) をタッチする。
- ② いずれかをタッチする。



ダイナミック

歩きながら撮影するときなどの大きな手ブレを補正。ズームを広角側にするほど効果が大きい。

スタンダード

静止して手持ちで撮影するときなどの比較的小さな手ブレを補正。自然な映像が撮影できる。

切

三脚などを使って撮影するとき。

×

3 タッチする


撮
影

MEMO 「ダイナミック」設定時と「スタンダード」「切」設定時とでは、ワイド端での撮影画角が変わります。

POINT


望遠撮影時の大きな手ブレをおさえる（パワードIS）

パワードISを使うと、手ブレ補正を強化することができます。静止して撮影するときに、ズームを望遠側にするほど効果的です。画面に左手をそえと、より安定して撮影できます。

パワードISを使うときは、アサインボタン（ 125）に「パワードIS」を割り当てて操作します。


「パワードIS」を割り当てたアサインボタン*を押し続ける。

- 押し続けている間、画面にが出る。

* 「パワードIS」を割り当てたアサインボタンの操作のしかたは、メニューの「パワードISボタン」で選べます（ 216）。



MEMO

- 手ブレが大きすぎると、補正しきれないことがあります。
- カメラを左右や上下に動かして撮るときは、手ブレ補正を「ダイナミック」または「スタンダード」にすることをおすすめします。
- 手ブレ補正を「切」に設定している場合でも、「パワードIS」を割り当てたアサインボタン（ 125）の操作によりパワードISは有効になります。

ゲインリミットを調整する

CAMERA

MEDIA

AGCリミット

被写体の明るさに応じて映像アンプのゲインの上限を設定できます。

動画形式 AVCHD MP4

カメラモード **AUTO** M CINEMA

FUNC.

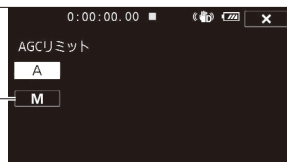
1 タッチする

AGC
M

2 AGCリミットを選ぶ

AGC (AGCリミット) → **M** (マニュアル) をタッチする。

- **M** が ON になり、メーターが出る。



3 感度の上限を選ぶ

または をタッチして、感度を選ぶ。

- メーターを左右にドラッグして選ぶこともできる。
- 数値を小さくする程、感度の上限が低くなる。

感度の上限を解除するとき

A (オート) をタッチする。

**×**

4 タッチする



MEMO AGCリミットが使用できない場合

- 撮影モードが「マニュアル露出」または「SCN」のとき
- 露出が **M** (マニュアル) のとき (□ 83)。
- AGCリミット設定中は、画面に感度の上限値 (dB) が出ます。
- 「ルック」の「Wide DR」設定時 (□ 91)
 - 最低感度は6dBです。
 - 「ピクチャー設定」のON/OFFを切り換えると、AGCリミットは **A** (オート) に戻ります。
- 「Wide DR」を設定したり、設定を解除したりしたときは、**M** (マニュアル) で調整していても **A** (オート) に戻ります。
- CUSTOMダイヤル&ボタンに **AGC** (AGCリミット) を割り当てると、CUSTOM(カスタム) ダイヤルで AGCリミット値を調整できます (□ 122)。

動きの速いものを撮る／背景をぼかして撮る

CAMERA

MEDIA

シャッタースピード／しぼり

シャッタースピードが速いと、動きの速い被写体を一瞬でとらえ、遅いと水の流れるような流動感を表現できます。しぼり数値が小さい（開く）と背景をぼかしたポートレートが、しぼり数値が大きい（閉じる）と風景の近くから遠くまでボケを少なくして撮影できます。

動画形式 AVCHD MP4

カメラモード AUTO M CINEMA

FUNC.

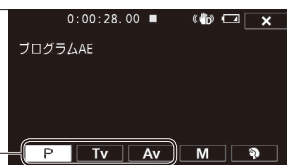
1 タッチする

P



2 撮影モードを選ぶ

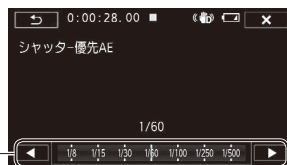
- ① P（撮影モード）をタッチする。
- ② いずれかをタッチする。



- P**（プログラムAE）：シャッタースピードとしぼりが自動設定になる。
Tv（シャッター優先AE）：シャッタースピードを自分で選ぶ。しぼりは自動設定になる。
Av（絞り優先AE）：しぼりを自分で選ぶ。シャッタースピードは自動設定になる。

オートエクスポージャー AEはAutoExposure（自動露出）、タイム バリュース TvはTime value（時間量）、アパーチャー バリュース AvはAperture value（開口量）の略です。

- ③ ◀または▶をタッチして、好みの数値を選ぶ。
 - メーターを左右にドラッグして選ぶこともできる。



×

3 タッチする

POINT

シャッタースピードを選ぶときの目安

例 画面に「Tv30」と出ているときは、シャッタースピードが「1/30秒」であることを表します。

こんなときに使います	
1/8、1/15、1/30秒	少し暗い場所で、被写体を明るく撮影するとき。 水の流れなどの流動感を撮影するとき。
1/60秒	一般的な撮影のとき。
1/100秒	屋内でスポーツをしている人を撮影するとき。
1/250、1/500、1/1000秒	動きの速い乗り物を撮影するとき。
1/2000秒	晴天下でスポーツをしている人を撮影するとき。

メニューの「フレームレート」(□ 56)を「23.98P」に設定しているときのシャッタースピードは、1/6、1/12、1/24、1/48、1/60、1/100、1/250、1/500、1/1000、1/2000秒です。



MEMO

Tvのとき

- 暗いところでスローシャッターを使うと、明るく撮影できますが、通常の撮影に比べて画質が多少劣化したり、ピントが自動では合いにくいことがあります。
- 高速シャッターでは、映像がちらついて、なめらかに見えないことがあります。
- 蛍光灯下で動画を撮影する場合、画面のちらつきがとれないときは、**Tv**を選んでから1/100秒を選んでください。

Avのとき

- しぼり数値
F1.8、F2.0、F2.2、F2.4、F2.6、F2.8、F3.2、F3.4、F3.7、F4.0、F4.4、F4.8、F5.2、F5.6、F6.2、F6.7、F7.3、F8.0
(F4.0でNDフィルターの表示が出ます。使用するNDフィルターを選択できます)(□ 209)。
- 設定できる数値は、ズームの位置によって変わります。
- 数値が点滅するときは、明るさが適正ではありません。点滅しなくなるまで、シャッタースピード／しぼりを調整してください。
- 撮影モードが**Tv**または**Av**のとき、露出を手動で調整してから、シャッタースピードやしぼりを変更することはできません。あらかじめシャッタースピードやしぼりを設定してから、露出を調整してください。
- CUSTOMダイヤル&ボタンに $\frac{1}{x}$ (**Tv/Av**)を割り当てると、CUSTOM(カスタム)ダイヤルでシャッタースピードまたはしぼりを調整できます(□ 122)。

マニュアルで明るさを調整する

CAMERA

MEDIA

マニュアル露出

しぼり、シャッタースピード、ゲインの3種類を自由に設定できます。設定するときにゼブラパターン(□ 86)を表示すると便利です。

強制逆光補正機能(□ 85)も同時に使用できます。

動画形式 AVCHD MP4

カメラモード AUTO M CINEMA

FUNC.

1 タッチする

M



2 マニュアル露出を選ぶ

- ① P(撮影モード)をタッチする。
- ② 「M(マニュアル露出)」をタッチする。
- ③ しぼり、シャッタースピード、ゲインの項目を選択する。
- ④ ◀または▶をタッチして好みの数値を選ぶ。
 - メーターを左右にドラッグして選ぶこともできる。



×

3 タッチする



MEMO

- 「ルック」の「Wide DR」設定時(□ 91)は、最低感度は6dBになります。
- CUSTOMダイヤル&ボタンにM(マニュアル露出)を割り当てるとCUSTOM(カスタム) ボタンでしぼり、シャッタースピード、ゲインの項目移動、CUSTOM(カスタム)ダイヤルで選んだ項目の数値を調整できます(□ 122)。

明るさを調整する

CAMERA MEDIA

露出

逆光のときに被写体が黒くなったり、強い光が当たったときに白くとんでしまうことがあります。このようなときは明るさ（露出）の調整をします。なお、撮影モードを「打上げ花火」や「マニュアル露出」*に設定しているときは、使用できません。

*「強制逆光補正」や「ゼブラパターン」は「マニュアル露出」設定時でも使用できます。

撮
影

動画形式 AVCHD MP4

カメラモード AUTO M CINEMA

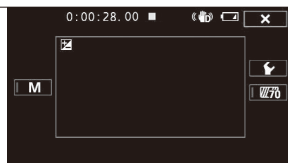
FUNC.

1 タッチする



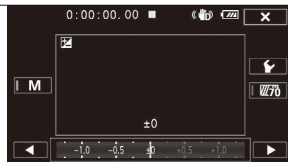
2 露出を選ぶ

- ① (露出) をタッチする。



3 露出を調整する

- ① 画面上の、露出を合わせたい被写体をタッチする。
- タッチした場所に が点滅して、明るさが自動で調整され、露出が固定される。
 - **M** ボタンがONになり、メーターが出る。
- ② さらに調整するときは、 または をタッチして、好みの数値を選ぶ。
- メーターを左右にドラッグして選ぶこともできる。
 - 調整後の明るさで固定される。
 - 明るさによっては数値がグレーになり、調整可能な範囲が変わる。
 - ①の操作のかわりに **M** ボタンをタッチして、メーターで調整することもできる。



自動の露出調整に戻すとき

M をタッチする。



4 タッチする

- 露出固定中は、画面に と露出の調整値が出る。




MEMO

- 露出を手動で調整後、POWER(電源スイッチ)、カメラモード切り換えスイッチ、撮影モードを操作すると、自動調整に戻ります。
- CUSTOMダイヤル&ボタンに (露出) を割り当てると、CUSTOM(カスタム) ダイヤルで露出値を調整できます(□ 122)。

■ 明るい部分にタッチして明るさを補正する（ハイライトAE）

画面の中の明るい部分（ハイライト）にタッチして、露出を補正できます。タッチした部分が明るくなりすぎないように補正するので、白い雲などでも白とびしない範囲で明るく撮影できます。なお、タッチした部分が暗いときや、極端に明るいときは適切な補正にならないことがあります。

動画形式 **AVCHD MP4** カメラモード **AUTO M CINEMA**

	1 露出を選ぶ 83ページの操作2までを行う。	
👉	2 タッチする	
↶	3 ハイライトを選ぶ 「ハイライト」→↶をタッチする。	
↶	4 露出を調整する 83ページの操作3を行う。 ハイライトを使わないとき 操作3で「ノーマル」をタッチする。	
✕	5 タッチする	

強制逆光補正

強制逆光補正を使うと、露出とガンマを変更し、暗い部分を明るくします。

動画形式 AVCHD MP4

カメラモード AUTO M CINEMA

FUNC.

1 タッチする



2 逆光補正を選ぶ

- ① (強制逆光補正) をタッチする。
- ② 「ON」をタッチする。
 - 「OFF」をタッチするまで、逆光に適した露出になる。



3 タッチする



MEMO

- 「ピクチャー設定」の「ルック」で「Wide DR」を選んでいるときは、設定できません。
- アサインボタンに「強制逆光補正」を割り当てると、アサインボタンを押して「強制逆光補正」の ON/OFF を切り換えられます (125)。

自動逆光補正

逆光になっていることを検知して自動的に補正し、被写体を明るく撮影できます。光の状態が変わる場合に便利です。メニューで「切」にすることもできます (207)。「ピクチャー設定」の「ルック」で「Wide DR」または「高輝度優先」を選んでいるときは、設定できません。

■ 明るさの目安を表示する（ゼブラパターン）

ゼブラパターンを使うと映像の明るい部分に縞模様が表示されます。「100%」では白とびするような明るさのとき、「70%」ではそれに近い明るさのときに縞模様が表示されます。明るさのバランスを確認したいときに使うと安心です。

動画形式 **AVCHD MP4**

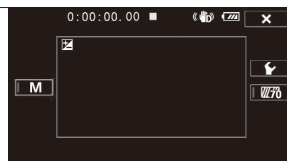
カメラモード **AUTO M CINEMA**

1 露出を選ぶ

83ページの操作2までを行う。

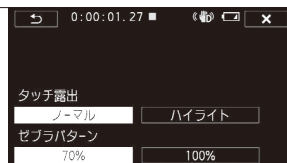


2 タッチする



3 ゼブラパターンを選ぶ

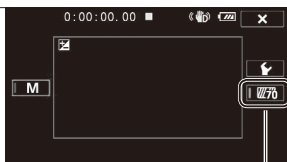
- ① 「70%」または「100%」のいずれかをタッチする。
- ② ①をタッチする。



4 ゼブラパターンを表示する

- ① 「**70**」または「**100**」のいずれかをタッチする。
- ② ①をタッチする。

ゼブラパターンの表示を使わないとき
もう一度 **70** または **100** をタッチする。



5 タッチする



MEMO

ゼブラパターンを表示しても、記録される映像に影響はありません。

色合いを調整する

CAMERA MEDIA

ホワイトバランス

太陽光や蛍光灯など周りの光によって、白い壁や白い紙などはオレンジっぽくなったり、青っぽくなったりします。撮影時の光に応じて「白いものを白く」写すように色を調整できます。撮影モードが**P**、**Tv**、**Av**、**M**のときに調整できます。

動画形式 AVCHD MP4

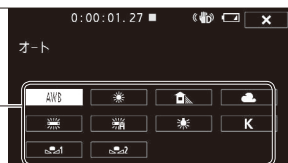
カメラモード AUTO M CINEMA

撮
影

FUNC. 1 タッチする

WB 2 ホワイトバランスを選ぶ

- ① WB (ホワイトバランス) をタッチする。
- ② いずれかをタッチする。
 - 撮影する環境に合わせて目的のホワイトバランスを選ぶ。



AWB オート	通常はAWB (オート) *を選択。自動的に自然な色合いに調整される。
☀ 太陽光	晴天の屋外で撮影するときに選択。
🏠 日陰	日陰で撮影するときに選択。
☁ くもり	曇天時に撮影するときに選択。
💡 蛍光灯	昼白色蛍光灯、白色蛍光灯、昼白色タイプ (3波長型) の蛍光灯のもとで撮影するときに選択。
💡 蛍光灯H	昼光色蛍光灯、昼光色タイプ (3波長型) の蛍光灯のもとで撮影するときに選択。
💡 電球	電球や電球色タイプ (3波長型) の蛍光灯のもとで撮影するときに選択。
K 色温度	2000K ~ 15000Kの範囲で色温度を設定する。
📷1 セット1 📷2 セット2	実際に白い紙などを写して設定し、設定値を「セット1」または「セット2」として登録する。

オート ホワイト バランス
* AWBはAuto White Balanceの略です。

K (色温度) を選んだとき

- ③ ◀または▶をタッチして色温度を調整する。
 - メーターを左右にドラッグして選ぶこともできる。

📷1 (セット1) または 📷2 (セット2) を選んだとき

- ③ 白紙、白布を画面いっぱい to 写す。
- ④ 「白取り込み」をタッチする。
 - 📷 (セット) が点滅→消灯に変わったら調整完了。調整されたホワイトバランスは電源を切っても記憶されている。

× 3 タッチする





MEMO

- ④1(セット1)または ④2(セット2)を選んで調整するとき
 - メニューの「デジタルズーム」を「切」にしてください(□ 209)。
 - 場所や明るさが変わったときは再調整してください。
 - 光によっては、ごくまれに ④(セット) が点滅→消灯に変わらないことがあります。自動調整よりも適切なホワイトバランスに調整されているのでそのままお使いください。

AWB(オート)でうまくいかないとき

次のような条件で撮影するとき、画面の色が不自然であれば ④1(セット1)または ④2(セット2)で調整をしてください。

- 照明条件が急に変わる場所での撮影。
- クローズアップ撮影。
- 空や海、森など単一色しか持たない被写体の撮影。
- 水銀灯や一部の蛍光灯、LED照明のもとでの撮影。
- 蛍光灯の種類によっては、 (蛍光灯)や (蛍光灯H)を選んでも色合いが最適に調整されないことがあります。画面で色が不自然に見えるときは、AWB(オート)または ④1(セット1)または ④2(セット2)を選んでください。

場面や目的に合わせて撮る

CAMERA MEDIA

SCN(シーン)モード

照り返しの強いスキー場や、海に沈む夕日、夜空を彩る打上げ花火など、場所や被写体に合わせてきれいに撮影します。

動画形式 AVCHD MP4

カメラモード AUTO M CINEMA

FUNC.

1 タッチする

P



2 撮影モードを選ぶ

- ① P (撮影モード) → (ポートレート) をタッチする。
- ② いずれかをタッチする。



撮
影

POINT

シーンモードで選べる項目

ポートレート

背景をぼかして、被写体を引き立たせる。



スポーツ

動きの速い被写体を撮る。



夜景

夜景をきれいに撮る。



スノー

照り返しの強いスキー場で被写体が暗くなるのを防ぐ。



ビーチ

照り返しの強い海岸で被写体が暗くなるのを防ぐ。



夕焼け

夕焼けを色鮮やかに撮る。



ローライト

暗い場所で被写体を明るく撮る。



スポットライト

スポットライトが当たった被写体をきれいに撮る。



打上げ花火

打上げ花火をきれいに撮る。





MEMO

- ポートレート、スポーツ、スノー、ビーチの各モードで撮影した映像を再生すると、なめらかに見えなかったり、ちらつくことがあります。
- ポートレートのときにズームを**T**側にすると、より効果的に背景がぼけます。
- スノー／ビーチのとき、曇りや日陰など周囲が暗いときには、被写体が明るくなりすぎることがあります。画面で映像をご確認ください。

ローライトについて

- 動きのある被写体は、残像が目立つ映像になることがあります。
 - 明るく撮影できる分、通常の撮影に比べて画質が多少劣化することがあります。
 - 画面に白い点などが出る場合があります。
 - 自動でピントが合いにくいときは、ピントを調整してください(□ 61)。
- 打上げ花火を使うときは、手ブレを防ぐために、三脚をお使いになることをおすすめします。

好みの画質にする

CAMERA

MEDIA

ピクチャー設定

ルックの設定や、色の濃さ、シャープネス、コントラスト、明るさを調整して撮影することができます。撮影モードが**P**、**Tv**、**Av**、**M**のときに設定できます。

動画形式 AVCHD MP4

カメラモード AUTO M CINEMA

FUNC.

1 タッチする



2 目的のピクチャー設定を選んで、調整する

- ① 上下にドラッグして **Off** (ピクチャー設定) → 「ON」をタッチする。
- ② いずれかの調整項目をタッチする。
- ③

「ルック」を選んだとき

スタンダード：基準画質設定。

高輝度優先：高輝度領域を圧縮しないため、白トビを抑え、自然な階調で撮影。

Wide DR：広いラチチュードを持つガンマと、ガンマに合わせた色再現。

「ルック」以外を選んだとき

◀または▶をタッチして調整する。



色の濃さ : -2(薄い) ~+2(濃い)
 シャープネス : -2(弱い) ~+2(強い)
 コントラスト : -2(弱い) ~+2(強い)
 明るさ : -2(暗い) ~+2(明るい)

- メーターを左右にドラッグして調整することもできる。

ピクチャー設定を行わないとき

- ①で「OFF」をタッチする。

×


3 タッチする

- ピクチャー設定をONにすると、画面に **Ac** が出る。「ルック」の「高輝度優先」を選んだときは、**Ac**の横に **γ** が出る。

撮
影



MEMO

- 撮影モードが**M**のときや、露出が**M**のときは、「明るさ」を設定できません。
- 「ルック」が「高輝度優先」や「Wide DR」のときは、「コントラスト」を設定できません。
- 「高輝度優先」を選んだとき、メニューの「ビューアシスト」(P.214)をONにすると、より適切な映像を画面やビューファインダーで確認することが出来ます。
- 「Wide DR」設定時は最低感度が6dBになるため、晴れた日の屋外などでは適正な露出に制御出来ず、被写体が明るく撮影されることがあります。
- 「高輝度優先」設定時は、静止画記録できません。

タイムコードを設定する

CAMERA MEDIA

動画形式 AVCHD MP4 カメラモード AUTO M CINEMA

撮影時に内蔵のタイムコードジェネレーターでタイムコードを生成できます。生成したタイムコードは、映像とともにカードに記録されるほか、HDMI OUT端子に出力される映像にも表示されます。また、HDMI OUT端子に対して、タイムコードを出力させるか、メニューで切り換えることができます(□ 217)。タイムコードのカウントアップ方式には次の3種類があります。また、ドロップフレームとノンドロップフレームを選択できます。

Rec Run(レックラン)： タイムコードは記録時に歩進する。タイムコードの初期値は任意に設定可能。カードに記録している間、タイムコードは記録したシーンの順で連続する。

Free Run(フリーラン)： タイムコードは、記録状態に関係なく常に歩進する。初期値は任意に設定可能。

Regen.(リジェネ)： タイムコードは記録時に歩進する。カードに記録されている最後のタイムコードを読み出し、その続きから歩進する。カードに記録している間、タイムコードは記録したシーンの順で連続する。

■ カウントアップ方式を選ぶ

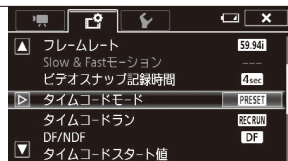
カウントアップ方式は、歩進モード(タイムコードモード)で「Preset」または「Regen.」を選びます。「Preset」を選んだときは、歩進方法(タイムコードラン)で「Rec Run」または「Free Run」を選び、任意の初期値を設定します。

1 タッチする

2 歩進モードを選ぶ



- ① [MENU] (メニュー) → [] をタッチする。
- ② 上下にドラッグして「タイムコードモード」をタッチする。
- ③ 「[PRESET] Preset」または「[REGEN] Regen.」 → [] をタッチする。
Preset：「タイムコードスタート値」で設定した任意のタイムコードから歩進する。
Regen.：カードに記録されている最後のタイムコードの続きから歩進する。
● 「Regen.」を選んだときは、以降の操作は不要。
✕ をタッチする。

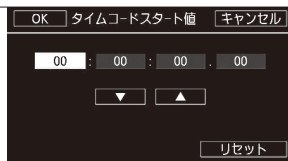


3 「Preset」を選んだ場合 歩進方法を選ぶ

- ① 「タイムコードラン」をタッチする。
- ② 「[REC RUN] Rec Run」または「[FREE RUN] Free Run」 → [] をタッチする。

4 「Preset」を選んだ場合 任意の初期値を設定する

- ① 「タイムコードスタート値」をタッチする。
 - タイムコードの設定画面が表示され、「時」の桁が選択される。
 - 「リセット」をタッチすると、タイムコードが「00:00:00.00」にリセットされる。「Free Run」を選んでいるときは、リセット後のタイムコードから歩進を続ける。
 - 設定を途中で中止するときは「キャンセル」をタッチする。
- ② ▲/▼をタッチして数値を選ぶ。
- ③ ②の操作を繰り返して、「分」、「秒」、「フレーム」の数値を選ぶ→「OK」をタッチする。
 - 「Free Run」を選んでいるときは、この時点で設定値のタイムコードから歩進する。



■ ドロップ／ノンドロップフレームを切り換える

ドロップフレーム (DF) またはノンドロップフレーム (NDF) を切り換えられます。なお、「フレームレート」が「23.98P」ときはNDFに固定されます。

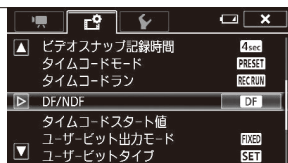
FUNC. 1 タッチする

MENU 2 DFまたはNDFを選ぶ

- ① [MENU] (メニュー) → [] をタッチする。
- ② 上下にドラッグして「DF/NDF」をタッチする。
- ③ 「DF」または「NDF」→ [] をタッチする。
 - DFとNDFで画面上のタイムコード表示が次のように異なる。

DFのとき 00 : 00 : 00 . 00

NDFのとき 00 : 00 : 00 : 00



MEMO

- タイムコードのフレームカウントは、「フレームレート」が「23.98P」のときは0～23、それ以外は0～29となります。
- 「プレ記録」のときは「Free Run」固定となり、カウントアップ方式は設定できません。
- ドロップフレーム、ノンドロップフレームを混在させて録画すると、撮影開始時のタイムコードが不連続になることがあります。
- 内蔵2次電池が充電されていれば、バッテリーなどの電源がなくても、フリーランタイムコードは歩進します。ただし、電源ON時に比べて精度が低下します。

ユーザービットを設定する

CAMERA MEDIA

動画形式 AVCHD MP4

カメラモード AUTO M CINEMA

8桁の16進数(0～9、A～Fの英数字)をユーザービットとして設定し、映像と一緒にカードに記録できます。ユーザービットには撮影情報や記録した映像の管理情報など、映像に付加したい情報を自由に設定することができます。

■ 任意の16進数を設定する

撮
影

FUNC. 1 タッチする

MENU 2 16進数を設定する



- ① [MENU] (メニュー) → [] をタッチする。
- ② 上下にドラッグして「ユーザービットタイプ」→「設定」をタッチする。
 - ユーザービットの設定画面が表示され、一番左の桁が選択される。
 - 「リセット」をタッチすると、ユーザービットが「00 00 00 00」にリセットされる。
 - 設定を途中で中止するときは「キャンセル」をタッチする。
- ③ ▲/▼をタッチして数値を選ぶ。
- ④ ③の操作を繰り返して、残りの桁の数値を選ぶ→「OK」をタッチする。



■ 時刻または日付を設定する

FUNC. 1 タッチする

MENU 2 「時刻」または「日付」を選ぶ



- ① [MENU] (メニュー) → [] をタッチする。
- ② 上下にドラッグして「ユーザービットタイプ」→「時刻」または「日付」をタッチする。



■ ユーザービットを出力する

設定したユーザービットをHDMI OUT端子から出力します。フレームレートが「23.98P」の場合、「ユーザービット出力モード」を「プルダウン」にすると、ユーザービットが2：3プルダウン情報になります。



MEMO

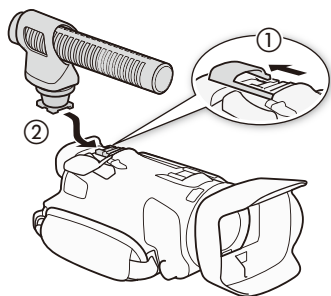
MEDIAモードで、MP4形式の動画を再生しているとき、HDMI OUT端子に重畳されるユーザービットは固定値0が出力されます。

ミニアドバンストシューを使う

CAMERA

MEDIA

本機のミニアドバンストシューに、別売の各種アクセサリ（□251）を取り付けられます。取り付け方や使い方については、各アクセサリの説明書もあわせてご覧ください。



1 カバーを開く (①)

2 ミニアドバンストシューにアクセサリを取り付ける (②)

- 対応するアクセサリを取り付けると、画面に「S」が表示される。

撮
影

例 指向性ステレオマイクロホンDM-100を取り付ける場合



MEMO

本機には、右のロゴ表記がある「ミニアドバンストシュー」対応アクセサリをご利用ください。従来の「アドバンストアクセサリシュー」対応のアクセサリは取り付けられません。


Mini
ADVANCED SHOE

ビデオライトを使う

CAMERA

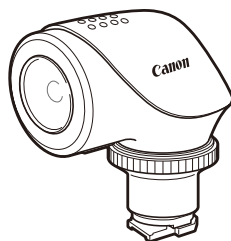
MEDIA

動画形式 AVCHD MP4

カメラモード AUTO M CINEMA

■ ビデオライトVL-5(別売)を使う

暗いところで撮影するときに、被写体を明るく照らすことができます。本機に取り付けて、VL-5の電源スイッチを「AUTO」または「ON」にすると、画面に VL-5 が表示されます。



音声を記録する

CAMERA

MEDIA

本機では、収録する音声は、内蔵マイク、外部マイク入力（ミニアドバンストシュー／Φ3.5mmマイク）から選択できます。

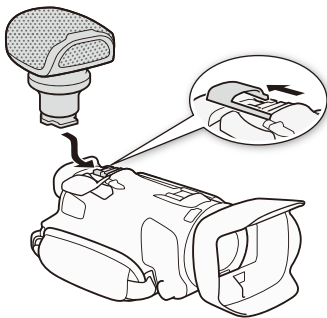
静かな場所で撮影するとき、内蔵マイクが本体の振動をひろってしまうことがあります。また、屋外で撮影するときに風の影響を受けて発生するノイズ音が大きく記録されてしまうことがあります。このようなときは、スポンジやウィンドスクリーン付きの外部マイクの使用をおすすめします。

動画形式 AVCHD MP4

カメラモード AUTO M CINEMA

■ サラウンドマイクロホンSM-V1（別売）／ 指向性ステレオマイクロホンDM-100（別売）を使う

サラウンドマイクロホンSM-V1を使用すると、臨場感のある5.1chの音声を記録できます。また、指向性ステレオマイクロホンDM-100を使用すると、とらえたい音声を確実に記録でき、大切なシーンの言葉を逃しません。SM-V1をはじめて使用するとき、SM-V1に付属のファームアップ専用カードで本機をファームアップします。各アクセサリの説明書もあわせてご覧ください。



SM-V1またはDM-100を使用する際には、ウィンドスクリーンを取り付けることをおすすめします。SM-V1またはDM-100を取り付けると、画面に「S」が表示されます。



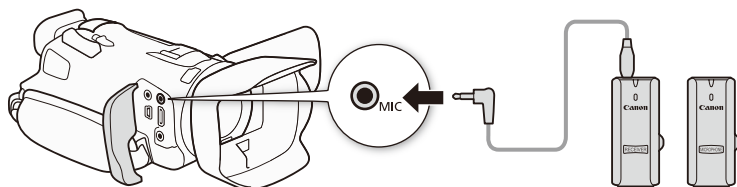
MEMO サラウンドマイクロホンSM-V1を取り付けたとき

- メニューの「サラウンドマイク」でサラウンドマイクの設定を切り換えられます（□ 207）。
- 記録した5.1chの音声は、本機と5.1ch対応機器をハイスピードHDMIケーブル（付属）で接続すると5.1chで再生されます。ステレオビデオケーブル（付属）で他機に接続するか、ヘッドホンに接続すると2chで再生されます。本機のスピーカーからはモノラルで出力されます。
- 「録画モード」が「28 Mbps LPCM (59.94P)」 「24 Mbps LPCM」 （□ 52）のときや「動画形式」が「MP4」のときは2chで記録します。

撮
影

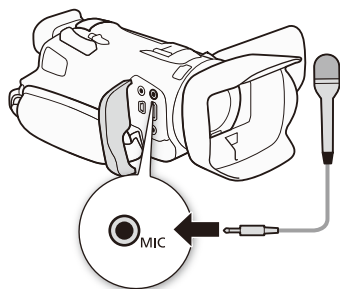
■ ワイヤレスマイクロホンWM-V1(別売)を使う

ワイヤレスマイクロホンWM-V1を使用すると、内蔵マイクではとらえられない離れた場所の音声を記録することができます。また、WM-V1の音声と内蔵マイクの音声をミックスして記録することもできます。WM-V1の取り付けかたや操作については、WM-V1の使用説明書をご覧ください。



■ 市販のマイクを使う

本機には市販のマイクを取り付けることもできます。電源を内蔵したコンデンサーマイクをお使いください。端子の直径が3.5 mmのステレオマイクなら、ほとんどが使用できます。ただし、録音時の音量は内蔵マイクと異なります。



1 市販のマイクをMIC端子につなぐ



MEMO 外部マイクを取り付けているとき、Wi-Fi機能使用時に音にノイズが出ることがあります。なるべく本機から外部マイクを離して使用してください。

■ 場面に合わせて音の設定を選択する（オーディオシーン）

内蔵マイクの音質を撮影場面に合わせて選べます。音にこだわった臨場感あふれるシーンが簡単に撮影できます。

動画形式 **AVCHD MP4**

カメラモード **AUTO M CINEMA**

FUNC.

1 タッチする

2 オーディオシーンを選ぶ

- ① 上下にドラッグして、**AUDIO**（オーディオシーン）をタッチする。
- ② いずれかをタッチする。_____

- 撮影する場面に合わせて録音設定を選ぶ。



STD スタンダード	カメラまかせの標準的な設定で録音するとき。
MUSIC 音楽	音楽の演奏や歌声を豊かに録音。屋内での演奏や歌声を撮影するとき。
VOICE スピーチ	声の集音力を高めて録音。スピーチをしている人などを撮影するとき。
NATURE 森と野鳥	自然の音の広がり感を鮮明に録音。森や野鳥を撮影するとき。
NOISE ノイズカット	風切音や自動車の走行音を低減して録音。風の強い海辺や騒音の多い所で撮影するとき。
CUSTOM カスタム*	音質を自由に設定するとき。






*「カスタム」のときは、FUNC.メニューの「マイクレベル」(103)、メニューの「内蔵マイクウィンドカット」(105)、「マイクアッテネーター」(106)、「内蔵マイク周波数特性」、「内蔵マイク指向性」で音質を細かく設定できます。**AUTO**（オート）モードのときは設定できません。「カスタム」に設定したあと、**AUTO**（オート）モードに切り換えると、「スタンダード」に戻ります。

×

3 タッチする

POINT

オーディオシーンの各設定一覧

	スタン ダード 	音楽 	スピーチ 	森と野鳥 	ノイズ カット 	カスタム 
マイクレベル	マニュアル 70	マニュアル 70	マニュアル 86	マニュアル 80	マニュアル 70	オート/ マニュアル
内蔵マイク ウィンドカット	オートハイ	オートロー	オートハイ	オートハイ	オートハイ	オートハイ/ オートロー/ 切
マイクアッテ ネーター	オート	オート	オート	オート	オート	オート/ 入/ 切
内蔵マイク 指向性切替	ノーマル	ワイド	モノラル	ワイド	モノラル	モノラル/ ノーマル/ ワイド/ ズーム
内蔵マイク 周波数特性	ノーマル	低高域強調	中域強調	低域カット	低域カット	ノーマル/ 低域強調/ 低域カット/ 中域強調/ 低高域強調



MEMO

- 次のときは、内蔵マイクの音声を記録しないため、オーディオシーンを使用できません。
 - ミニアドバンストシューに別売のマイクを取り付けているとき。
 - MIC端子に外部マイクをつないでいて、メニューの「音声ミックス」(P207)が「切」のとき。

■ 内蔵マイク／外部マイク（Φ3.5mm）の録音レベルを調整する

内蔵マイクや外部マイク（Φ3.5mm）の録音時の音量（マイクレベル）を手動で調整できます。「オーディオシーン」であらかじめ「カスタム」を設定してください（[101](#)）。

動画形式 **AVCHD MP4**

カメラモード **AUTO M CINEMA**

FUNC. 1 タッチする

M

2 マイクレベルを選ぶ

上下にドラッグして、**M**（マイクレベル）
→ **M**（マニュアル）をタッチする。
● レベルメーターと調整用の◀ / ▶が出る。

自動調整に戻すとき

A（オート）をタッチする。

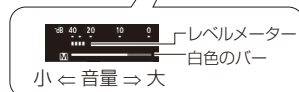


◀ ▶

3 マイクレベルを調整する

◀または▶をタッチして調整する。

- レベルメーターの表示が18dB（20dBのひとつ右隣）より右が時々点灯する状態を目安に調整することをおすすめします。
- 音声ミックス（[110](#)）が「入」のときは、レベルメーターにINT（内蔵マイク）とEXT（外部音源）のレベルが出る。



×

4 タッチする

- 調整した位置で録音レベルが固定される。

POINT

自動調整のときにレベルメーターを表示する

レベルメーターを常に表示して、録音時の音量を確認することができます。

- ① **A** (オート) をタッチする。
- ② 「レベルメーター」をタッチする。
 - レベルメーターが出る。
- ③ **X** をタッチする。



MEMO

- レベルメーターの「0」の位置が赤く表示されているときは、音がひずむことがあります。
- マイクレベルを調整したり、「マイクアッテネーター」を「入」に設定しているときは、ヘッドホンで音量を確認することをおすすめします(□ 112)。

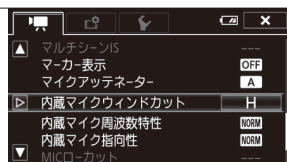
■ 内蔵マイクウィンドカットを使う

屋外で撮影するときに風の影響を受けて発生する、「ポコポコ」というノイズ音を自動的に低減します。なお、その際、風の音と一緒に低音の一部も低減されますので、風の影響を受けない場所で撮影するときや、低音まで収録するときは、「切」を選びます。「オーディオシーン」であらかじめ「カスタム」を設定してください(101)。

動画形式 AVCHD MP4 カメラモード AUTO M CINEMA

FUNC. 1 タッチする

- MENU** 2 オートウィンドカットを選ぶ
- ① **MENU** (メニュー) → 「内蔵マイクウィンドカット」をタッチする。
 - ② 「**H** オートハイ」または「**L** オートロー Low」をタッチする。



× 3 タッチする

■ マイクのアッテネーターを使う

マイクの信号に対しアッテネータ（12dB）を使用します。「オーディオシーン」であらかじめ「カスタム」を設定してください（□ 101）。

動画形式 **AVCHD MP4** カメラモード **AUTO M CINEMA**

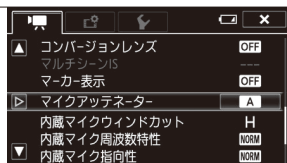
FUNC.

1 タッチする

MENU

2 マイクアッテネーターを選ぶ

- ① **MENU**（メニュー）→「マイクアッテネーター」をタッチする。
- ② いずれかをタッチする。



A（オート）

カメラがマイク音量に合わせて、アッテネーターを自動的に入／切します。大音量はひずまない音量に、大音量以外は最適な音量で記録できます。

ON（入） **ATT**

アッテネーターが常に働き、音の強弱をより忠実に記録できます。「入」にすると画面に **ATT** が出る。

×

3 タッチする

■ 内蔵マイクの周波数特性を変える

収録する音に合わせて最適特性で録音できます。「オーディオシーン」であらかじめ「カスタム」を設定してください(□ 101)。

動画形式 **AVCHD MP4** カメラモード **AUTO M CINEMA**

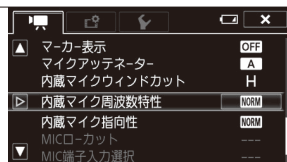
FUNC.

1 タッチする

MENU

2 内蔵マイク周波数特性を選ぶ

MENU (メニュー) → 「内蔵マイク周波数特性」をタッチする。



3 周波数特性を選ぶ

上下にドラッグしていずれかの周波数特性をタッチする。

- | | |
|------------------|---------------------------------|
| NORM ノーマル | 最も使用頻度が高く、バランスのとれた録音ができる。 |
| LB 低域強調 | 低域を強調し、迫力ある録音ができる。 |
| LC 低域カット | 風雑音や自動車走行音などの低域の環境音を低減する。 |
| MB 中域強調 | 人の声を中心に録音する。 |
| LHB 低高域強調 | コンサートなど音楽を録音するときに、音のメリハリを向上させる。 |

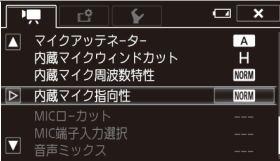












×

4 タッチする

■ 内蔵マイクの指向性を切り換える

内蔵マイクの指向性を切り換えることで、正面の音に重点をおいて周囲のノイズを少なくしたり、音の広がりを強調したりすることができます。「オーディオシーン」であらかじめ「カスタム」を設定してください(101)。

動画形式 **AVCHD MP4** カメラモード **AUTO M CINEMA**

FUNC.	1 タッチする								
MENU	<div data-bbox="207 659 501 692">2 内蔵マイク指向性を選ぶ</div> <div data-bbox="253 708 686 761">MENU (メニュー) → 「内蔵マイク指向性」をタッチする。</div> <div data-bbox="729 651 1013 812"></div>								
	<div data-bbox="207 855 389 888">3 指向性を選ぶ</div> <div data-bbox="253 903 543 927">いずれかの指向性をタッチする。</div> <div data-bbox="253 951 1013 1163"><table><tr><td> モノラル</td><td>マイク正面の音声を重点的に記録するモノラル録音。</td></tr><tr><td> ノーマル</td><td>ワイドとモノラルの中間。標準的な2ch録音。</td></tr><tr><td> ワイド</td><td>音の広がりを強調した2ch録音。臨場感を出したいときに。</td></tr><tr><td> ズーム</td><td>2ch録音。録音時の音量がズームに連動するので、離れた被写体を拡大して撮ると、音量も大きくなる。</td></tr></table></div>	 モノラル	マイク正面の音声を重点的に記録するモノラル録音。	 ノーマル	ワイドとモノラルの中間。標準的な2ch録音。	 ワイド	音の広がりを強調した2ch録音。臨場感を出したいときに。	 ズーム	2ch録音。録音時の音量がズームに連動するので、離れた被写体を拡大して撮ると、音量も大きくなる。
 モノラル	マイク正面の音声を重点的に記録するモノラル録音。								
 ノーマル	ワイドとモノラルの中間。標準的な2ch録音。								
 ワイド	音の広がりを強調した2ch録音。臨場感を出したいときに。								
 ズーム	2ch録音。録音時の音量がズームに連動するので、離れた被写体を拡大して撮ると、音量も大きくなる。								
×	4 タッチする								

■ MICローカットを使う

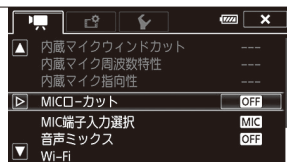
外部マイク使用時、屋外で撮影するときに発生する風の音や、低い音を低減します。風の影響を受けない場所で撮影するときや、低音まで収録するときは「切」を選びます。

動画形式 AVCHD MP4 カメラモード **AUTO** M CINEMA

FUNC. 1 タッチする

MENU 2 MICローカットを選ぶ

- ① **MENU** (メニュー) → 「MICローカット」をタッチする。
- ② 「ON」または「OFF」をタッチする。



× 3 タッチする


MIC端子入力選択

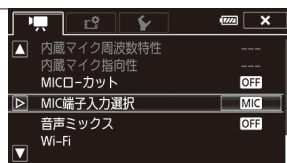
動画形式 **AVCHD MP4** カメラモード **AUTO M CINEMA**

MIC端子に入力する信号を選択します。オーディオプレーヤーなどの外部機器か市販の外部マイクかを選択します。

FUNC. 1 タッチする

MENU 2 MIC端子の入力音声種別を切り換える

- ① **MENU**（メニュー）→「MIC端子入力選択」をタッチする。
- ② 接続した機器に応じて、いずれかをタッチ
→をタッチする。



LINE 外部音源 オーディオプレーヤーなどの外部機器を使用するとき。
MIC マイク 市販の外部マイクを使用するとき。

- ワイヤレスマイクロホンWM-V1を取り付けている場合、この操作は不要。

音声ミックス

動画形式 **AVCHD MP4** カメラモード **AUTO M CINEMA**

内蔵マイクと外部入力（MIC端子入力）の音声をミックス（混合）して記録することができます。外部入力には、ワイヤレスマイクロホンWM-V1（別売）、市販のオーディオプレーヤー／マイクを使用できます。2つの音声の混合比率（ミックスバランス）を変えることもできます。

 **MIC** 1 外部入力機器をMIC端子につなぐ

FUNC. 2 タッチする

MENU



3 MIC端子の入力音声種別を切り換える

- ① **MENU** (メニュー) → 「MIC端子入力選択」をタッチする。
- ② 接続した機器に応じて、いずれかをタッチ → をタッチする。

LINE 外部音源 オーディオプレーヤーなどの外部機器を使用するとき。

MIC マイク 市販の外部マイクを使用するとき。

- ワイヤレスマイクロホンWM-V1を取り付けている場合、この操作は不要。

ON

4 音声ミックスを選ぶ

- ① 上下にドラッグして、「音声ミックス」をタッチする。
- ② **ON** (入) をタッチする。
- レベルメーターとバランス調整バーが出る。

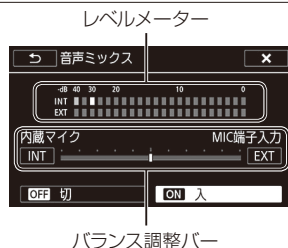
INT

EXT

5 ミックスバランスを調整する

バランス調整バーの **INT** または **EXT** をタッチして調整する。

- メーターを左右にドラッグして選ぶこともできる。



×

6 タッチする

ヘッドホンを使う

CAMERA MEDIA

撮影時や再生時にヘッドホンで音声を聞くことができます。

■ ヘッドホンで音声を聞きながら撮影／再生する

ヘッドホンを（ヘッドホン）端子に接続して、ヘッドホンで撮影や再生される音声をモニターできます。

動画形式 AVCHD MP4

カメラモード AUTO M CINEMA

FUNC.

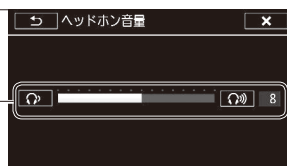
1 タッチする

- MEDIAモードのときは、この操作は不要。



2 ヘッドホン音量を調整する

- ① [MENU] (メニュー) → 「」をタッチする。
 - ② 上下にドラッグして、「ヘッドホン音量」をタッチする。
 - ③ または をタッチして調整する。——
- メーターを左右にドラッグしても調整できる。



×

3 タッチする

- 調整した位置で音量が固定される。

再生中にヘッドホン音量を調整する

CAMERA MEDIA



1

再生中 音量を調整する

- ① 画面上をタッチして、操作ボタンを出す。
- ② をタッチする。
- ③ ヘッドホン音量の または をタッチして音量を調整する。



ご注意

ヘッドホンを使うときは、音量を一度下げてください。



MEMO

モニターする際、音声を映像に同期させるか、リアルタイムの音声をモニターするかを「」→「モニターディレイ」で設定できます。なお、リアルタイムの音声をモニターすると、映像と音声に少しズレが生じます。記録される映像と音声は、設定にかかわらず同期されます (143)。

カラーバー／テストトーンを記録する

CAMERA

MEDIA

カラーバー & テストトーン

テレビや外部モニターの色や明るさの調整用に、カラーバーを出力／記録することができます。また同時に1kHzのテストトーンを出力／記録することもできます。カラーバーとテストトーンは次の端子にも出力されます。

	カラーバー	1 kHzテストトーン
AV OUT端子	●	●
HDMI OUT端子	●	●
Ω (ヘッドホン)端子	—	●

動画形式 AVCHD MP4

カメラモード AUTO M CINEMA

■ カラーバーを記録する

出力／記録するカラーバーは、SMPTE準拠とARIB準拠のいずれかを選べます。


FUNC.

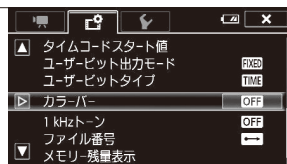
1 タッチする

MENU

2 カラーバーを選ぶ



- ① [MENU] (メニュー) →  をタッチする。
- ② 上下にドラッグして、「カラーバー」をタッチする。
- ③ 「SMPTE」または「ARIB」をタッチする。
 - 画面にカラーバーが表示される。



×

3 タッチする

- START/STOPボタンを押して撮影を開始すると、カラーバーを記録できる。

■ テストトーンを記録する

カラーバーとともに1 kHzのテストトーンを出力／記録することができます。本機を他機につないで再生する場合、本機のテストトーンを使って接続した機器のレベルを調整することができます。テストトーンのレベルは、接続する機器に合わせて、「-12dB」、「-18dB」、「-20dB」から選べます。


FUNC.

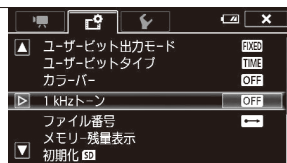
1 タッチする

MENU



2 レベルを選ぶ

- ① **MENU** (メニュー) →  をタッチする。
- ② 上下にドラッグして「1 kHzトーン」をタッチする。
- ③ 「-12dB」、「-18dB」、「-20dB」**OFF** 切 のいずれかを選ぶ。




×

3 タッチする

- 選択したレベルのテストトーンが出力される。
- START/STOPボタンを押して撮影を開始すると、カラーバーとテストトーンを記録できる。

ビデオスナップを撮る

CAMERA MEDIA

ビデオスナップモードを使って撮影すると、4秒間の短い映像（ビデオスナップ）が記録できます。ビデオスナップはアサインボタン（ 125）に「ビデオスナップ」を割り当てて操作します。

動画形式 AVCHD MP4

カメラモード AUTO M CINEMA

1 アサインボタンに「ビデオスナップ」を割り当てる（ 125）

2 アサインボタンを押す

- ① 「ビデオスナップ」を割り当てたアサインボタンを押す。

- 「ビデオスナップ記録時間」アイコンが表示される。




3 押す

- 約4秒間撮影し、自動的に撮影が停止する。
- 記録後、シャッターを切ったときのように画面が一度黒くなる。



MEMO

- メニューの「ビデオスナップ記録時間」（ 212）で記録時間を変更できます。
- 以下の場合、ビデオスナップモードは解除されます。
 - POWER（電源）スイッチやカメラモード切り換えスイッチを操作したとき。
 - 動画形式（AVCHD/MP4）やフレームレートを切り換えたとき。

撮影チャンス逃さない

CAMERA MEDIA

PRE REC(プレREC)

3秒前からの映像を自動的に記録できます。

初期設定では、アサインボタン2(□ 14、125)に「PRE REC」が割り当てられていますので、PRE RECを使うときは、このボタンを押して操作します。

動画形式 AVCHD MP4

カメラモード AUTO M CINEMA

撮
影

PRE REC

2

1 PRE RECボタンを押す

① 画面に  が出る。

解除するとき

もう一度PRE RECボタンを押す。



0

START/
STOP

2 押す

- ボタンを押す3秒前からの映像が記録される。



MEMO

PRE RECの設定直後や撮影終了後から約3秒以内に撮影を始めると、3秒前からの映像は記録されません。

PRE RECが解除される場合

- PRE RECを設定した後、約1時間操作しなかったとき。
- カメラモードスイッチを操作したとき。
- ビデオスナップモードを「ON」にしたとき。
- FUNC.メニューの次のボタンをタッチしたとき。
「メニュー」、「撮影モード」、「ホワイトバランス」、「AGCリミット」、「オーディオシーン」、「手ブレ補正」
- 「ルック」(□ 91)の設定を切り換えたとき。

画面の表示を切り換える

CAMERA MEDIA

画面に表示する撮影情報などを切り換えられます。

動画形式 AVCHD MP4

カメラモード AUTO M CINEMA

DISP. 押す



● 表示される撮影情報は、押すたびに切り換わる。

表示される内容や切り換わりかた

動画撮影中	すべて表示 → (マーカー表示) *1 → 表示なし
動画再生中*2 静止画再生中*2	メニューの「データコード表示」の設定情報を表示 → すべて表示

*1 メニューで「マーカー表示」を設定しているときのみ表示される。

*2 DISP.ボタンを押したり、画面をタッチしたりすると、設定内容にかかわらず操作ボタンが出る。

データコードとは？

日時やカメラデータ（シャッタースピードやしぼり）などの撮影情報を「データコード」といいます。データコードはメニューの「データコード表示」で切り換えられます（[P.211](#)）。

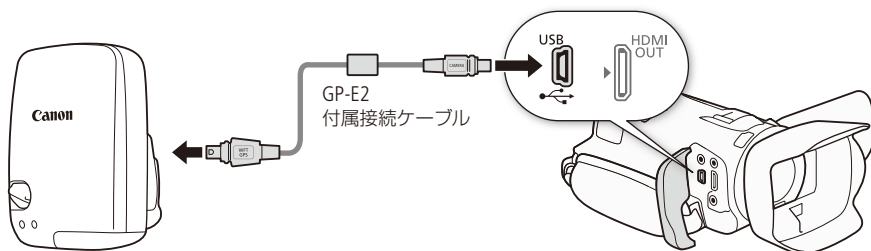
GPSレシーバー GP-E2を使う

CAMERA MEDIA

動画形式 AVCHD MP4

カメラモード AUTO M CINEMA

本機とGPSレシーバー GP-E2(別売)を接続して使用すると、GPS情報を取得して、本機で記録した動画や静止画にGPS情報を付加することができます。GP-E2の取り付けかたや操作についてはGPSレシーバー GP-E2の説明書も合わせてご覧ください。



本機とGPSレシーバー GP-E2を接続するときは、GP-E2付属のケーブルで接続してください。なお、GP-E2を本機に取り付けるときは、グリップベルトへの取り付け、またはGP-E2付属の携帯用ケースに入れて、腰への取り付けをおすすめします。



● 国や地域によっては、GPSの使用などが規制されていることがありますので、お使いになる際は国や地域の法令等の規制にしたがってください。旅行など、国外で使用するときは特に注意してください。

- 電子機器の使用が制限されている場所での使用には十分注意してください。
- GPS機能を使って撮影した静止画や動画に記録されるカメラの位置情報は、個人を特定する情報が含まれていることがあります。そのためGPS機能を使ってカメラの位置情報が記録されている静止画、動画、GPSログファイルを他人に渡したり、インターネットなどの複数の人が閲覧できる環境へ掲載したりするときは、十分注意してください。
- 電源を入れ換えたときや、長時間電源スイッチを切ったときは、GPS衛星からの信号を受信するのに時間がかかることがあります。
- 本製品を磁石やモーターなどの強力な磁気を発生させる装置の近くに、絶対に置かないでください。



MEMO

- 本機では、GP-E2の機能、「自動時刻設定」の「今すぐ実行」、「位置情報の更新間隔」、方位情報(電子コンパス)には対応していません。
- GPS自動時刻設定の「自動更新」は、GP-E2と接続するときに一度だけ時刻設定を行います。動画撮影中と、ブラウザーリモート(□ 172)が「ON」のときは、時刻設定を行いません。
- あとからフォト(□ 134)で切りとった静止画やMP4形式に変換した動画(□ 160)にはGPS情報が付加できません。
- AVCHD動画に付加されたGPS情報は、本機およびソフトウェアData Import Utilityでは削除することができません。

4 カスタマイズ

よく使う機能を設定する 122

アサインボタンの機能を変更する ... 125

メニューデータの保存と読み出し... 127

よく使う機能を設定する

CAMERA

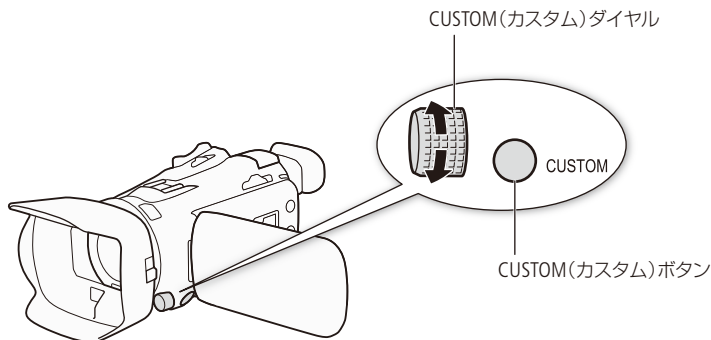
MEDIA

CUSTOMダイヤル&ボタン

よく使う機能を選んで設定しておく、その機能を簡単に切り換えられます。割り当てる機能はメニューまたは専用メニューで設定します。

動画形式 AVCHD MP4

カメラモード AUTO M CINEMA



機能を割り当てる

メニューで割り当てる

FUNC.

1 タッチする

MENU

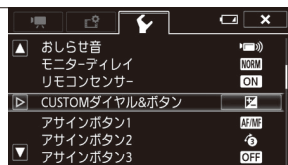
2 機能を選ぶ



- ① [MENU] (メニュー) → [タッチ] をタッチする。
- ② 上下にドラッグして、「CUSTOMダイヤル&ボタン」をタッチする。
- ③ いずれかをタッチする。

設定した機能を解除するとき

- ③で [OFF] (切) をタッチする。
- ④ [X] をタッチする。



3 機能を調整する

操作2の③で選んだ項目によって以下の操作を行う。

「Tv/Av」を選んだとき

- ① 撮影モードを **Tv** または **Av** にする (☞ 80)。
- ② CUSTOM(カスタム)ダイヤルを回してシャッタースピードまたはしぼり値を調整する。

「マニュアル露出」を選んだとき

- ① 撮影モードを **M** にする (☞ 82)。
- CUSTOM(カスタム)ボタンを押すたび、項目が移動する。
- ② CUSTOM(カスタム)ダイヤルを回して選んだ項目の数値を調整する。

「AGCリミット」を選んだとき

- ① CUSTOM(カスタム)ボタンを押してAGCリミット値を表示させる (☞ 79)。
- ② CUSTOM(カスタム)ダイヤルを回してAGCリミット値を調整する。

「露出」を選んだとき

- ① CUSTOM(カスタム)ボタンを押して ☒ (露出) を表示させる (☞ 83)。
- ② CUSTOM(カスタム)ダイヤルを回して露出値を調整する。
- 調整を止めるときは、もう一度CUSTOM(カスタム)ボタンを押す。

専用メニューで設定する



1 長押しする

- ① CUSTOM(カスタム)ボタンを長押しする (約1秒)。



2 機能を設定する

- ① CUSTOM(カスタム)ダイヤルを回して、いずれかの機能を選ぶ。
- ② CUSTOM(カスタム)ボタンを押す。



設定した機能を解除するとき

- ① で **OFF** を選択する。



3 機能を調整する

123ページの手順3を行う。



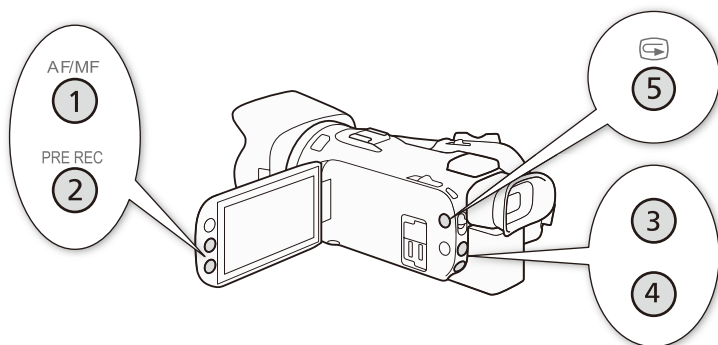
CUSTOM(カスタム)ボタン／CUSTOM(カスタム)ダイヤルの操作

設定	CUSTOM(カスタム)ボタン	CUSTOM(カスタム)ダイヤル
TV/AV	—	シャッタースピード／しぼり値の調整
マニュアル露出	しぼり、シャッタースピード、ゲインの項目移動	CUSTOM(カスタム)ボタンで選んだ項目の値を調整
AGCリミット	ON/OFF	AGCリミット値の調整
露出	ON/OFF	露出値の調整

アサインボタンの機能を変更する

CAMERA MEDIA

本機には5個のアサインボタンがありますので、使用頻度の高い機能を割り当てて、より使いやすくカスタマイズすることができます。



カスタマイズ

アサインボタンの番号とボタン名、初期設定は次のとおりです。

ボタン名	初期設定
アサインボタン1	AF/MF AF/MF
アサインボタン2	PRE REC プレREC
アサインボタン3	—
アサインボタン4	—
アサインボタン5	REC REVIEW レックレビュー

アサインボタンには次の機能を割り当てることができます。

機能名	内容
パワードIS*	パワードISのON/OFFを切り換える。
* 強制逆光補正*	強制逆光補正のON/OFFを切り換える。
フェイスオンリー AF*	フェイスオンリー AFのON/OFFを切り換える。
ビデオスナップ	ビデオスナップのON/OFFを切り換える。
WB 優先WB*	優先ホワイトバランスのON/OFFを切り換える。
プレ REC	PRE RECのON/OFFを切り換える。
AF/MF AF/MF*	AF(オートフォーカス)とMF(マニュアルフォーカス)を切り換える。
レックレビュー	直前に撮ったシーンを再生する。
FUNC. 撮影モード*	[FUNC.] メニューの「撮影モード」を表示する。
FUNC. 強制逆光補正*	[FUNC.] メニューの「強制逆光補正」を表示する。
FUNC. ホワイトバランス*	[FUNC.] メニューの「ホワイトバランス」を表示する。
FUNC. AGCリミット*	[FUNC.] メニューの「AGCリミット」を表示する。
FUNC. フォーカス*	[FUNC.] メニューの「フォーカス」を表示する。
FUNC. 露出*	[FUNC.] メニューの「露出」を表示する。

機能名	内容
FUNC. オーディオシーン	[FUNC.]メニューの「オーディオシーン」を表示する。
FUNC. マイクレベル*	[FUNC.]メニューの「マイクレベル」を表示する。
FUNC. ズーム	[FUNC.]メニューの「ズーム」を表示する。
FUNC. 手ブレ補正*	[FUNC.]メニューの「手ブレ補正」を表示する。
FUNC. ピクチャー設定*	[FUNC.]メニューの「ピクチャー設定」を表示する。
FUNC. ブラウザーリモート	[FUNC.]メニューの「ブラウザーリモート」を表示する。
OFF 切	機能割り当てなし。

* **M** (マニュアル) モードまたは **CINEMA** (シネマ) モードでアサインボタンに設定後、**AUTO** (オート) モードに切り換えると、操作できません。

機能を変更する



例：アサインボタン1にフェイスオンリー AFを割り当てる場合

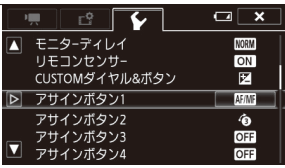
FUNC.

1 タッチする

MENU

2 フェイスオンリー AFを選ぶ

① **MENU** (メニュー) →  をタッチする。
② 上下にドラッグして、「アサインボタン1」をタッチする。
③ ▲/▼をタッチして「 フェイスオンリー AF」をタッチする。



×

3 タッチする

アサインボタンを使う

必要なときに、機能を割り当てたアサインボタンを押して使用する。

メニューデータの保存と読み出し

CAMERA

MEDIA

FUNC. メニュー、メニュー、シネマルックフィルター (□ 59) で行った各種の設定情報をメニューデータ (設定データ) としてカードに保存することができます。メニューデータ (設定データ) は必要に応じて本機に読み出して再利用できます。複数のカメラを同じ設定にするときに便利です。

動画形式 AVCHD MP4

カメラモード AUTO M CINEMA

■ メニューデータをカードに保存する



1 カードスロット **B** に保存先となるカードを入れる

FUNC.

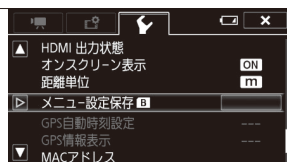
2 タッチする

MENU



3 メニュー設定保存 **B** を選ぶ

- ① **[MENU]** (メニュー) → をタッチする。
- ② 上下にドラッグして、「メニュー設定保存 **B**」をタッチする。
- ③ 「保存」→ 「はい」をタッチする。
 - 現在のメニュー設定が、カードに保存される。
- ④ 「OK」をタッチする。




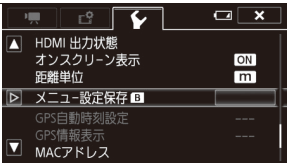


×

4 タッチする

■ メニューデータをカードから読み込む

カードに保存されている設定データを読み込んで本機に設定します。

	1 カードスロット B に読み込み元となるカードを入れる	
FUNC.	2 タッチする	
MENU 	3 メニュー設定保存 B を選ぶ ① MENU (メニュー) →  をタッチする。 ② 上下にドラッグして、「メニュー設定保存 B 」をタッチする。 ③ 「読み込み」 → 「はい」をタッチする。 <ul style="list-style-type: none"> ● カードから読み込んだメニュー設定の内容に設定される。 ● 設定データが本機に読み込まれたあと、画面が一度消え、本機が再起動する（メニュー画面は閉じます）。 	



MEMO


- 本機のメニューデータを、ファームウェアのバージョンが本機よりも前の製品で読み込んだとき、録画モード(□ 52)、Slow & Fastモーション(□ 57)の設定内容が初期化されます。ファームウェアのバージョンをご確認ください。

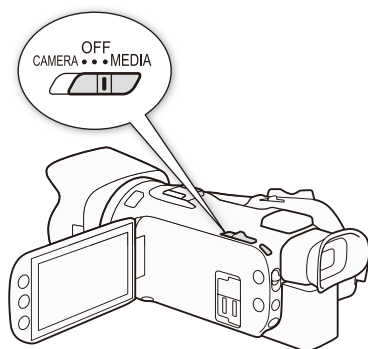
5 再生／編集

シーンを再生する	130
シーンを消す	135
シーンを分割する	137
シーンを切りとる	138

シーンを再生する

CAMERA MEDIA

ここでは、撮影した映像（シーン）の再生について説明します。外部のモニターに接続して再生するときは、「接続」をご覧ください（ 140）。



■ 再生する

↑ POWER(電源)スイッチを「MEDIA」にする

- インデックス画面が表示される。




2 インデックス画面で見たいシーンを探す

「ルック」の「高輝度優先」で撮影したシーン（□91）には、が表示される。



カードと動画形式を切り換えるとき



- ①  をタッチする。
- ② タッチして、カードAとカードBを切り換える。
- ③ タッチして、 (AVCHD形式)と (MP4形式)を切り換える。



MEMO

「ルック」の「高輝度優先」で撮影したシーンを再生するときは、「レビューアシスト」(□214)をONにすると、より適切な映像を確認することが出来ます。また、テレビなどの外部モニターに接続して再生するときは、明るめに設定して再生することをおすすめします。

3 シーンをタッチする ▶ 再生開始

- タッチしたシーンの再生が終わると、インデックス画面の最後のシーンまで自動的に再生される。
- 画面上をタッチすると、操作ボタンが出る。操作しないと数秒で消える（再生中のみ）。もう一度タッチしても消える。

再生中の操作



再生一時停止中の操作

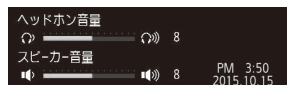


* MP4形式の動画のときは記録が開始された日付が表示されます。

ボタン	操作
◀◀ (早戻し) ▶▶ (早送り)	操作するたびに再生速度が5倍→15倍→60倍に切り換わる。早送り/早戻し中、音声は出ない。
◀◀ (前へスキップ)	現在のシーンの先頭から再生する。連続して2回タッチすると、前のシーンの先頭から再生する。
▶▶ (次へスキップ)	次のシーンの先頭から再生する。
◀ (逆スロー再生) ▶ (スロー再生)	操作するたびに再生速度が1/8倍→1/4倍に切り換わる。スロー再生/逆スロー再生中、音声は出ない。

音量を調整する

1. 再生中に画面をタッチ→「🔊」をタッチする。
ヘッドホン音量とスピーカー音量の調整バーが出る。
2. 調整バーの左右のマークをタッチするか、バー上を左右にドラッグして調節する→🔊をタッチする。

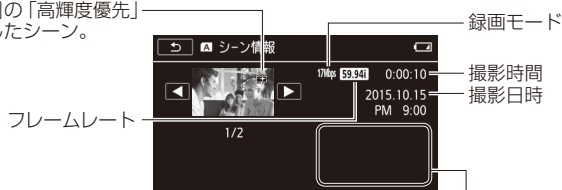


シーン情報を表示する

シーン情報を表示することができます。

1. AVCHD形式またはMP4形式の動画インデックス画面で📄をタッチする。
2. シーンをタッチする。
3. 🔄を2回タッチする。

「ルック」の「高輝度優先」で撮影したシーン。



- 別売のGP-E2を使って撮影した場合はGPS情報も表示されます。



❗ 注意

- ACCESSランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
 - カードカバーを開けない。
 - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
 - カメラモードスイッチを切り換えない。
- 他機でカードに記録した動画は本機で再生できないことがあります。



MEMO

- 再生画面の日時表示を消すときは、メニューの「データコード表示」を「切」にします。表示内容を変更することもあります(📄 211)。
- 撮影条件によっては、シーンが切り換わるときに映像が止まったり、音声途切れたりすることがあります。
- 早送り/早戻し中やスロー再生/逆スロー再生中は、画面が乱れることがあります。
- 画面に出る倍速表示は目安です。
- 逆スロー再生は、連続したコマ戻しのよう再生されます。

■ 映像を写真として切りとる（あとからフォト）

撮影した映像から、気に入った場面を静止画として切りとれます。

動画形式 AVCHD MP4

1 静止画を切りとるシーンを再生する（📖 130）

2 静止画を切りとる位置で再生一時停止にする
画面上の⏸をタッチする。

PHOTO

3 タッチする



MEMO

- 記録される静止画のサイズは1920×1080です。
- 切りとった静止画の撮影日時は、元の動画を撮影したときの日付と時刻が設定されます。
- 動きの速い映像を静止画として切りとると、ブレた静止画になることがあります。
- 静止画は、メニューの「記録先」→「静止画記録先」で選んだカードに記録されます（📖 41、211）。

シーンを消す

CAMERA MEDIA

消去

不要なシーンを複数選んでまとめて消すことができます。日付を指定して一括消去したり、表示しているメモリー内のすべてのシーンを消したりすることもできます。

動画形式 AVCHD MP4

ある日のシーン、選んだシーン、すべてのシーンをまとめて消す

1 消去するシーンを含むインデックス画面に切り換える (131)

特定の日に撮った全シーンを消すとき
左右にドラッグして、消去するシーンの日付を画面に出す。

FUNC.

2 消去を選ぶ

[FUNC.] → 「消去」をタッチする。

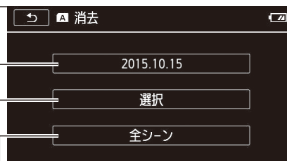
3 いずれかの消去方法をタッチする

特定の日に撮った全シーンを消すとき* (操作5へ) →

シーンを選んで消すとき →

すべてのシーンを消すとき →

* MP4形式の動画では「100_0101」のように日付ごとに作成されたフォルダー名が表示される。



実行

4 シーンを選んで消すとき シーンを選ぶ

① 消すシーンをタッチする。

- シーンが選択され、✓が付く。
- もう一度タッチすると選択が解除される。

② ①の操作を繰り返して、消すシーンをすべて選ぶ。

選択をすべて解除するとき
「全解除」→ 「はい」をタッチする。

③ [実行] をタッチする。



5 シーンを消す

① 「はい」をタッチする。

中止するとき「中止」をタッチする。一部のシーンは消去される。

② 「OK」をタッチする。

再生一時停止中のシーンを消す

1 消去するシーンを再生一時停止にする

① シーンをタッチする。

● 再生が始まる。

② 画面上をタッチ→IIをタッチする。

● 一時停止する。

FUNC.

2 消去する

① [FUNC.]→「消去」→「はい」をタッチする。

② 「OK」をタッチする。

例：AVCHD形式動画の場合



ご注意

● 一度消したシーンは元に戻りませんので、消す前にシーンを確認してください。

● 大切な映像データは、あらかじめバックアップしてください(□ 152、156、160、163)。

● シーン消去中、ACCESSランプが点灯しているときは、次のことを必ず守ってください。

- カードカバーを開けない。
- 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
- カメラモードスイッチを切り換えない。



MEMO

カードに記録されているすべてのシーンを消して容量を元に戻す場合は、カードを初期化します(□ 39)。

シーンを分割する

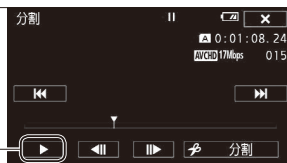
CAMERA MEDIA

分割

AVCHD形式のシーンを分割できます。分割することで、不要なシーンを消去できます。

動画形式 AVCHD MP4

	1	シーンを再生する (📖 130)							
II	2	再生一時停止にする 画面上をタッチ→IIをタッチする。							
FUNC.	3	分割を選ぶ [FUNC.]→「分割」をタッチする。							
▶	4	分割する位置を決める ① 分割する位置を探す。 ● ▶をタッチすると再生する。もう一度タッチすると一時停止する。 <table><tr><td>再生中</td><td>◀◀ / ▶▶</td><td>早戻し／早送り</td></tr><tr><td>一時停止中</td><td>◀◀ / ▶▶</td><td>コマ戻し／コマ送り</td></tr></table> ② 分割する位置で一時停止にする。	再生中	◀◀ / ▶▶	早戻し／早送り	一時停止中	◀◀ / ▶▶	コマ戻し／コマ送り	
再生中	◀◀ / ▶▶	早戻し／早送り							
一時停止中	◀◀ / ▶▶	コマ戻し／コマ送り							
✂	5	分割する 「✂分割」→「はい」をタッチする。 ● 分割した元のシーンの次に挿入される。							



MEMO

- 分割する位置を決めるときのコマ戻し／コマ送りの間隔は0.5秒です。
- 一時停止した位置で分割できないことがあります。その場合はコマ送りなどで位置を変えてください。
- 再生時、分割したシーンのつなぎ目で映像と音声がかかることがあります。

分割できない場合

- 約3秒未満のシーンのとき。
- シーンの始めまたは終わりから約1秒以内の位置のとき。

シーンを切りとる

CAMERA

MEDIA

トリミング

MP4形式のシーンから不要な部分を切りとって消去できます。指定した位置より前、または後ろの部分を消去します。

動画形式 AVCHD MP4

1 シーンを再生する (📖 130)

II

2 再生一時停止にする

画面上をタッチする→IIをタッチする。

FUNC.

3 トリミングを選ぶ

[FUNC.]→「トリミング」をタッチする。

▶

4 切り取る位置を決める

① 位置を探す

- ▶をタッチすると再生する。もう一度タッチすると一時停止になる。

再生中

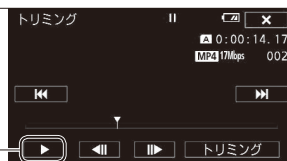
◀◀ / ▶▶

早戻し／早送り

一時停止中

◀◀ / ▶▶

コマ戻し／コマ送り



② 切りとる位置で一時停止にする。

5 シーンを切りとる

- ① 「トリミング」をタッチする。
- ② 「前部を削除」または「後部を削除」をタッチする。
- ③ 「新規保存」または「上書き保存」をタッチする。

「新規保存」を中止するとき

「中止」をタッチする。

6 接 続

外部モニターを接続する	140
音声出力を選択する	143

外部モニターを接続する

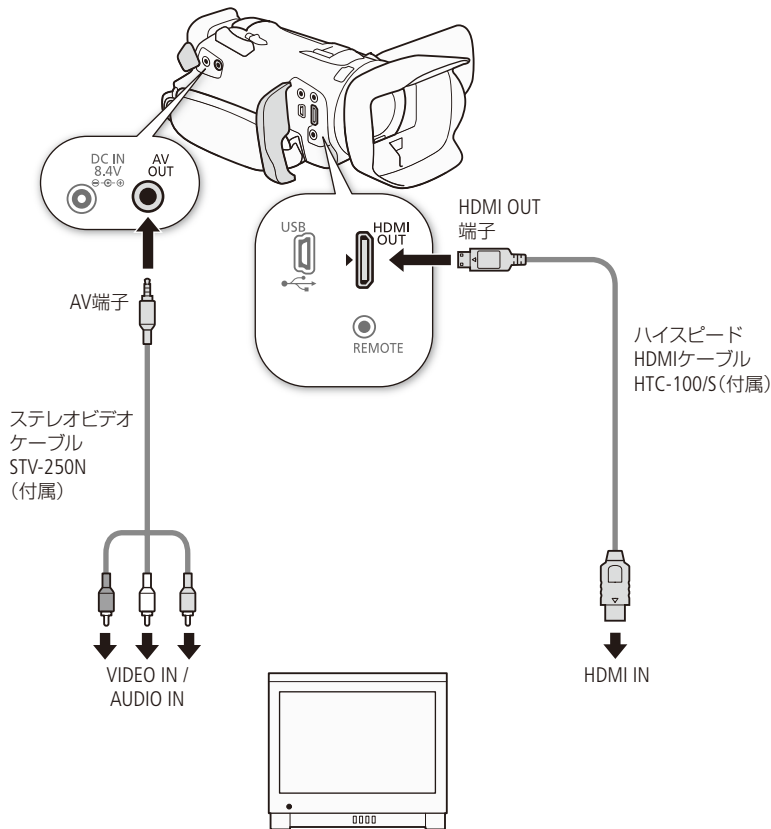
CAMERA MEDIA

撮影・再生映像をモニターに表示するときは、外部モニターに応じて使用する端子を選び本機と外部モニターを接続したあと、使用する端子の出力信号形式をメニューで設定します。

AV OUTとHDMI出力は自動的に切り換わります。

動画形式 AVCHD MP4 カメラモード AUTO M CINEMA

■ 接続のしかた



MEMO

コンパクトパワーアダプター (ACアダプター)を使って、コンセントにつないで使うことをおすすめします。

HDMI OUT端子を使用する

HDMI OUT端子を使用すると、映像と音声をデジタル信号で出力することができます。「HDMI出力」(140) の設定を「**A** (オート)」にすると、接続した外部モニターの性能に合わせて映像を出力します。HDMI OUT端子の出力に画面表示を重畳することもできます (217)。CAMERAモード時、音声は2chリアニアPCM(16ビット、48kHz)で出力されます。

FUNC.

1 タッチする

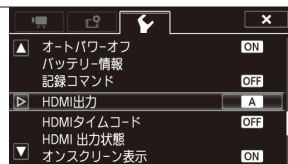
メディアモードのときは、この操作は不要。

MENU



2 HDMI出力を選ぶ

- ① **MENU** (メニュー) → をタッチする。
- ② 「HDMI出力」をタッチする。
- ③ いずれかを選ぶ。



×

3 タッチする



MEMO

- HDMI OUT端子は出力専用です。他の出力端子と接続しないでください。故障の原因となります。
- HDMI OUT端子で接続していると、AV OUT端子から映像は出力されません。
- DVI対応モニターとの接続は保証していません。
- モニターによっては正しく表示されないことがあります。そのときは、AV OUT端子を使って接続してください。
- 「HDMI出力」で **A** (オート) 以外を選択したとき、設定した出力信号形式にモニターが対応していない場合、HDMI出力は停止します。

■ コンポジット出力端子を使用する

コンポジット出力端子 (AV OUT端子) からは、ダウンコンバートされたSDアナログコンポジット信号を出力します。



MEMO

- モニターがビデオID-1方式に対応していれば、自動的にワイド画面(16:9)に切り換わります。
- ワイド(16:9)モードのない標準画質のテレビ(4:3)につなぐときは、メニューの「テレビタイプ」(□ 211)を「4:3テレビ」にしてください。

音声出力を選択する

HDMI OUT端子、AV OUT端子、 Ω (ヘッドホン)端子から音声を出力できます。

動画形式 **AVCHD MP4** カメラモード **AUTO M CINEMA**

映像と音声のタイミングを選ぶ (モニターディレイ)

CAMERA MEDIA

AV OUT端子、 Ω (ヘッドホン)端子から出力される音声について、映像とタイミングを合わせて遅延させるかどうかを設定することができます。

FUNC.

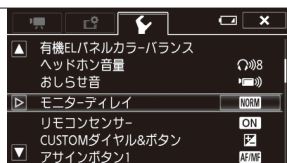
1 タッチする

MENU



2 モニターディレイを選ぶ

- ① **MENU** (メニュー) → をタッチする。
- ② 「モニターディレイ」をタッチする。
- ③ いずれかを選ぶ。



- | | |
|---------------------|----------------------------------|
| LINE (ライン出力) | 映像とタイミングを合わせるために、音声信号を遅延させて出力する。 |
| NORM (ノーマル) | リアルタイム (ディレイなし) で音声を出力する。 |

×

3 タッチする

接
続



静止画

写真を見る 146

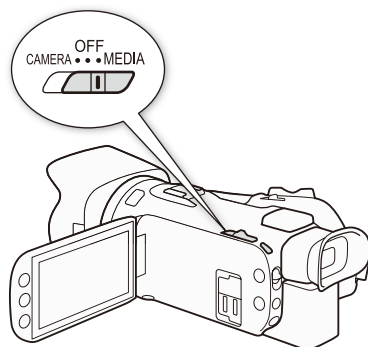
写真を消す 149

写真を見る

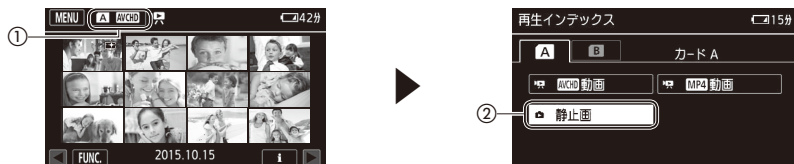
CAMERA MEDIA

1 POWER(電源)スイッチを「MEDIA」にする

- インデックス画面が表示される。



2 静止画の再生画面を表示する

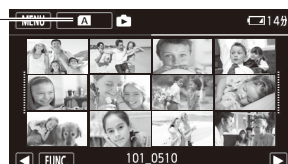


3 見たい静止画を探す



カードを切り換えるとき

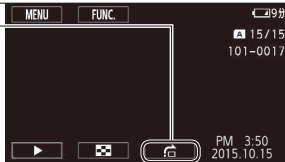

- ① タッチしてカードAとカードBを切り換える



4 静止画をタッチする


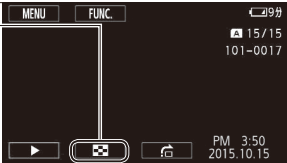
- 静止画が再生される（1枚表示画面）。
- 再生中、左右にドラッグで次または前の静止画に切り換わる。
- 別売のGP-E2を使って撮影した場合はGPS情報も表示される。


再生中に他の静止画にジャンプする（静止画ジャンプ）

	1	静止画再生中 画面をタッチする	
		● 操作ボタンが出る。	
⏮	2	タッチする	
	3	ジャンプバーのつまみを左右にドラッグする	
⏭	4	タッチする	

■ インデックス画面を出す

静止画再生中にインデックス画面に切り換える方法です。

1	静止画再生中 画面をタッチする ● 操作ボタンが出る。
 2	タッチする 

-  **ご注意**
- ACCESSランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
 - カードカバーを開けない。
 - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
 - カメラモードスイッチを切り換えない。
 - 次の静止画は正しく再生されないことがあります。
 - 本機以外の製品で記録したとき。
 - パソコンで作成や加工をしたとき。
 - パソコンでファイル名を変更したとき。

写真を消す

CAMERA MEDIA

静止画消去

不要な静止画は消去できます。再生中の静止画を消す方法と、選んだ静止画やすべての静止画をまとめて消す方法とがあります。

再生中の静止画を消す

	1 静止画再生中 画面をタッチする ● 操作ボタンが出る。	
FUNC. 🗑	2 消去を選ぶ ① FUNC. → 「消去」をタッチする。 ● 消去画面が出る。 ● 左右にドラッグで別の静止画を選ぶこともできる。 ② 「🗑 実行」 → 「はい」をタッチする。	
×	3 タッチする	

ある日の静止画、選んだ静止画、すべての静止画をまとめて消す

	1 消去する静止画を含む静止画インデックス画面に切り換える (📖 146)	
FUNC.	2 消去を選ぶ FUNC. → 「消去」をタッチする。	
	3 いずれかの消去方法をタッチする 特定の日に撮ったすべての静止画を消すとき (操作5へ) 静止画を選んで消すとき すべての静止画を消すとき	

4 静止画を選んで消すとき 静止画を選ぶ

- ① 消す静止画をタッチする。
 - 静止画が選択され✓が付く。
 - もう一度タッチすると選択が解除される。
- ② ①の操作を繰り返して、消す静止画をすべて選ぶ。

選択をすべて解除するとき

「全解除」→「はい」をタッチする。



実行

5 静止画を消す

- ① 静止画を選んで消すとき 実行 をタッチする。
- ② 「はい」をタッチする。

中止するとき

「中止」をタッチする。一部の静止画は消去される。

- ③ 「OK」をタッチする。



ご注意

一度消した静止画は元に戻せません。消す前に静止画を確認してください。

- 他機でプロテクトされている静止画は消せません。

撮影データの保存／共有

シーンをパソコンに保存する 152

静止画をパソコンに保存する 154

ビデオ／写真をカードにコピーする ... 156

MP4形式の動画に変換する 160

BDレコーダーなどに
ダビングする 163

シーンをパソコンに保存する

CAMERA MEDIA

ソフトウェアData Import Utilityの概要は次のとおりです。Data Import Utilityは、株式会社ピクセラのウェブサイトからダウンロードしてインストールします。ソフトウェアの動作環境および最新の情報については、株式会社ピクセラのウェブサイトをご覧ください。

http://www.pixela.co.jp/oem/canon/j/index_c.html

Data Import Utilityの使いかたの詳細については、Data Import Utilityの取扱説明書（PDFファイル）をご覧ください。

ソフトウェアData Import Utilityを使ってできること

- シーンをパソコンに取り込む。
- リレー記録（□ 55）を使用して分割されたシーンを1つのファイルに結合してパソコンに取り込む。
- 4GBごとに分割されたAVCHD形式やMP4形式のシーンを1つのファイルに結合してパソコンに取り込む。

インストールする前に

ソフトウェアをインストールする前に、株式会社ピクセラのウェブサイトで、動作環境などの詳細をご確認ください。

インストールする

1 パソコン Data Import Utilityをダウンロードする

Data Import Utilityの圧縮ファイルを株式会社ピクセラのウェブサイトからダウンロードする。

http://pixela.jp/jdiu23_dl

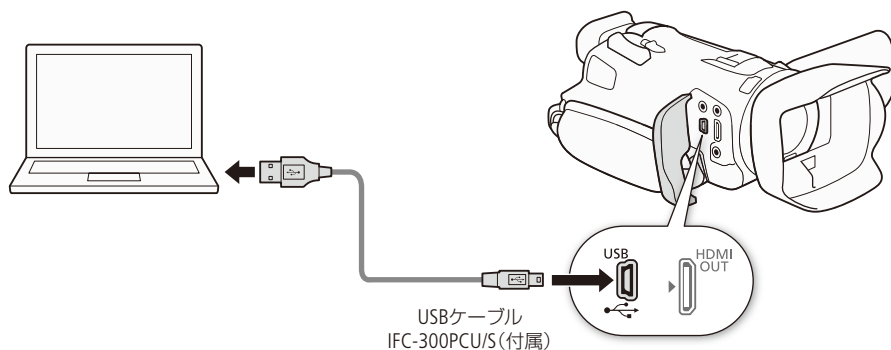
2 パソコン 株式会社ピクセラのウェブサイトに記載のインストール方法に従って、Data Import Utilityをインストールする



ご注意

ソフトウェア Data Import Utilityで、カードリーダー／パソコンのカードスロットを使用してシーンをパソコンに取り込む前に、他社製の編集用ソフトウェアなどでカード内のファイルを参照したり操作したりしないでください。Data Import Utilityでシーンをパソコンに取り込めないことがあります。

シーンの取り込みについて



1 **本機** コンパクトパワーアダプター (ACアダプター)をつなぐ



2 **本機** MEDIAモードにする

3 **本機** 動画のインデックス画面を表示する (131)



4 **本機とパソコン**を付属のUSBケーブルでつなぐ

「接続するメモリーを選択してください」が出たとき

「すべて (パソコン)」をタッチする。

- 左のアイコンをダブルクリックすると、パソコンの画面にData Import Utilityの起動画面が出る。

5 **パソコン** Data Import Utilityを操作してパソコンに取り込む

画面の案内に従って操作する。

参考 ▶▶ Data Import Utilityの取扱説明書 (PDFファイル)

静止画をパソコンに保存する

CAMERA MEDIA

撮影した静止画をパソコンに取り組む場合、CameraWindowを使用します。

動作環境はキヤノンのウェブサイトをご覧ください。

準備する

ソフトウェアCameraWindowをインストール*してください。すでにインストールされているときでも再度インストールしてください。カメラに最適な更新や新しい機能をオートアップデート機能により追加できることがあります。

* インターネットに接続されているパソコン (WindowsまたはMac OS) にインストールできます。

1 パソコン ソフトウェアをダウンロードする

- ① 下記のウェブサイトから「DIGITAL VIDEO CAMERA Software」をダウンロードする。
www.canon.com/icpd
「Japan」を選んだ後、ダウンロードページへ進んでください。

2 パソコン ソフトウェアをインストールする

- ① 画面の案内に従って操作する。
 - Windowsの場合、ユーザーアカウント制御の画面が出たときは、メッセージの案内に従って操作する。
 - 最後のStep(完了)が表示されたら、インストール終了。
- ② 「完了」をクリックする。

パソコンに保存する

1 本機 コンパクトパワーアダプター (ACアダプター)をつなぐ

2 本機 MEDIAモードにして、静止画のインデックス画面を表示する (146)



3 本機とパソコンを付属のUSBケーブルでつなぐ

Windowsの場合

パソコンの画面に表示される「自動再生」ダイアログで、「画像をキャノンカメラからダウンロードします」をクリックする。

- CameraWindowのメニュー画面が出る。

Mac OSの場合

- 自動的にCameraWindowが起動して、メニュー画面が出る。
- 選択画面が出たら、ビデオカメラの型名を選ぶ→「OK」をクリックする。

4 パソコン 静止画を保存する

① 「カメラ内の画像の取り込み」→「未転送画像を取り込む」を選ぶ。

- パソコンに保存していない撮影データの転送が始まり、終了すると完了画面が出る。

中止するとき 「キャンセル」をクリックする。

② 「OK」をクリック→CameraWindowを終了する。



● パソコンに接続しているときは次のことを必ず守ってください。

- カードカバーを開けない。
- カードを抜き差ししない。
- パソコンから本機のメモリー内のフォルダーやファイルを直接操作しない。記録したデータが破損するおそれがあります。
- Windowsのスリープ/休止状態や、Mac OSのスリープ機能を使用しない。

- 大切な元のデータを消さないために、画像は必ずパソコンにコピーし、コピーした画像をパソコンで使用してください。



MEMO CameraWindowをアンインストールするには

Windows : 「コントロールパネル」▶「プログラムと機能」▶「Canon Utilities CameraWindow DC 8」
▶「アンインストールと変更」をクリック ▶「OK」をクリック。

Mac OS : 「アプリケーション」▶「Canon Utilities」▶「CameraWindow」をゴミ箱にドラッグ＆ドロップ。

- パソコンによっては正しく動作しないことがあります。
- CameraWindowのバッテリー残量*は、実際の残量にかかわらず常に「充分」と表示されます。

* コンパクトパワーアダプターを使用しないときに表示される。

ビデオ／写真をカードにコピーする

CAMERA MEDIA

コピー

カードに記録された動画や静止画を、もう一方のカードへコピーできます。選んだシーンや静止画、すべてのシーンや静止画をまとめてコピーします。AVCHD形式の動画は特定の日に撮影したシーンをすべて、MP4形式の動画や静止画は日付ごとに作成されたフォルダーごとコピーできます。

■ 動画をコピーする



1 カードスロットにコピー先となるカードを入れる

2 コピー元となるカードのインデックス画面を出す (131)

特定の日に撮ったシーンをコピーするとき
左右にドラッグして、コピーするシーンの日付を画面に出す。

FUNC.

3 コピーを選ぶ

A → B

FUNC. → 「コピー [A → B]」または「コピー [B → A]」をタッチする。

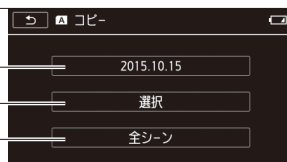
B → A

4 いずれかのコピー方法をタッチする

特定の日に撮った全シーンをコピーするとき*

シーンを選んでコピーするとき

すべてのシーンをコピーするとき



* MP4形式の動画では「100_0101」のように日付ごとに作成されたフォルダー名が表示される。

5 シーンを選んでコピーするとき シーンを選ぶ

① コピーするシーンをすべてタッチする。

- シーンが選択され、✓が付く。
- もう一度タッチすると選択が解除される。

選択をすべて解除するとき

「全解除」→ 「はい」をタッチする。

② 実行 をタッチする。



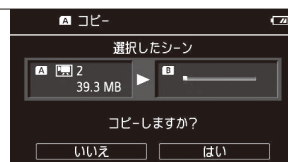
6 カードにコピーする

- ① 「はい」をタッチする。

中止するとき

「中止」をタッチする。

- ② 「OK」をタッチする。



■ 静止画をコピーする

再生中の静止画をコピーする



1 カードスロットにコピー先となるカードを入れる

2 静止画を1枚表示する

- カードAまたはカードBに保存されている静止画を選ぶ。

3 画面をタッチする

- 操作ボタンが出る。

FUNC.

4 コピーする

- ① FUNC. → 「コピー」[A → B] または 「コピー」[B → A] をタッチする。
 - コピー画面が出る。
 - 左右にドラッグして別の静止画を選ぶこともできる。
- ② 「実行」 → 「はい」をタッチする。



×

5 タッチする

静止画を選んでまとめてコピーする



1 カードスロットにコピー先となるカードを入れる

2 コピー元となるカードAまたはカードBの静止画インデックス画面を出す
(146)

FUNC.

3 コピーを選ぶ

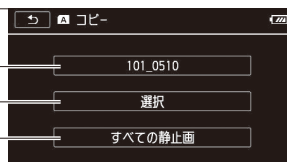
FUNC. → 「コピー」 [**A** ➡ **B**] または 「コピー」 [**B** ➡ **A**] をタッチする。

4 いずれかのコピー方法をタッチする

特定の日に撮った全静止画をコピーするとき

静止画を選んでコピーするとき

すべての静止画をコピーするとき



実行

5 静止画を選んでコピーするとき 静止画を選ぶ

① コピーする静止画をすべてタッチする。

- 静止画が選択され、✓が付く。
- もう一度タッチすると選択が解除される。

選択をすべて解除するとき

「全解除」→「はい」をタッチする。

② **実行** をタッチする。



6 カードにコピーする

① 「はい」をタッチする。

中止するとき

「中止」をタッチする。

② 「OK」をタッチする。





● ご注意

- ACCESSランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
 - カードカバーを開けない。
 - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
 - カメラモードスイッチを切り換えない。



MEMO

コピーできない場合

- カードカバーが開いていたり、カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているとき。
- カード内のフォルダー数とファイル数が最大になり、新しくファイル番号が作成できないとき(□ 213)。
- 静止画の場合、カードの空き容量が足りなくなると、コピーを中止します。

MP4形式の動画に変換する

CAMERA MEDIA

カードに記録したAVCHD形式やMP4形式の動画を、より容量の少ないMP4形式の動画に変換して、もう一方のカードにコピーします。インターネットにアップロードするときなどに便利です。変換するときに、シネマルックフィルター*を使うこともできます。

* 撮影時にシネマルックフィルターを使用した動画とMP4変換時にシネマルックフィルターを使用した動画では、効果が異なることがあります。

動画形式 AVCHD MP4

1 動画インデックス画面を表示する (📖 130)

FUNC.

2 MP4変換を選ぶ

- ① FUNC. → 「MP4変換[A → B]」または「MP4変換[B → A]」をタッチする。
- ② OK をタッチする。

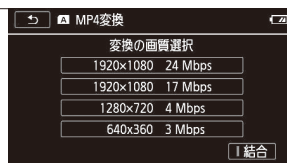


3 変換後の画質を選ぶ

いずれかを選ぶ。

複数のシーンを結合するとき

「結合」をタッチする。



4 シーンを選ぶ

- ① 変換するシーンをすべてタッチする。
 - シーンが選択され、✓が付く。
 - もう一度タッチすると選択が解除される。

選択をすべて解除するとき

「全解除」→「はい」をタッチする。

- ② 実行 をタッチする。
- ③ 「次へ」をタッチする。

FILTER 1

5 好みに合わせて変更する

シネマリックフィルターを選ぶとき

- ① FILTER 1 をタッチする。
- ② いずれかを中央に表示して OK をタッチする。
 - 解除するときは「FILTER1 ～ 7」をタッチする。



6 変換する

- ① 「START」をタッチする。
 - MP4形式の動画に変換される。

中止するとき

「STOP」をタッチする。

- ② OK をタッチする。



MEMO

- 以下のように変換してコピーします。

録画モード (フレームレート)		MP4 変換				
		35 Mbps	24 Mbps	17 Mbps	4 Mbps	3 Mbps
AVCHD	28 Mbps LPCM (59.94P)、 28 Mbps (59.94P)	—				
	24 Mbps LPCM、 24 Mbps (59.94i / PF29.97 / 23.98P)	—	● (29.97P / 23.98P)			
	17 Mbps (59.94i / PF29.97 / 23.98P)	—	● (29.97P / 23.98P)			
	5 Mbps (59.94i / PF29.97 / 23.98P)	—	● (29.97P / 23.98P)			
MP4	35 Mbps (59.94P)	—				
	24 Mbps (29.97P / 23.98P)	—	● (29.97P / 23.98P)			
	17 Mbps (29.97P / 23.98P)	—	● (29.97P / 23.98P)			
	8 Mbps (59.94P)	—				
	4 Mbps (29.97P / 23.98P)	—			● (29.97P / 23.98P)	
	3 Mbps (29.97P / 23.98P)	—				● (29.97P / 23.98P)

- 以下のシーンは、結合してMP4変換できません。
AVCHD : 「59.94i」と「23.98P」、「PF29.97」と「23.98P」
MP4 : 「29.97P」と「23.98P」
- MP4変換中はすべての外部出力(□ 140)を停止します

BDレコーダーなどにダビングする




CAMERA MEDIA

撮影した映像をBD（ブルーレイディスク）レコーダーやDVDレコーダーなどにダビングすることができます。

動画形式 AVCHD MP4

■ ハイビジョン画質のままダビングする

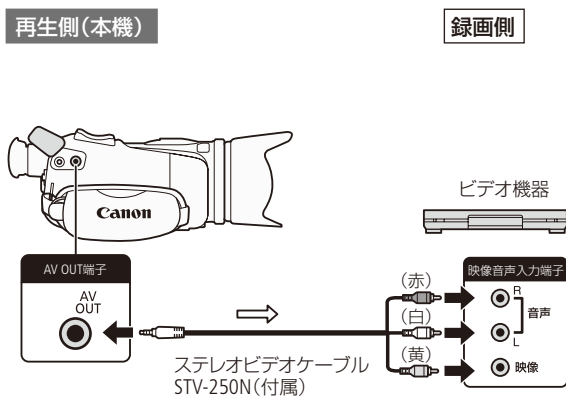
USBケーブル（付属）でAVCHD規格対応のレコーダーなどと接続すれば、ハイビジョン画質のままダビングできます。また、レコーダーがお使いのカードに対応している場合は、カードからダビング可能です。なお、本機との動作確認については、お使いのレコーダーの説明書などでご確認ください。

	1	本機	コンパクトパワーアダプター（ACアダプター）をつなぐ
	2	本機	MEDIAモードにする
	3	本機	AVCHD形式の動画のインデックス画面を表示する（  131）
	4	本機とレコーダーをつなぐ	<div>「接続するメモリーを選択してください」が出たとき</div> <div>「カードA」、「カードB」のいずれかをタッチする。</div> <div>● ダビングする動画が記録されているカードを選ぶ。</div>
	5	レコーダー	ダビングする
		参考 ▶▶	お使いのレコーダーの説明書


■ 標準画質に変換してダビングする

本機で撮った動画を映像／音声端子付きのDVDレコーダーなどにダビングできます。画質は標準画質に変換されます。

接続する



ダビングする

- 1 **本機** コンパクトパワーアダプター (ACアダプター)をつなぐ
- 2 **本機** AVCHD形式の動画のインデックス画面を表示する (131)
- 3 **レコーダー** 録画一時停止状態にする
- 4 **本機** シーンをタッチして再生する
 - メニューの「データコード表示」で、画面の日時表示を変更することができる (211)。
- 5 **レコーダー** 録画を始める場面で、録画操作をする
- 6 **レコーダー** 録画を終える
- 7 **本機** 再生を終える
画面上をタッチ→をタッチする。

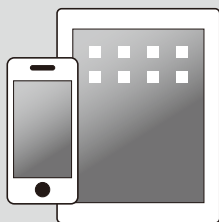
Wi-Fi(無線接続)

Wi-Fiでできること.....	168
スマートフォンをリモコン として使って操作する.....	172
Android / iOSのスマートフォン などのWebブラウザで見る.....	179
iOS機器からアップロードする	181
パソコンなどで見る	183
パソコンなどに転送する.....	185
Webサービスで共有する.....	188
アクセスポイントに Wi-Fi接続する	194
Wi-Fi設定を表示／変更する	199

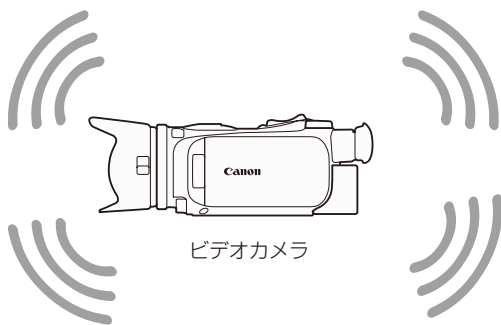
Wi-Fiでできること

Wi-Fi(ワイファイ)

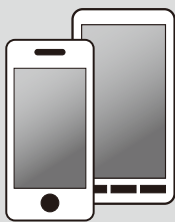
Wi-Fi機能でスマートフォンなどと接続すると、撮影データの保存・再生・アップロードなどをワイヤレスで行えます。また、スマートフォンやタブレットの画面で、離れた場所にあるビデオカメラをリモートコントロールできます。なお、この章で使われているWi-Fi関連の用語については、「用語の説明」(201)をご覧ください。



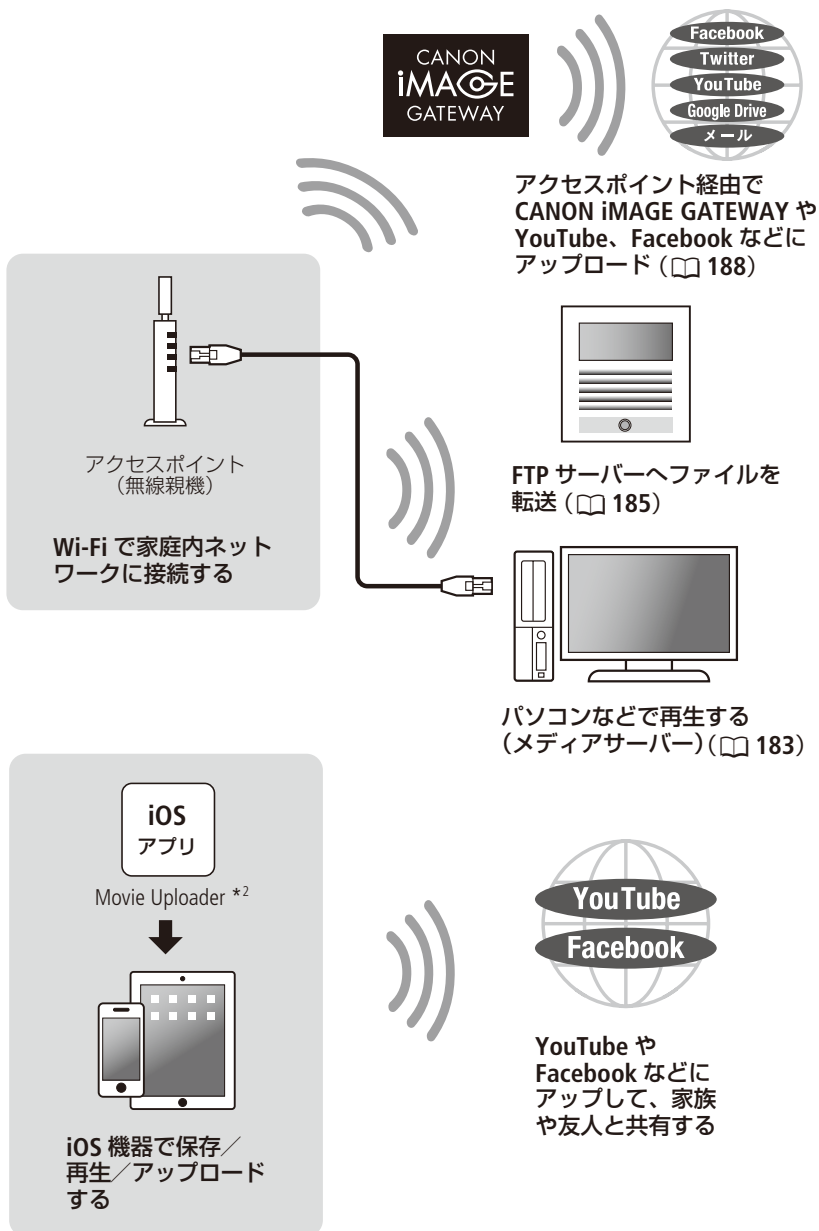
スマートフォンやタブレットを使ってビデオカメラをリモートコントロールする (172)



ビデオカメラ



撮影データをスマートフォンやパソコン^{*1}のWebブラウザで見る (179)



*1 アクセスポイント経由で接続したパソコンから見ることもできます (183)。

*2 株式会社ビクセラから、アップルのApp Storeを通じて提供されます (無料)。

■ Wi-Fi機能を使う前に

Wi-Fi接続には、スマートフォンなどのWi-Fi機器と直接接続する方法と、アクセスポイント（無線親機）*を使用して接続する方法の2つがあり、使用するWi-Fi機能によってどちらかに決まります。使いたい機能を選んで画面に従って操作して接続します。

* 無線LAN親機、無線LANルーターなど、メーカーによって名称が異なることがあります。



● ご注意

● セキュリティで保護されていない無線LANやネットワーク環境に接続することは避けてください。お客様の個人情報などのデータが第三者に漏洩する危険性があります。



MEMO

本機の無線LAN 規格について

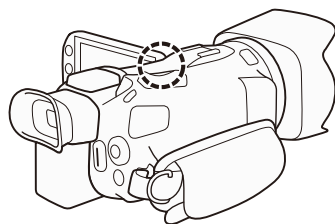
本機が対応する無線LAN規格は次のとおりです。

無線LAN規格、周波数： IEEE 802.11b/g/n 準拠、2.4 GHz
IEEE 802.11a/n 準拠、5 GHz

最大伝送速度（規格値）*： IEEE 802.11a 最大54Mbps
IEEE 802.11b 最大11Mbps
IEEE 802.11g 最大54Mbps
IEEE 802.11n 最大150Mbps

* 表示の値は理論上の最大値であり、実際の転送速度を示すものではありません。

- Wi-Fi接続するときや接続中は、内蔵ワイヤレスアンテナ付近を手などで覆わないでください。通信電波がさえぎられ、Wi-Fiの通信状態が悪くなります。
- ブラウザーリモート以外でのWi-Fi機能使用中は、カードカバーを開けないでください。
- Wi-Fi機能使用中は、メニューの「オートパワーオフ」は働きません。
- ワイヤレスマイクロホンWM-V1(別売)を取り付けているときは、Wi-Fi機能を使用することはできません。



ワイヤレスアンテナ (内蔵)

スマートフォンをリモコンとして使って操作する

CAMERA

MEDIA

ブラウザーリモート

スマートフォンやタブレットの画面で、離れた場所に設置したビデオカメラをリモートコントロールできます。動画撮影、撮影モード、露出補正、ホワイトバランス、絞り、ゲイン、シャッタースピード、フォーカス、ズームを操作できます。OS、Webブラウザー *などの詳細については、キヤノンのホームページなどをご覧ください。

* JavaScript(ジャバスクリプト)、Cookie(クッキー)が有効になっている必要があります。



動画形式 AVCHD MP4

カメラモード AUTO M CINEMA

■ カメラパスワードを設定する

スマートフォンやタブレットなどを使用したWi-Fi機能（ブラウザーリモート、ブラウザープレビュー、Movie Uploader）のときは、あらかじめ、カメラパスワードの設定が必要です。一度設定すると、以降、入力是不要*です。

* 「設定初期化」(P. 218)や「メニュー設定保存」(P. 128)で「読み込み」を行った場合はパスワードの再設定が必要です。

FUNC.

1 本機 タッチする

MENU

2 本機 パスワードを設定する

- ① **MENU** (メニュー) → **Wi-Fi** (ブラウザープレビュー、メディアサーバーのときは **Wi-Fi**) → **Wi-Fi** → **スマートフォン接続設定** をタッチする。
- ② カメラパスワードをタッチする。
- ③ 任意の8桁の数字を入力 → **OK** をタッチする。
参考 ▶ 「文字入力のしかた」(P. 187)
- ④ **戻る** をタッチ → **キャンセル** をタッチする。



MEMO

カメラパスワードを設定後は、画面でカメラパスワードを表示して確認することはできません。メモに控えるなど忘れないようにご自身で管理ください。カメラパスワードを変更するときは操作1から操作します。

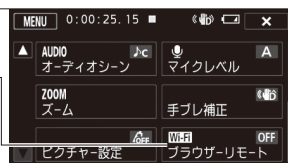
■ ブラウザーリモートを使用する

FUNC. 1 本機 タッチする

2 本機 ブラウザーリモートを選ぶ

「ブラウザーリモート」→「ON」をタッチする。

- 画面に「カメラSSID」(Wi-Fiネットワーク名)とWebブラウザに入力するURLが表示され、スマートフォンからの接続待ち状態になる。



3 スマートフォンなど Wi-Fiで本機に接続する

- ① 設定画面でWi-Fiを有効にする。
 - 見つかったWi-Fiネットワークが一覧表示される。
- ② 操作2で本機の画面に表示されたSSIDと同じWi-Fiネットワーク名をタッチする。
- ③ 「カメラパスワードを設定する」で設定した8桁のパスワードを入力して接続する。
 - カメラパスワードを変更しない限り、2回目からは、③の操作なしで自動的に接続される。



4 スマートフォンなど Webブラウザを起動して本機に接続する

- ① 本機の画面に表示されているURLをWebブラウザに入力する。
 - ブラウザーリモートの画面が出る。
 - ポートを変更しない限り、URLは固定のため、Webブラウザでブックマークしておけば、2回目からは入力不要。
- ② 本機の **×** をタッチして画面を閉じる。
 - 接続が完了すると、画面に **Wi-Fi** (白色) が出る。スマートフォンやタブレットが本機に未接続のときはアイコンが黄色になる。

5 スマートフォンなど 操作する

- スマートフォンなどの画面で映像を確認しながら、画面上で操作する。

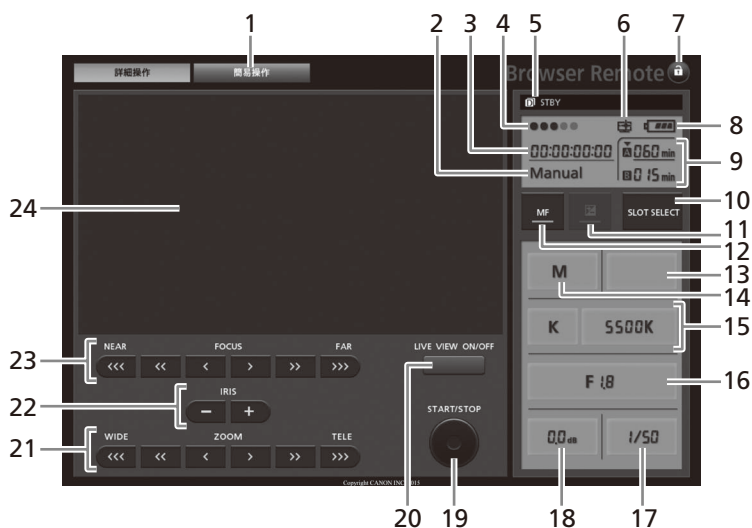
6 本機 「ブラウザーリモート」→「OFF」をタッチする

- ブラウザーリモートが終了する。

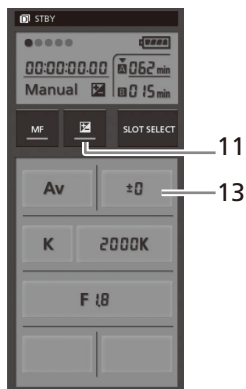
■ ブラウザーリモート中の画面表示

ブラウザーリモート画面には、画面が大きい機器向けの「詳細操作」と、画面が小さい機器向けの「簡易操作」画面とがあります。設定できるモードや値などは各機能のページも合わせてご覧ください。

例：撮影モード「マニュアル露出」時



例：撮影モード「AV」時



- 1 画面切り換えタブ
「詳細操作」、「簡易操作」の各画面を切り換える。
- 2 カメラモード▶▶ 15、31
- 3 タイムコード▶▶ 93
- 4 ブラウザーリモート接続状態表示
- 5 撮影状況
- 6 高輝度優先▶▶ 91
- 7 鍵(キーロック)ボタン
押すとアイコンがオレンジに変わり、画面がロックされ、誤操作を防止できる。ロック中は画面全体が灰色で表示されます。
- 8 バッテリーの残量の目安▶▶ 221
- 9 カード状態／撮影可能時間(分)▶▶ 222
選択しているカードアイコンの上に▼が表示されます。
- 10 SLOT SELECT(スロット選択)ボタン
- 11 露出切り換え▶▶ 83
- 12 AF/MF切り換え▶▶ 61
- 13 露出調整値▶▶ 83
- 14 撮影モード▶▶ 80、89
- 15 ホワイトバランス▶▶ 87
- 16 F値▶▶ 80
- 17 シャッタースピード▶▶ 80
- 18 ゲイン▶▶ 79
- 19 START / STOP(スタート／ストップ)ボタン
- 20 LIVE VIEW(ライブビュー) ON / OFFボタン
- 21 ZOOM(ズーム調整)ボタン▶▶ 69
- 22 IRIS(絞り調整)ボタン▶▶ 80
- 23 FOCUS(フォーカス調整)ボタン▶▶ 61
- 24 ライブビュー映像表示エリア

簡易操作画面を使う

画面の小さな機器で操作するときは簡易操作画面を使用します。簡易操作画面では、ズーム、START/STOP(スタート／ストップ)、LIVE VIEW(ライブビュー)のON/OFF、鍵(キーロック)のみ行うことができます。



■ ブラウザーリモート画面での操作

撮影する

- ① LIVE VIEW(ライブビュー) ON/OFFボタンをタッチする。
 - ライブビュー映像が表示される。
- ② START/STOP(スタートストップ)ボタンをタッチする。
 - 撮影が開始され、撮影状態表示が「●REC」に変わり、START/STOP(スタートストップ)ボタン中央の●が赤色に変わる。
 - 撮影中はタイムコードが進捗する。
- ③ 再度START/STOP(スタートストップ)ボタンをタッチして撮影を終える。
 - 撮影状態表示が「STBY」に変わる。



撮影モード

- ① 撮影モードボタンをタッチする。
 - 撮影モードが表示される。
- ② いずれかのモードを選ぶ。



露出補正

- ① ☒ をタッチする。
- ② 露出調整値ボタンをタッチする。
 - 露出調整設定画面が表示される。
- ③ いずれかの値を選ぶ。



ホワイトバランス


ホワイトバランス設定をタッチする。

■ Kを選んだとき

- ① 色温度の値をタッチする。
 - 色温度が表示される。
- ② いずれかの値を選ぶ。

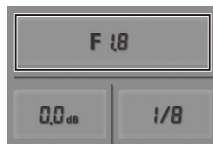


■ 1または2を選んだとき

- ① 白い紙や布などを画面いっぱいにし、 をタッチする。
 - 1または2が、早い点滅から点灯に変わったら調整終了。

F値

- ① F値設定をタッチする。
 - 選択可能なF値が表示される。
- ② いずれかの値を選ぶ。



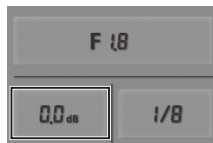
IRISボタンで調整するとき

- －ボタン：絞りを約1/4段刻みで絞る。
 ＋ボタン：絞りを約1/4段刻みで開く。



ゲイン

- ① ゲイン設定をタッチする。
 - 選択可能なゲインの値が表示される。
- ② いずれかの値を選ぶ。



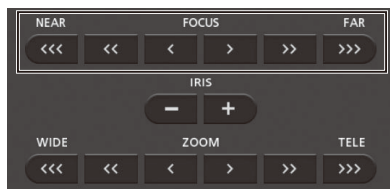
シャッタースピード

- ① シャッタースピード設定をタッチする。
 - 選択可能なシャッタースピードが表示される。
- ② いずれかの値を選ぶ。



フォーカス

- ① **MF**をタッチする。
- ② フォーカス操作ボタンを押す。
 - NEARのボタン (<<<、<<、<)をタッチすると至近方向に、FARのボタン (>、>>、>>>)をタッチすると無限方向に調整します。
 - 調整量はボタンによって異なり、< / > は小、<< / >>> は中、<<< / >>>> は大となる。



ズーム

- ZOOM(ズーム調整)ボタンをタッチする。
- WIDEのボタン (<<<、<<、<)をタッチすると広角に、TELEのボタン (>、>>、>>>)をタッチすると望遠に調整します。
 - 調整量はボタンによって異なり、< / > は小、<< / >>> は中、<<< / >>>> は大となる。



MEMO

- ネットワーク環境や通信状態によっては、ライブビューの表示や各種設定などに遅延が発生することがあります。
- カラーバー表示中は、ライブビュー表示の更新が停止します。
- ブラウザーリモート使用中はメニューの「エリア/サマータイム」、「日付/時刻」、「GPS自動時刻設定」は使用できません。「GPS自動時刻設定」は、「自動更新」に設定していてもブラウザーリモート使用中は強制的に「切」となります。なお、ブラウザーリモートを終了すると元の設定に戻ります。
- 本機と同時に接続できる機器は1台のみです。

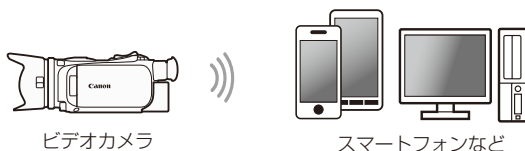
Android / iOSのスマートフォンなどの Webブラウザーで見る

CAMERA MEDIA

ブラウザーレビュー

本機に記録した動画や静止画を、スマートフォン、タブレットやパソコンなどのWebブラウザーで一覧表示したり、再生やダウンロードしたりすることができます*。アクセスポイントが不要なので、外出先でも使用できます。

* お使いの機器、OS、ブラウザーや動画形式、録画モードによっては、再生やダウンロードができないことがあります。動作を確認したOS、ブラウザーなどの詳細情報については、キヤノンのホームページなどをご覧ください。



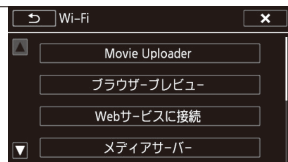
動画形式 AVCHD MP4

1 本機 動画のインデックス画面を出す

2 本機 ブラウザーレビューを選ぶ

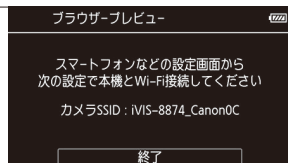
[MENU] (メニュー) → → 「Wi-Fi」 → 「ブラウザーレビュー」をタッチする。

- 画面に「カメラSSID」(Wi-Fiネットワーク名)が表示され、スマートフォンからの接続待ち状態になる。
- カメラパスワードが未設定のときやカメラパスワードを変更するときは「カメラパスワードを設定する」(172)の操作2から操作する。



3 スマートフォンなど Wi-Fiで本機に接続する

- ① 設定画面でWi-Fiを有効にする。
 - 見つかったWi-Fiネットワークが一覧表示される。
- ② 本機の画面に表示されているSSIDと同じWi-Fiネットワーク名をタッチする。
- ③ 「カメラパスワードを設定する」で設定した8桁のパスワードを入力して接続する。
 - 本機の画面に「動作中」が出たら、接続完了。
 - カメラパスワードを変更しない限り、2回目からは、③の操作なしで自動的に接続される。

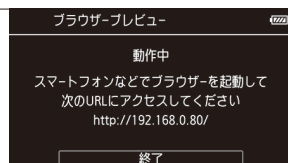


Wi-Fi

4 スマートフォンなど Webブラウザを起動して本機に接続する


本機の画面に表示されているURLをWebブラウザに入力する。

- ブラウザープレビューの画面が出る。
- ポートを変更しない限り、URLは固定のため、Webブラウザでブックマークしておけば、2回目からは入力不要。






A AVCHD

5 スマートフォンなど 動画または静止画を選んで再生する

- ① 左上の **A AVCHD** をタッチ→SDカードと形式をタッチ。
- ② 一覧から再生する画像をタッチ→画像をタッチする。
 - 選択した動画または静止画が再生される。
- ③  をタッチすると、一覧画面に戻る。

動画または静止画をスマートフォンに保存するとき

- ②で  をタッチする (iOS機器では  は表示されません。iOS機器での保存は「Movie Uploader」( 181)をご利用ください。

6 本機 「終了」をタッチする。

- ブラウザープレビューが終了する。



MEMO

- 以下のMP4形式のシーンは、スマートフォンなどでは複数のファイルとして認識されます。
 - データ容量が4GBを超えるもの。
 - 録画時間が1時間以上のもの。ただし、録画モードが「35 Mbps」または「8 Mbps」の場合は、30分以上のもの。
- 本機と同時に接続できる機器は1台のみです。

iOS機器からアップロードする

CAMERA MEDIA

Movie Uploader (iOSアプリ)

iPhoneやiPadなどのiOS機器にiOSアプリMovie Uploader*1をインストールすれば、外出先でもYouTubeやFacebookに動画や静止画をアップロードすることができます。また、MP4形式の動画や静止画は、iOS機器に保存*2したり再生したりすることもできます。

*1 株式会社ピクセラから、アップル社のApp Storeを通じて提供されます（無料）。

*2 35MbpsのMP4形式の動画は、お使いの機器によっては保存できません。



動画形式 AVCHD MP4

1 iOS機器 App StoreからiOSアプリMovie Uploaderをインストールする

App Store:

<http://appstore.com/movieuploader>

- 2回目からは、この操作は不要。

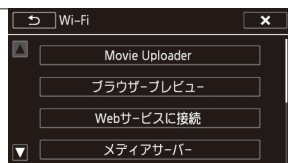


2 本機 動画のインデックス画面を出す (131)

3 本機 Movie Uploaderを選ぶ

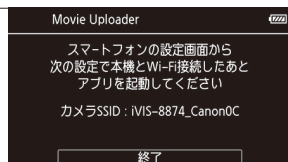
[MENU] (メニュー) → [Wi-Fi] → [Movie Uploader] をタッチする。

- 画面に「カメラSSID」(Wi-Fiネットワーク名)が表示され、iOS機器からの接続待ち状態になる。
- カメラパスワードが未設定のときやカメラパスワードを変更するときは「カメラパスワードを設定する」(172)の操作2から操作する。



4 iOS機器 Wi-Fiで本機に接続する

- ① 「設定」アプリの「Wi-Fi」をタッチし、「Wi-Fi」を「オン」にする。
 - 見つかったWi-Fiネットワークが一覧表示される。
- ② 本機の画面に表示されているSSIDと同じWi-Fiネットワーク名をタッチする。
- ③ 「カメラパスワードを設定する」で設定した8桁のパスワードを入力して接続する。
 - 本機の画面に「動作中」が出たら、接続完了。
 - カメラパスワードを変更しない限り、2回目からは、③の操作なしで自動的に接続される。



Wi-Fi

5 iOS機器 動画をアップロードする

- ① 操作1でインストールしたアプリMovie Uploaderを起動する。
- ② Movie Uploaderを操作して、動画をアップロードする。

6 本機 「終了」をタッチする。

- Wi-Fi接続が終了し、インデックス画面に戻る。



MEMO

- 通信状態によっては、アップロードの時間が長くなることがあります。
- お使いの機器のiOSバージョンによっては、Wi-Fi接続の操作が異なることがあります。
- iOSアプリの詳細については、株式会社ピクセラのウェブサイトをご覧ください。
<http://www.pixela.co.jp/oem/canon/j/movieuploader/>
- 以下のMP4形式のシーンは、スマートフォンなどでは複数のファイルとして認識されます。
 - データ容量が4GBを超えるもの。
 - 録画時間が1時間以上のも。ただし、録画モードが「35 Mbps」または「8 Mbps」の場合は、30分以上のもの。

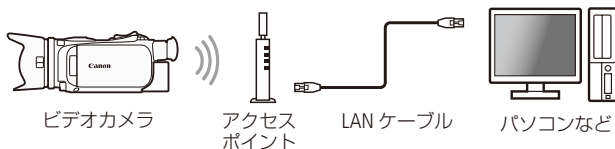


パソコンなどで見る

CAMERA MEDIA

メディアサーバー

本機のメディアサーバー機能を使うと、本機に記録した動画や静止画を、パソコンなどで再生できます。この機能を使用するには、家庭内ネットワークに接続されたアクセスポイント（無線親機）と、メディアサーバーの動画／静止画を再生できるソフトウェアが必要です。また、パソコンなどとアクセスポイントは、LANケーブルを使用して有線で接続することをおすすめします。アクセスポイントやパソコンなどについては、それぞれの説明書をご覧ください。

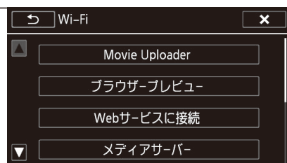


動画形式 AVCHD MP4

1 本機 動画のインデックス画面を出す

2 本機 メディアサーバーを選ぶ

[MENU] (メニュー) → → 「Wi-Fi」 → 「メディアサーバー」をタッチする。



OK

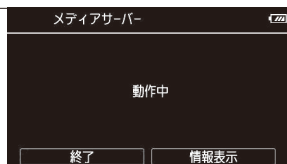
3 本機 無線親機 (アクセスポイント) に接続する

- 「アクセスポイントにWi-Fi接続する」(□ 194)であらかじめ選択しているアクセスポイントに接続する。
- アクセスポイントが未登録のときは、「アクセスポイントを登録します」が出る。

① をタッチする。

② 「アクセスポイントにWi-Fi接続する」(□ 194)の手順に沿って、アクセスポイントに接続する。

- 画面に「動作中」が出たら、接続完了。



4 パソコンなど 本機の動画や静止画を再生する

- ① サーバーの一覧から本機の「Canon iVIS HF G40」を選ぶ。
- ② 表示されるフォルダー内の動画または静止画を選んで再生する。

参考 ▶ お使いのソフトウェアの説明書

Wi-Fi

5 本機 「終了」をタッチする。

- メディアサーバーを終了する。



MEMO

- アクセスポイントの性能や設定、通信状態によっては、再生までに時間がかかることや、スムーズに動画が再生されないことがあります。詳しくは、「故障かな？」の「動画がパソコンなどからスムーズに再生されない」(□ 231)をご覧ください。
- 操作3で出る「動作中」の画面で「情報表示」をタッチすると、アクセスポイントのSSID、接続規格、本機のIPアドレス、本機のMACアドレスを確認できます。接続先を変更するときは「接続先変更」をタッチしてください。本機に記憶されているSSIDから、どれを使うかを変更できます。
- 以下のMP4形式のシーンは、パソコンなどでは複数のファイルとして認識されます。
 - データ容量が4GBを超えるもの。
 - 録画時間が1時間以上のも。ただし、録画モードが「35 Mbps」または「8 Mbps」の場合は、30分以上のもの。

パソコンなどに転送する

CAMERA MEDIA

FTP転送

本機のFTP転送機能を使うと、本機に記録した動画や静止画を、FTPサーバーにワイヤレスで転送できます。この機能を使用するためには、家庭内ネットワークに接続されたアクセスポイント（無線親機）と、FTPサーバーの接続情報（FTPサーバーのIPアドレス、ポート、ユーザー名、パスワード、転送先にするフォルダーの場所（パス））の入力が必要です。あらかじめご確認ください。

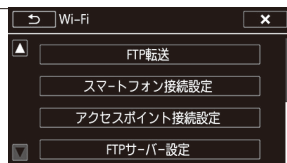


動画形式 AVCHD MP4

1 動画のインデックス画面を出す

2 FTP転送を選ぶ

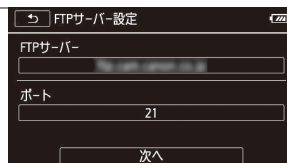
[MENU] (メニュー) → [Wi-Fi] → 「FTP転送」
→ [OK] をタッチする。



3 FTPサーバーを設定する

- ① 「FTPサーバー」にFTPサーバーのIPアドレス、「ポート」を入力→「次へ」をタッチする。
- ② 「ユーザー名」、「パスワード」を入力→「次へ」をタッチする。
- ③ 「転送先フォルダー」に転送先フォルダー名を入力→「次へ」をタッチする。
 - お使いのFTPサーバーの設定により「ポート」、「転送先フォルダー」の入力内容は異なります。お使いのFTPサーバーの設定をご確認ください。

参考 ▶▶ 「文字入力のしかた」(P.187)



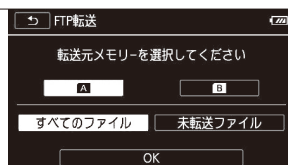
Wi-Fi

4 無線親機（アクセスポイント）に接続する

- 「アクセスポイントにWi-Fi接続する」(☞ 194)であらかじめ選択しているアクセスポイントに接続する。
 - アクセスポイントが未登録のときは、「アクセスポイントを登録します」が出る。
- ① **OK** をタッチする。
 - ② 「アクセスポイントにWi-Fi接続する」(☞ 194)の手順に沿ってアクセスポイントに接続する。

5 ファイルを転送する

- ① 転送元メモリーをタッチする。
 - 複数選択することもできる。
- ② 「すべてのファイル」または「未転送ファイル」
→ **OK** をタッチする。
 - ファイルの転送がはじまる。



ファイルの転送を中止するとき

- 「中止」をタッチする。
- 中止したところまで、ファイルは転送される。
- ③ **OK** をタッチする。
 - FTP転送を終了する。



● ご注意

- ファイル転送中は、次のことを守ってください。Wi-Fi通信が中断され、転送先に不要なファイルが残ることがあります。
 - カードカバーを開けない。
 - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
- ファイル転送が中断したときは、「未転送ファイル」を選び、あらためて転送の操作を行ってください。新しいファイルとして転送されます。
- 転送先に不要なファイルが残っている場合は、十分に内容を確認してから、削除してください。

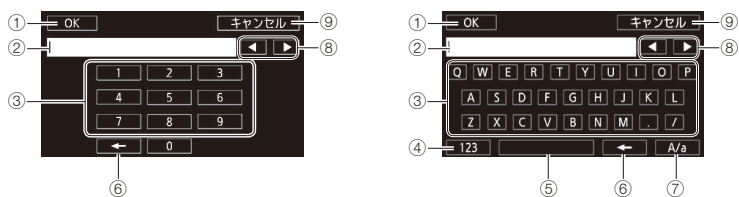


MEMO

アクセスポイントの性能や設定、通信状態によっては、ファイルの転送に時間がかかることがあります。

POINT 文字入力のしかた

手動で文字入力が必要なとき、キーボードが表示されます。キーボードを操作するときは、タッチパネルで操作してください。



①	OK	入力を決定したあと、キーボードを終了
②	—	入力エリア
③	—	文字入力キー
④	123 / ABC	アルファベット／数字の切替
⑤	—	スペースキー
⑥	←	バックスペースキー（カーソルの左の文字を削除）
⑦	A/a / #%? / *&+	アルファベット入力設定時：大文字／小文字の切替 数字入力設定時：記号入力
⑧	◀ ▶	カーソル移動キー
⑨	キャンセル	入力を中止

Webサービスで共有する

Webサービスに接続

CANON iMAGE GATEWAY (キャノンイメージゲートウェイ)*1に会員登録すると、オンラインアルバムに動画や静止画をアップロードして、Twitterに公開したり、FacebookやYouTubeにアップロードしたり、オンラインアルバムのリンクを家族や友人にメールで送ったりできます。なお、この機能を使用するには、インターネットに接続可能なアクセスポイントが必要です。



*1 オンラインアルバムやPHOTOPRESSO(フォトブックサービス)などを利用できます(無料)。

*2 本書では、CANON iMAGE GATEWAYと連携するインターネットのサービスを「Webサービス」と呼びます。

■ 準備する

1 ソフトウェアCameraWindowをパソコンにインストールする

- 154ページの操作1～2に従ってインストールする。

2 CANON iMAGE GATEWAYの会員登録(無料)をする

- Webブラウザーで次のURLにアクセスし、画面の指示にしたがって登録する。
www.canon.com/cig

3 使用するWebサービスのアカウント情報を確認する

- Facebook、YouTube、Google Drive™など、使用するWebサービス(□190)のユーザー名とパスワードを確認する。

■ 使用するWebサービスをビデオカメラに登録する

CAMERA MEDIA

ソフトウェアCameraWindowを使ってCANON iIMAGE GATEWAYにログインし、使用するWebサービスをビデオカメラに登録します。

動画形式 AVCHD MP4

1 本機 MEDIAモードで静止画のインデックス画面を表示する (146)


 付属のUSB
 ケーブル

2 本機とパソコンを付属のUSBケーブルでつなぐ

3 パソコン CameraWindowを起動する

Windowsの場合

パソコンの画面に表示される「自動再生」ダイアログで、「画像をキャノンカメラからダウンロードします」をクリックする。

- CameraWindowのメニュー画面が出る。

Mac OSの場合

- 自動的にCameraWindowが起動して、メニュー画面が出る。
- 選択画面が出たら、ビデオカメラの型名を選ぶ→「OK」をクリックする。

4 パソコン CANON iIMAGE GATEWAYにログインする

- ① 「カメラ設定」を選ぶ→「Webサービスを設定する」をクリックする。
- ② 画面の案内に従ってCANON iIMAGE GATEWAYにログインする。
 - ログインすると、カメラ設定の画面が出る。

5 パソコン Webサービスの設定を行う

- ① 「Webサービスの編集」をクリックする。
 - Webサービスの設定画面が出る。
- ② 使用するWebサービスの「設定」をクリックする。
- ③ 画面の指示に従って、選んだWebサービスのユーザー名やパスワードなどを入力して、「設定する」をクリックする。

メールの宛先を登録するとき

画面に従ってメールアドレスを設定する。


- ④ 「完了」をクリックする。
 - カメラ設定の画面に戻る。

利用できるWebサービス*

Webサービス	できること
CANON iIMAGE GATEWAY	オンラインアルバムに動画や静止画をアップロード。
Facebook	Facebookに動画や静止画を直接アップロード。
Twitter	CANON iIMAGE GATEWAYのオンラインアルバムのリンク(URL)をタイムラインに表示。
YouTube	YouTubeに動画を直接アップロード。
Google Drive	Google Driveに動画や静止画を直接アップロード。
メール	CANON iIMAGE GATEWAYのオンラインアルバムのリンク(URL)をメールで送信。宛先は20まで登録可。

* 利用できるWebサービスは更新されることがあります。詳しくはCANON iIMAGE GATEWAYのヘルプをご覧ください。

6 パソコン Webサービスを本機に登録する

- ① 登録するWebサービスを選ぶ→画面中央のをクリックする。
 - 選んだWebサービスがカメラ欄に表示される。
- ② 複数のWebサービスを登録するときは、①の操作を繰り返す。
 - ▲または▼をクリックして、本機の画面に表示される順番を変えることもできる。
- ③ 「メニュー」をクリックする。
 - 選んだWebサービスが本機に登録され、CameraWindowのメニュー画面に戻る。

7 パソコン CameraWindowを終了する

- CameraWindowの終了を確認したら、本機をパソコンから取り外す。



MEMO

- 本機の日付設定が正しくないときは、CANON iMAGE GATEWAYに接続できません。接続の前に本機の設定を確認してください。
- 登録数が上限に達すると新たなWebサービスを登録できません。このときは、不要なWebサービスを削除してから、使用したいWebサービスを登録してください。
- メール以外のWebサービスには、複数のアカウントを設定できません。

■ 動画や静止画をWebサービスに公開する

CAMERA MEDIA

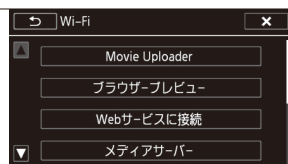
撮影した動画や静止画をWebサービスに公開して、家族や友人と共有できます。

動画形式 AVCHD MP4

1 動画のインデックス画面を出す

2 「Webサービスに接続」を選ぶ

[MENU] (メニュー) → → 「Wi-Fi」 → 「Webサービスに接続」をタッチする。



3 アクセスポイントに接続する


「アクセスポイントにWi-Fi接続する」(□194)であらかじめ選択しているアクセスポイントに接続する。

- アクセスポイントが未登録のときは、「アクセスポイントを登録します」が出る。
- ① をタッチする。
 - ② 「アクセスポイントにWi-Fi接続する」(□194)の手順に沿って、アクセスポイントに接続する。
- 「Webサービスに接続」画面が出たら、接続完了。

4 使用するWebサービスを選ぶ

いずれかのWebサービスをタッチする。

アップロードをメールで通知するとき

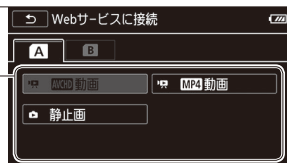
- ①  をタッチする。
 - 送信先の選択画面に登録済みの宛先が出る。
- ② 宛先をタッチする。



5 アップロードするデータを選ぶ

いずれかを選ぶ。

- 使用するWebサービスによって、アップロードできるデータが異なる。




Webサービス	AVCHD 動画	MP4 動画	静止画
CANON iMAGE GATEWAY	—	○	○
Facebook	—	○	○
Twitter	—	○	○
YouTube	○	○	—
Google Drive	○	○	○
メール	—	○	○

6 シーンまたは静止画を選ぶ

動画のとき

シーンをタッチする。

静止画のとき

- ① アップロードする静止画をすべてタッチする。もう一度タッチすると選択が解除される。
 - 1度に10枚までアップロードできる。
 - 選択をすべて解除するときは「全解除」→「はい」をタッチする。
- ②  をタッチする。



7 アップロードする

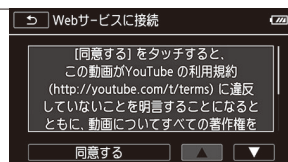
YouTubeのとき

利用規約を確認して、同意する場合は「同意する」をタッチする。

- アップロードがはじまる。

中止するとき

「中止」をタッチする。



8 OK をタッチする

CANON iIMAGE GATEWAYのライブラリで確認する

CANON iIMAGE GATEWAYにアップロードした動画や静止画は、ライブラリ画面またはアルバム画面で確認できます。また、Webサービスの設定情報一覧や送信履歴を確認することもできます。CANON iIMAGE GATEWAYの詳細については「ヘルプ」をご覧ください。

1 パソコンなど CANON iIMAGE GATEWAYにログインする

2 パソコンなど 画面の案内に従って操作し、オンラインアルバムにログインする

- ライブラリ画面が表示される。



MEMO

- 一度にアップロードできる動画は1シーン、静止画は10枚までです。アップロードできる動画の最大時間やサイズはWebサービスによって異なります。
- アクセスポイントの性能や設定、通信状態によっては、アップロードに時間がかかることがあります。
- メールアドレスには、半角英数字と記号が使用できます。また、@マークより前の文字数は、最大16文字です。

アクセスポイントにWi-Fi接続する

CAMERA

MEDIA

アクセスポイント（無線親機）に接続します。アクセスポイントへの接続設定は、本機に4つまで記憶できます。

■ 必要なものを確認する

Wi-Fi接続を行う前に、必要なものを確認してください。

- アクセスポイントは、Wi-Fi認証を受け（右のロゴマークがある）、無線LAN規格IEEE802.11a/b/g/n対応のものであること。
- アクセスポイントと家庭内ネットワークが正しくセットアップされていること。



■ 接続方法を選ぶ

接続方法は次の4種類から選択できます。アクセスポイントについては、お使いの機器の説明書をご覧ください。

WPS : プッシュボタン*	アクセスポイントのボタンを押し続けたあと、本機の画面をタッチするだけ。アクセスポイントがWPSに対応していれば一番簡単に接続できます。
WPS : PINコード*	Webブラウザからアクセスポイントの設定画面を開き、カメラの画面に表示された番号を入力します。アクセスポイントがWPSに対応していて、パソコンなどアクセスポイントに接続済みの機器が必要です。
アクセスポイント検索	本機の画面上で、お使いのアクセスポイントのSSIDを選び、パスワードを入力します。
手動設定	アクセスポイントの名前とパスワードのほか、さまざまなネットワーク設定を手動で行います。無線LANやネットワークに詳しい上級者用の設定方法です。

* WPSとは、アクセスポイントへの接続を簡単に行うための規格です。

1

本機

使用する接続方法を選ぶ

🔍

ネットワーク設定

設定方法を選択してください

WPS:プッシュボタン

WPS:PINコード

アクセスポイント検索

手動設定

「WPS:プッシュボタン」のとき

📖

195

「WPS:PINコード」のとき

📖

195

「アクセスポイント検索」のとき

📖

196

「手動設定」のとき

📖

197

WPSで接続する

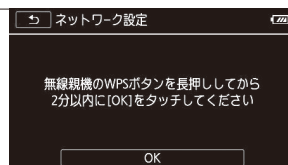


お使いのアクセスポイント（無線親機）がWPSに対応していれば、本機とアクセスポイントを簡単に接続できます。WPSの接続には、プッシュボタン方式とPINコード方式があります。「接続方法を選ぶ」(□ 194) で選んだ方法の操作をご覧ください。なお、WPSでうまく接続できないときは、「アクセスポイント検索で接続する」(□ 196) をお試しください。

「WPS：プッシュボタン」の場合

1 無線親機 WPS用のボタンを長押ししてWPSを起動する

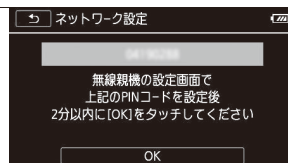
- 長押しの時間は無線親機によって異なります。必ず、無線親機の説明書をご覧になってから操作を行い、無線親機がWPS起動状態になったことを確認してください。



「WPS：PINコード」の場合

1 無線親機 PINコードを設定してWPSを起動する

- パソコンなど無線親機と接続済みの機器のWebブラウザから、WPS(PINコード方式)の設定画面を開き、ビデオカメラの画面に表示された8桁の数字を入力して、WPSを起動する。



OK

2 本機 操作1から2分以内に OK をタッチする

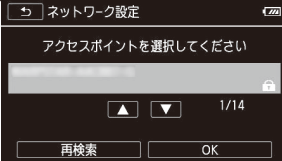
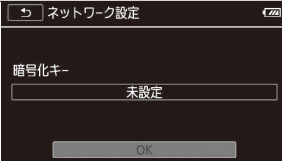
- 無線親機への接続を開始する。
- 設定が完了すると、選んだ機能の画面に戻る。
「パソコンなどで見る」へ □ 183
「パソコンなどに転送する」へ □ 185
「Webサービスで共有する」へ □ 188
「アクセスポイント接続設定」へ □ 200

接続を中止するとき

「中止」→ OK をタッチする。

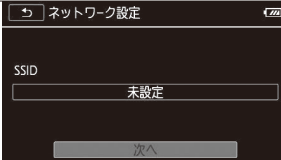
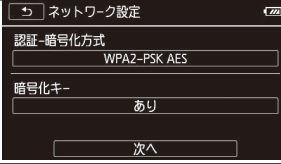
■ アクセスポイント検索で接続する

ビデオカメラが周囲のアクセスポイントを自動的に検出します。接続するアクセスポイントを選んでパスワード（暗号化キー）を入力し接続します。

	1 アクセスポイントの設定情報を確認する <ul style="list-style-type: none">● 接続するアクセスポイントのSSIDと暗号化キー（必要なとき）をあらかじめ確認する。	
▲▼ OK	2 接続するアクセスポイントを選ぶ <ul style="list-style-type: none">● 検出されたアクセスポイントのSSIDが出る。① ▲ / ▼ をタッチして接続するアクセスポイントを選ぶ。② OK をタッチする。	
OK	3 アクセスポイントの暗号化キー（パスワード）を入力する <ul style="list-style-type: none">● 操作2で選んだアクセスポイントに 表示されていない場合、この操作は不要。① 暗号化キー入力エリアをタッチする。② 暗号化キーを入力→OK をタッチする。 <p>参考 ▶ 「文字入力のしかた」(187)</p>	
OK	4 OK をタッチする <ul style="list-style-type: none">● 設定が完了すると、選んだ機能の画面に戻る。 <ul style="list-style-type: none">「パソコンなどで見る」へ 183「パソコンなどに転送する」へ 185「Webサービスで共有する」へ 188「アクセスポイント接続設定」へ 200	

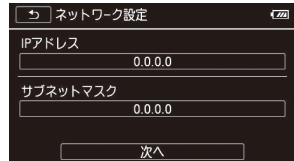
■ 手動設定で接続する

アクセスポイントへの接続を手動で設定できます。また、ステルス機能が有効になっているなどにより、「アクセスポイント検索」でアクセスポイントが検出されないときも手動で接続できます。この接続方法は、無線LANやネットワークに詳しい上級者の方のみご利用ください。

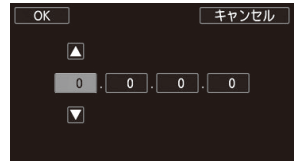
<p>1 SSIDを入力する</p> <p>① SSID入力エリアをタッチする。 ② SSIDを入力→「次へ」をタッチする。 参考 ▶▶ 「文字入力のかた」(187)</p>	
<p>2 認証-暗号化方式を選択する</p> <p>① 認証-暗号化方式エリアをタッチする。 ② いずれかの認証・暗号化方式をタッチする。 ● 「OPEN WEP」選択時、WEPインデックスは1となる。</p>	
<p>3 暗号化キーを入力する</p> <p>● 操作2で「OPEN NONE」を選んだ場合、この操作は不要。 ① 暗号化キー入力エリアをタッチする。 ② 暗号化キーを入力する。 参考 ▶▶ 「文字入力のかた」(187)</p>	
<p>4 「次へ」をタッチする</p>	
<p>5 IPアドレスの取得方法を選ぶ</p> <p>「オート」または「マニュアル」をタッチする。 ● オートをタッチしたときは操作7に進む。</p>	

6 IPアドレスなどをマニュアルで設定する

- ① IPアドレスの入力エリアをタッチする。



- ② ▲ / ▼ をタッチしてIPアドレスの各値を入力 → **OK** をタッチする。



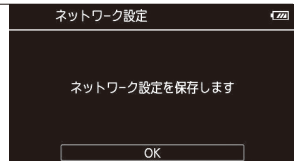
- ③ ① ~ ②と同じ要領でサブネットマスクを入力 → 「次へ」をタッチする。
 ④ ① ~ ②と同じ要領でデフォルトゲートウェイを入力 → 「次へ」をタッチする。
 ⑤ ① ~ ②と同じ要領で各DNSサーバーを入力 → 「次へ」をタッチする。

OK

7 設定を保存する

- OK** をタッチする。

- 設定が完了すると、選んだ機能の画面に戻る。
 「パソコンなどで見る」へ 183
 「パソコンなどに転送する」へ 185
 「Webサービスで共有する」へ 188
 「アクセスポイント接続設定」へ 200



MEMO

使用できるWi-Fiの機能とセットアップ方法は、お使いのWi-Fiネットワークの設定や制限などによって異なります。

Wi-Fi設定を表示／変更する

CAMERA

MEDIA

アクセスポイントへのWi-Fi接続やWi-Fi機器に直接接続するときのWi-Fi接続の設定内容を表示し、変更することができます。

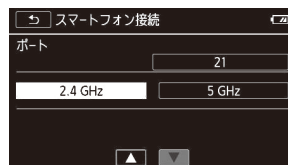
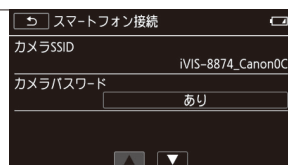
1 設定を確認、変更する

[MENU] (メニュー) →  → 「Wi-Fi」をタッチする。

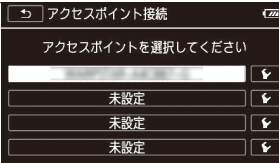
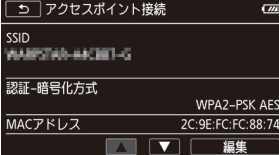
「スマートフォン接続設定」の場合

2 「スマートフォン接続設定」をタッチする

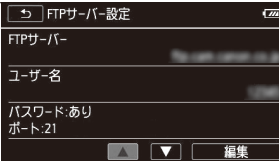
- ビデオカメラのSSIDが表示される。
- ▲／▼で表示内容を切り換えることができる。
- 表示されるキーボードでカメラパスワード、ポート、使用無線帯域 (2.4 GHzまたは5 GHz) を変更する。



「アクセスポイント接続設定」の場合

	<p>2 「アクセスポイント接続設定」をタッチする</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本機に記憶されている4つのSSIDが表示される。 ● 「未設定」をタッチすると、「アクセスポイントにWi-Fi接続する」(□□ 194)の操作に進み、接続が終わるとこの画面に戻る。 	
▲▼	<p>3 アクセスポイント接続設定の内容を表示する</p> <p>SSIDの横の▼をタッチする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 設定内容が表示される。 ● ▲ / ▼で表示内容を切り換えることができる。 <p>アクセスポイントの設定を消去するとき</p> <p>いずれかの画面で「編集」→「消去」→「はい」をタッチする。</p> <p>設定を変更するとき</p> <p>いずれかの画面で「編集」→「手動設定」をタッチする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「手動設定で接続する」(□□ 197)の操作に進む。 	

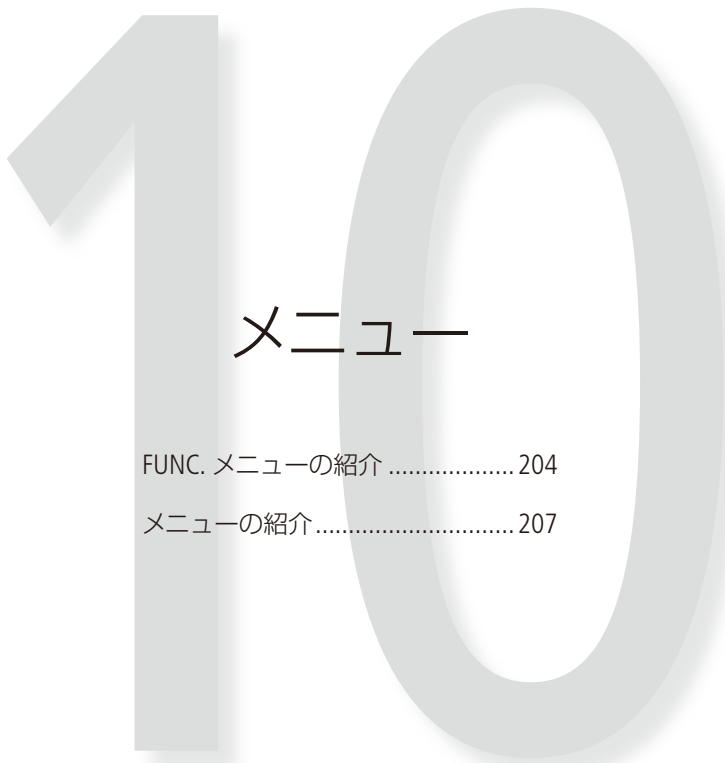
「FTPサーバー設定」の場合

	<p>2 「FTPサーバー設定」をタッチする</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 設定内容が表示される (□□ 185)。 ● ▲ / ▼で表示内容を切り換えることができる。 <p>設定を変更するとき</p> <p>いずれかの画面で「編集」をタッチする。</p>	
--	--	--

用語の説明

この章の説明で使われている用語をまとめました。Wi-Fi関連の名称や略語のを知りたいときにご覧ください。

用語	説明	📖
暗号化キー	セキュリティで保護（暗号化）されたWi-Fiネットワークに接続するためのパスワード。アクセスポイントに設定され、使用される文字や文字数は、暗号化方式によって異なる。	197
暗号化方式	Wi-Fi通信を暗号化するための方式。暗号の破られにくい順に「WPA2-PSK AES / WPA-PSK AES」、「WPA2-PSK TKIP / WPA-PSK TKIP」、「WEP」となる。	197
サブネットマスク	IPアドレスからネットワークアドレスを識別するための数値。	198
ステルス機能	アクセスポイントなどのSSIDを他の機器から見えないようにする機能のこと。ネットワークへの接続を許可していない機器からの接続を防ぐために設定する。	197
代替DNSサーバー 優先DNSサーバー	パソコンのドメイン名をIPアドレスに変換するサーバーのこと。Domain Name Systemの略。	198
デフォルトゲートウェイ	使用しているネットワークと外部のネットワーク（インターネットなど）をつなぐ出入口となる機器のこと。	198
DHCPサーバー	IPアドレスを自動で振り分けるサーバーのこと。Dynamic Host Configuration Protocolの略。	237
FTPサーバー	FTPを使用してファイルの送受信を行うサーバーのこと。FTP：File Transfer Protocolの略。	185、 200
IPアドレス	ネットワークに接続されたパソコンや通信機器1台ずつに割り振られる識別番号（4組の数値*）のこと。* IPv4アドレスの場合。IP：Internet Protocolの略。	197
LAN	オフィスや家庭などのネットワークのこと。Local Area Networkの略。	170
PINコード	機器を識別するための認証パスワードのこと。PIN：Personal Identification Numberの略。	195
SSID	アクセスポイントを識別するための名前のこと。任意の英数字（最大32文字まで）を設定できる。Service Set Identifierの略。	197
Wi-Fi（ワイファイ）	Wi-Fi Allianceによって認証された、Wi-Fi機器同士の接続方式の名称。Wireless Fidelityの略。	168
WPS	アクセスポイント（無線親機）のWi-Fi接続やセキュリティの設定を容易に行うための規格。プッシュボタン方式とPINコード方式がある。Wi-Fi Protected Setupの略。	195



メニュー

FUNC. メニューの紹介 204

メニューの紹介 207

FUNC.メニューの紹介

撮影時の設定に使用するFUNC.メニューと、再生時に様々な編集操作を行うための編集メニューとがあります。ご購入時、FUNC.メニューは がついた内容に設定されています。各機能の詳細は、📖欄のページをご覧ください。

■ 撮影時に使う「FUNC.メニュー」

機能	設定内容	AUTO	M	CINEMA	📖
MENUメニュー	—	●	●	●	37
撮影モード	P (プログラムAE)、 Tv (シャッター優先AE)、 Av (絞り優先AE) M マニュアル露出		●	●	80
	📷ポートレート、🏃スポーツ、🌃夜景、❄️スノー、 🏖️ビーチ、🔥夕焼け、🌑ローライト、 🎆スポットライト、🎆打上げ花火		●		89
🌟 強制逆光補正	ON 入、 OFF 切		●	●	85
WB ホワイトバランス	AWB オート、🌞太陽光、🏠日陰、☁️くもり、 💡蛍光灯、💡蛍光灯H、💡電球、 K 色温度、 📶1セット1、📶2セット2		●	●	87
AGC AGCリミット	A オート、 M マニュアル		●	●	79
👁️ フォーカス	MF マニュアル：ON、OFF 指定被写体に合わせる		●	●	61
	PEAK ピーキング：ON、OFF ピーキング時白黒：切、入 ピーキング色：レッド、ブルー、イエロー		●	●	63
	SET フォーカス位置をプリセット／キャンセルする ON プリセットしたフォーカス位置に戻る		●	●	62
📷 露出	M マニュアル：ON、OFF 指定被写体に合わせる		●	●	82
	タッチ露出：ノーマル、ハイライト ゼブラパターン：ON、OFF 70%、100%		●	●	84 86
AUDIO オーディオシーン*1*2	STD スタンダード、🎵音楽、🗣️スピーチ、 🌳森と野鳥、🔊ノイズカット	●	●	●	101
	🎛️カスタム		●	●	
🔊マイクレベル*1	A オート、 M マニュアル オートのとき：レベルメーター 入/切		●	●	103
ZOOM ズーム*2	ズーム操作 START/STOPボタンによる動画撮影/停止	●	●	●	69
	PHOTOボタンによる静止画撮影	●	●		
手ブレ補正	📷ダイナミック、📷スタンダード、📷OFF 切		●	●	77

機能	設定内容	AUTO	M	CINEMA	📖
ピクチャー設定	ルック (スタンダード、高輝度優先、Wide DR)、色の濃さ、シャープネス、コントラスト、明るさ ON、OFF		●		91
ブラウザーリモート	ON、OFF	●	●	●	172

*1 動画撮影時のみ。

*2 **AUTO** (オート) モードに切り換えたととき、**M** (マニュアル) モードまたは **CINEMA** (シネマ) モードで設定した内容が保持されます (オーディオシーンはカスタムを除く)。

再生時に使う「FUNC.メニュー」

1シーンごと、選んだシーン、全シーン、特定の日に撮ったシーンなど、表示している画面によって、操作できる動画／静止画の数が異なります。

動画

機能	インデックス画面	インデックス画面からの再生一時停止中	
	 動画		
コピー *1 [A] ➡ [B] [B] ➡ [A]	ある日に撮ったシーン、選択シーン、全シーン	—	156
MP4変換 [A] ➡ [B] [B] ➡ [A]	選択シーン	—	160
消去	ある日に撮ったシーン、選択シーン、全シーン	1シーン	135
分割	—	●	137
トリミング	—	●	138

静止画

機能	📷 静止画		📖
	インデックス画面	再生中	
コピー [A] ➡ [B] [B] ➡ [A]	ある日に撮った静止画、選択した静止画、全静止画	1枚	157
消去	ある日に撮った静止画、選択した静止画、全静止画	1枚	149



MEMO

他の機能の設定内容などにより設定できない機能は、灰色で表示されます。

メニューの紹介

撮影／再生のモードによって設定できる機能が異なります。設定できる機能は表中に●で示しています。ご購入時は、.....の内容に設定されています。各機能の詳細は、📖欄のページかまたは欄外に説明があります。設定のしかたについては「メニューの設定を変える」(📖 37)をご覧ください。

📷 カメラ設定

機能	設定内容	📷	📖
デジタルズーム	OFF 切、 400x 400x	●	—
	20x デジタルテレコン	●	76
ソフトズームコントロール	OFF 切、 START スタート、 STOP ストップ、 START/STOP スタート&ストップ	●	74
ズームスピードレベル	🔍 ハイ、🔍 ミドル、🔍 ロー	●	70 73
グリップズームスピード	VAR (可変速)、 CONST (固定速) 1 ~ 16 (8)	●	70
リモコンズームスピード	1 ~ 16 (8)	●	73
ハイスピードズーム	ON 入、 OFF 切	●	—
AFモード	SAF ハイスピードAF、 MAF ミディアムスピードAF、 AF ノーマルAF	●	65
フォーカスアシスト	ON 入、 OFF 切	●	—
フェイスキャッチ&追尾	ON 入、 OFF 切	●	67
自動逆光補正	ON 入、 OFF 切	●	85
オートスローシャッター	ON 入、 OFF 切	●	—
フリッカー低減	OFF 切、 A オート	●	—
NDフィルター	A オート、 OFF 切	●	—
コンバージョンレンズ	Tele TL-H58、 Wide WA-H58、 OFF 切	●	—
マルチシーンIS	📷 パワードISあり、📷 パワードISなし	●	48
マーカー表示	OFF 切、 E6 水平 (グレー)、 E6 水平 (黒)、 E6 グリッド (グレー)、 E6 グリッド (黒)	●	—
マイクアッテネーター	A オート、 ON (入)	●	106
内蔵マイクウィンドカット	H オートハイ、 L オートロー、 Low 、 OFF 切	●	105
内蔵マイク周波数特性	NORM ノーマル、 LB 低域強調、 LC 低域カット、 MB 中域強調、 LHB 低高域強調	●	107
内蔵マイク指向性	2ch モノラル、 NORM ノーマル、 2ch ワイド、 2ch ズーム	●	108
MICローカット	ON 入、 OFF 切	●	109
MIC端子入力選択	LINE 外部音源、 MIC マイク	●	109
音声ミックス	OFF 切、 ON 入 ミックスバランス：INT EXT	●	110
サラウンドマイク指向性*	5.1ch サラウンド、 5.1ch ズーム、 2.1ch ショットガン	●	—
Wi-Fi	スマートフォン接続設定、アクセスポイント接続設定、FTPサーバー設定	●	199

.....


* サラウンドマイクロホンSM-V1(別売)に付属のSDカードを使って、本機のファームウェアをバージョンアップしたときのみ、表示されます。

デジタルズーム

デジタルズームの倍率（最高倍率）を選びます。

- デジタルズームの倍率を設定してからズームを使うと、光学ズーム領域を越えた時点で自動的にデジタルズームになります。
- デジタルズーム領域では映像をデジタル処理するため、拡大するほど映像が粗くなります。



フォーカスアシスト

マニュアルフォーカス（ 61）でピントを調整しやすくするために、画面の中央を拡大し、くっきりと表示します。

- 記録する動画/静止画には影響しません。撮影を開始するか、4秒経過すると拡大表示は解除されます。

オートスローシャッター

明るさが不足する場所（暗めの室内など）で撮影する場合、シャッタースピードを自動的に遅くして、より明るい映像を記録します。

- 1/30秒までのスローシャッターに設定されます。なお、「フレームレート」（ 56）が「PF29.97」または「29.97P」のときは1/15秒までのスローシャッターに、「23.98P」のときは1/12秒までのスローシャッターに設定されます。
- **AUTO**（オート）モード、撮影モードが「**P**（プログラムAE）」のときに設定できます。
- 動きのある被写体を撮るとき、尾を引いたような残像が出る場合は、「切」を選びます。
- 画面に （手ブレ警告）が出たときは、三脚などでビデオカメラを固定することをおすすめします。

フリッカー低減

蛍光灯のフリッカーを自動的に検知して補正することができます。

人工光源の照明下でフリッカーが気になるとき

- 蛍光灯、水銀灯、ハロゲンライトなどの人工光源の照明下で撮影する場合、設定したシャッタースピードによっては、原理上フリッカーが出ることがあります。フリッカーは、電源の周波数に応じたシャッタースピードを設定すると抑制できることがあります。電源周波数が50Hzのときは1/100秒を、60Hzのときは1/60秒を選んでください。

NDフィルター

NDフィルター制御の切り換えを設定します。

- **A**（オート）にすると、F4.0のときNDフィルターが挿入されます。

撮影モードが「**P**（プログラムAE）」「**Tv**（シャッター優先AE）」「**Av**（絞り優先AE）」「**M**（マニュアル露出）」のときに設定できます。

コンバージョンレンズ

別売のテレコンバーター TL-H58 (テレコン) やワイドアタッチメント WA-H58 を取り付けるときに設定すると、それぞれの設定に合わせて手ブレ補正のしかた、最至近撮影距離が変わります。ワイドアタッチメント WA-H58 を取り付けると、約0.75倍までの広角撮影ができます。最至近撮影距離はテレコンバーター使用時においてズーム全域で約130cmワイドアタッチメント使用時において約60cmです。ワイドアタッチメント設定時は、ズーム表示はズームバーの途中で止まります。

テレコンまたはワイドアタッチメントの設定に応じて、距離表示が適正になるように距離情報を変更しています。コンバージョンレンズを装着していない場合には設定を「切」にしてください。「切」以外に設定すると、メニューの「AFモード」が自動的に「ノーマルAF」に設定されます。

マーカー表示

画面に水平線や格子状の線(グリッド)を表示します。被写体の水平・垂直を確認しながら撮影できます。

- 水平線やグリッドは、撮影した動画/静止画には表示されません。

マイクアッテネーター

録音した音声ひずむときに使います。外部マイク使用時やオーディオシーンの「カスタム」を選択しているとき設定できます。

- | | |
|---------------|--|
| オート | カメラがマイク音量に合わせて、アッテネーターを自動的に入/切します。大音量はひずまない音量に、大音量以外は最適な音量で記録できます。 |
| 入: ATT | アッテネーターが常に働き、音の強弱をより忠実に記録できます。「入」にすると画面に ATT が出ます。 |

サラウンドマイク指向性

サラウンドマイクロホン SM-V1 (別売) の設定を選びます。

- | | |
|--------|---|
| サラウンド | 通常の5.1ch録音。 |
| ズーム | 5.1ch録音。録音時の音量がズームレバーに連動するので、離れた被写体を拡大して撮ると、音量も大きくなる。 |
| ショットガン | マイク正面の音声を重点的に記録する5.1ch録音。 |

再生設定

機能	設定内容			
データコード表示	AVCHD : OFF 切、日付、時刻、日付&時刻、 カメラデータ MP4 : OFF 切、日付	●	●	—
テレビタイプ	4:3 4:3テレビ、16:9 ワイドテレビ	●	●	—
Wi-Fi	Movie Uploader、ブラウザーレビュー、Webサービスに接続、メディアサーバー、FTP転送、スマートフォン接続設定、アクセスポイント接続設定、FTPサーバー設定	●		168

データコード表示

日付や時刻、カメラデータ(しぼり値やシャッタースピード)など、表示する撮影情報を選びます(118)。

テレビタイプ

ステレオビデオケーブルSTV-250N(付属)でテレビにつないで見るときに、接続するテレビに合わせて選びます。映像の縦・横の比率を正しく再生します。

4:3 テレビ

4:3 テレビに接続するときを選ぶ。

ワイドテレビ

16:9ワイドテレビに接続するときを選ぶ。

- 「4:3 テレビ」に設定しているとき、16:9で撮影した映像を再生すると、画面に表示される映像が小さくなります。

記録設定

機能	設定内容				
動画形式	AVCHD AVCHD、MP4 MP4	●			40
録画モード	AVCHD : 28 Mbps LPCM (59.94P)、28 Mbps (59.94P)、 24 Mbps LPCM、24 Mbps、17 Mbps、5 Mbps MP4 : 35 Mbps (59.94P)、24 Mbps、17 Mbps、 8 Mbps (59.94P)、4 Mbps、3 Mbps	●			52
記録先	動画記録先 AカードA、BカードB	●			41
	静止画記録先 AカードA、BカードB	●	●	●	
同時記録 / リレー記録	通常記録、同時記録、リレー記録	●			55
フレームレート	AVCHD : 59.94i 59.94i、PF29.97 PF29.97、23.98P 23.98P MP4 : 29.97P 29.97P、23.98P 23.98P	●			56

機能	設定内容				
Slow & Fastモーション	「録画モード」を「35 Mbps (59.94P)」または「8 Mbps (59.94P)」設定時：OFF、x2、x2.5 「録画モード」を「24 Mbps」または「17 Mbps」設定、 「フレームレート」を「29.97P」29.97P設定時：OFF、 x0.5、x1.25、x2、x4、x10、x20、x60、x120、x1200 「録画モード」を「24 Mbps」または「17 Mbps」設定、 「フレームレート」を「23.98P」23.98P設定時：OFF、 x0.4、x0.8	●			57
ビデオスナップ記録時間	2sec 2秒、 4sec 4秒、 8sec 8秒	●			116
タイムコードモード	PRESET Preset、 REGEN Regen.	●			93
タイムコードラン	REC RUN Rec Run、 FREE RUN Free Run	●			93
DF / NDF	DF DF、 NDF NDF	●			94
タイムコードスタート値	00:00:00:00: ～ 23:59:59:29	●			93
ユーザービット出力モード	FIXED 固定値、 PULLDOWN プルダウン	●			95
ユーザービットタイプ	SET 設定、 TIME 時刻、 DATE 日付	●			95
カラーバー	OFF 切、 SMPTE SMPTE、 ARIB ARIB	●			114
1 kHz トーン	-12dB -12 dB、 -18dB -18 dB、 -20dB -20 dB、 OFF 切	●			114
ファイル番号	 オートリセット、  通し番号	●	●	●	—
メモリー残量表示	—	●			—
メモリー使用量表示	—		●	●	—
初期化 [SD]	A カードA、 B カードB	●	●	●	39

ファイル番号

個々のMP4動画／静止画に付けられる番号（ファイル番号）の付けかたを選びます。撮影されたMP4動画／静止画は、自動的に100-0001、100-0002、100-0003のように順に番号が付けられ、カード内のフォルダーに保存されます。

オートリセット

初期化されたカードに記録する場合、ファイル番号は常に100-0001から始まる。カード内にすでにMP4動画／静止画が記録されているときは、その続きの番号になる。

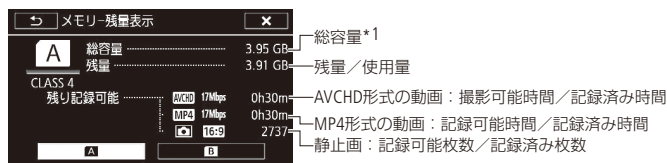
通し番号

ファイル番号は、最後に記録したMP4動画／静止画の続き番号から始まる。ただし、カードに記録されているファイル番号のほうが大きいときは、その続き番号になる。パソコンで管理するときなどに便利。

- 通常は「通し番号」に設定しておくことをおすすめします。
- 1つのフォルダーにはMP4動画と静止画を合わせて500個までのファイルを保存することができ、それを超えると自動的にフォルダーが作成されます。
- ファイル番号は、メモリー内に作られるフォルダーの番号（上3桁）とMP4動画／静止画固有の番号（下4桁）を表しています*。
* ファイル番号の範囲は、上3桁が100～999、下4桁が0001～9999です。
- 自動的に日付がフォルダー名として付けられます。5月1日に記録したカードをパソコンで見ると、ファイル番号が「100-0107」の場合、「DCIM ¥100_0501」というフォルダーの中に「MVI_0107.MP4」または「IMG_0107.JPG」というファイル名で表示されます。

メモリー残量表示／メモリー使用量表示

カードの総容量/使用量、動画の撮影時間/撮影可能時間*1、静止画の記録枚数/記録可能枚数*1を確認できます。カードのSDスピードクラスも確認できます。



例：メモリー残量表示／カードAを選択した場合を載せています。

*1 現在設定している動画の録画モードや、静止画のサイズ（1920×1080）をもとに算出します。

その他機能

機能	設定内容				
言語 	日本語、ENGLISH	●	●	●	
エリア/サマータイム	エリア：  (自宅)、  (旅行先) * サマータイム： ON、OFF	●	●	●	—
日付/時刻	日付/時刻：— 日時スタイル： Y.M.D、M.D.Y、D.M.Y 24H表示： ON、OFF	●	●	●	34
 ビューアシスト	ON 入、OFF 切	●	●		92 131
有機ELパネル/VF明るさ	HIGH 高輝度、NORM 通常、有機ELパネル省電モード	●	●	●	
有機ELパネル対面ミラー	ON 入、OFF 切	●			
有機ELパネルカラーバランス	[B] (青)： -25 to +25(0)、 [R] (赤)： -25 to +25(0)	●	●	●	
ヘッドホン音量	 0 ~ 15(8)	●	●	●	112
スピーカー音量	 0 ~ 15(8)		●	●	133
おしらせ音	 大、  小、OFF 切	●	●	●	
モニターディレイ	LINE ライン出力、NORM ノーマル	●			143
リモコンセンサー	ON 入、OFF 切 	●	●	●	
CUSTOMダイヤル&ボタン	Tv/Av、M マニュアル露出、AGC AGCリミット、 露出、OFF 切	●			
アサインボタン1～アサインボタン5	 パワーIS、*  強制逆光補正、  フェイスオンリー AF、  ビデオスナップ、 WB 優先WB、  プレ REC、AF/MF AF/MF、  レックレビュー、FUNC. 撮影モード、 FUNC. 強制逆光補正、FUNC. ホワイトバランス、 FUNC. AGCリミット、FUNC. フォーカス、 FUNC. 露出、FUNC. オーディオシーン、 FUNC. マイクレベル、FUNC. ズーム、 FUNC. 手ブレ補正、FUNC. ピクチャー設定、 FUNC. ブラウザーリモート、OFF 切 初期設定： アサインボタン1 AF/MF AF/MF アサインボタン2  プレ REC アサインボタン5  レックレビュー	●			125
パワーISボタン	ON 押し続け、  ON/OFF切り換え	●			—

機能	設定内容				
優先WB登録	オート、 太陽光、 日陰、 くもり、 蛍光灯、 蛍光灯H、 電球、 K 色温度、 1セット1、 2セット2	●			—
フォーカスリング操作方向	ノーマル、 リバース	●			—
フォーカスリング敏感度	ハイ、 ミドル、 ロー	●			—
フォーカスPスピード	ハイ、 ミドル、 ロー	●			—
オートパワーオフ	ON 入、 OFF 切				—
バッテリー情報	—	●	●	●	—
記録コマンド	ON 入、 OFF 切	●			50
HDMI出力	A オート、 480i、 480P、 720P、 1080i、 1080P	●	●	●	137
HDMIタイムコード	ON 入、 OFF 切	●	●	●	—
HDMI出力状態	—	●	●	●	—
オンスクリーン表示	ON 入、 OFF 切	●	●	●	—
距離単位	m メートル、 ft フィート	●	●	●	—
メニュー設定保存	保存、読み込み	●			127
GPS自動時刻設定	切、自動更新	●			—
GPS情報表示	緯度、経度、標高、UTC、衛星補足状態のリアルタイム表示	●			—
MACアドレス	—	●	●	●	—
認証マーク表示	—	●	●	●	—
デモモード	ON 入、 OFF 切	●			—
Firmware	—	●			—
設定初期化	—	●	●	●	—

言語

画面に表示される言語を変えます。

エリア／サマータイム

住んでいる地域と旅先の地域をそれぞれ設定できます。設定は、 または を選んだあと、 または をタッチして地域を選びます。選んだ地域がサマータイムを導入しているときは (サマータイム)をONにします。

有機ELパネル/VF明るさ

有機ELパネルやビューファインダーの輝度を2段階で切り換えます。屋外撮影時、太陽光などで画面が見にくいときは明るくしてください。「有機ELパネル省電モード」を設定すると、照度センサー (14) を使用し、撮影環境に応じて、パネルの輝度が自動的に切り換わります。画質調整等のモニター使用時は、「有機ELパネル省電モード」を解除してください。

- 記録される映像や、テレビで再生する映像の明るさは変わりません。
- 画面を明るくすると、バッテリーの使用時間が短くなります。
- 「デモモード」が「ON」で、コンパクトパワーアダプター (ACアダプター) を接続して本機の電源を入れると、自動的に「高輝度」に切り換わります。
- 「有機ELパネル省電モード」のとき、約3分間何も操作しないと、自動的に輝度が下がります。何らかの操作をすると、元の設定に戻ります。動画撮影中／再生中は自動的に輝度は下がりません。

有機ELパネル対面ミラー

画面をレンズ側に向けて、被写体に画面を見せながら撮るときなどは「入」にします。

有機ELパネルカラーバランス

有機ELパネルのカラーバランスを調整することができます。

画面を見ながら、「B」または「R」それぞれのバーの「+」と「-」をタッチして、パネルのカラーバランスを調整します。

おしらせ音

「大」または「小」を選ぶと、本機の操作に応じて音が鳴ります。

- プレREC (117) を「ON」にしていると、おしらせ音は鳴りません。

リモコンセンサー

リモコン (17) の信号を受け付けるかどうかを設定します。

パワードISボタン

アサインボタン (125) に割り当てたパワードISの操作のしかたを選びます。

押し続け

ON/OFF切り替え

ボタンを押している間だけ、パワードISが働く。

ボタンを押すとパワードISがONになり、もう一度押すとOFFになる。

優先WB登録

アサインボタンで優先WBを使用時、設定する項目を選択します。

フォーカスリング操作方向

フォーカス／ズームリングの操作方向を設定します。フォーカス／ズームリング切り換えスイッチがFOCUSのときに有効です。

フォーカスリング敏感度

フォーカス／ズームリングの敏感度を設定します。フォーカス／ズームリング切り換えスイッチがFOCUSのときに有効です。

フォーカスP.スピード

フォーカスプリセットのスピードを設定します。

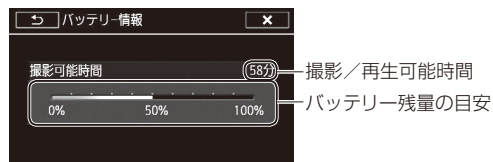
オートパワーオフ

バッテリー使用時、約5分間何も操作しないと、節電のために電源が切れます。

- 電源が切れる約30秒前に、「オートパワーオフ」が表示されます。

バッテリー情報

バッテリーの残量 (%) と撮影／再生可能時間 (分単位まで)を確認できます。



- バッテリーが消耗していると表示されないことがあります。

HDMIタイムコード

「入」にすると、HDMI信号にタイムコードを重畳します。

HDMI 出力状態

現在のHDMI出力端子の出力状態を確認できます。

オンスクリーン表示

画面に表示される情報を、本機に接続した画面に表示します。

距離単位

以下のときに表示される単位を選びます。

- マニュアルフォーカス時、ピントを合わせたときの被写体までの距離。
- GP-E2使用時の標高表示。

GPS自動時刻設定

GPSから得られる時刻情報を本機に設定できます。機能の詳細については、GP-E2の使用説明書「GPSの時刻をカメラに設定する」のページも合わせてご確認ください。

GPS情報表示

機能の詳細については、GP-E2の使用説明書「GPSの信号を受信する」の「GPS情報を表示する」のページも合わせてご確認ください。

MACアドレス

本機のMACアドレスを表示します。

認証マーク表示

本機が対応している認証マークの一部を確認できます。

デモモード

本機の映像を画面に表示します。

- コンパクトパワーアダプター（ACアダプター）使用時に、カードが入っていない状態で約5分経過するとデモモードが始まります。デモモードにしない場合は、「切」に設定します。
- なんらかの操作をするとデモモードは終了します。

Firmware

ビデオカメラの、現在のバージョンを確認できます。

- 通常は灰色で表示されます。

設定初期化

すべての設定を解除して、ご購入時の設定に戻します。

11

その他

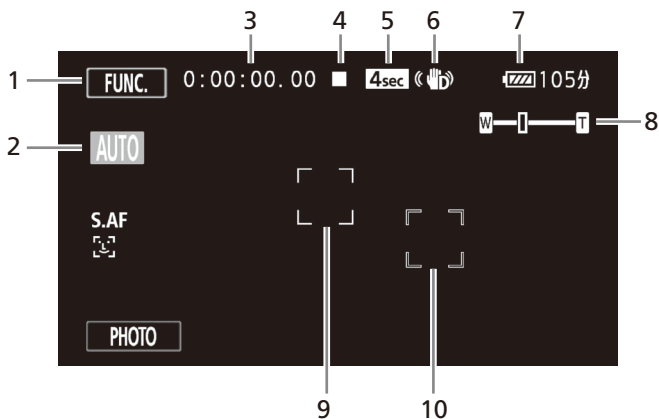
画面の見かた	220	海外で使う	249
トラブルシューティング	226	アクセサリ紹介	251
メッセージが出たら?	232	主な仕様	253
安全上のご注意	240	索引	261
取り扱い上のご注意	243	保証書と修理対応	265
日常のお手入れ	248	修理について	266

画面の見かた

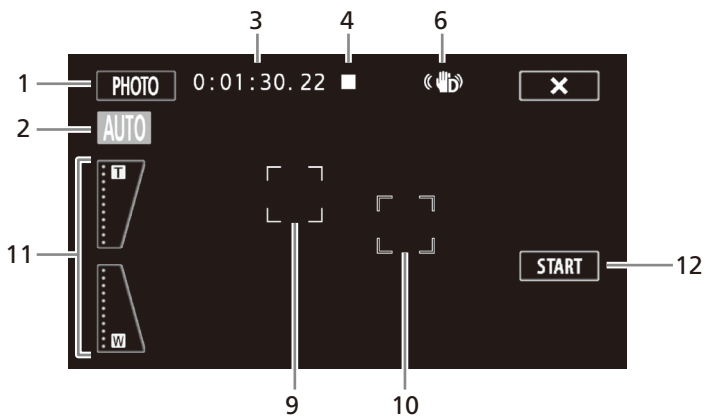
撮影中や再生中に表示される情報です。

■ 撮影時の画面表示

AUTO (オート)モード



AUTO (オート)モード (ズームボタン使用時)



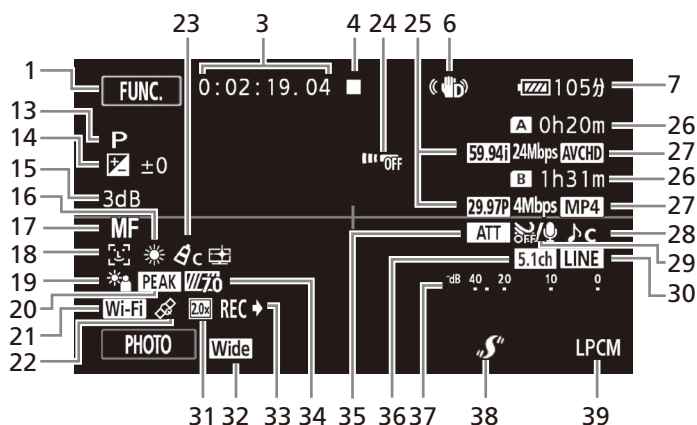
- 1 [PHOTO] ボタン ▶▶ 46 /
[FUNC.] メニュー ▶▶ 204
- 2 こだわりオート ▶▶ 47
- 3 タイムコード
(時：分：秒：フレーム数) ▶▶ 93
- 4 撮影状況
●：撮影 (録画) ■：撮影停止中
- 5 **4sec** ビデオスナップ ▶▶ 116
📷 プレREC ▶▶ 117
- 6 手ブレ補正 ▶▶ 48、77
- 7 バッテリー残量の目安



バッテリーの残量の目安をマークで、撮影または再生可能な時間を分で表示します。
🔴が赤く表示されたら、バッテリーが消耗しています。充電したバッテリーと交換してください。本機やバッテリーの状態によっては、実際のバッテリー残量と表示内容が一致しない場合があります。

- 8 ズーム ▶▶ 69
- 9 顔検出枠 ▶▶ 67
- 10 タッチ追尾枠 ▶▶ 67
- 11 ズームボタン ▶▶ 75
- 12 START/STOPボタン ▶▶ 45

M(マニュアル)モード



- 13 P撮影モード▶▶ 80
- 14 露出▶▶ 83
- 15 AGCリミット▶▶ 79
- 16 ホワイトバランス▶▶ 87
- 17 フォーカス▶▶ 61
- 18 [F]フェイスキャッチ&追尾▶▶ 67
[F]フェイスオンリー AF▶▶ 68
- 19 強制逆光補正▶▶ 85
- 20 ピーキング▶▶ 63
- 21 ブラウザーリモート▶▶ 172
- 22 GPS▶▶ 119
GPSレシーバー GP-E2(別売)を装着したとき表示されます。
- 23 ピクチャー設定▶▶ 91
[H]高輝度優先
- 24 リモコンセンサー▶▶ 216
- 25 フレームレート▶▶ 56 /
録画モード▶▶ 52

- 26 撮影可能時間
[A]/[B]カードA /カードB
[A]/[B]リレー記録▶▶ 55
●「同時記録」(▶▶ 55)を設定しているときは、A/Bのカードが表示されます。
●「Slow & Fastモーション」時は、[x0.5]や[x1200]など、設定した記録速度が表示されます。▶▶ (▶▶ 57)
カードに空きがなくなると、「[A]END」または「[B]END」が赤く点灯し、停止します。
- 27 動画形式▶▶ 40
- 28 オーディオシーン▶▶ 101
- 29 内蔵マイクウィンドカット▶▶ 105
- 30 MIC端子入力選択▶▶ 110
- 31 デジタルテレコン▶▶ 76
- 32 コンバージョンレンズ▶▶ 210
- 33 記録コマンド▶▶ 50

- 34 ゼブラパターン ▶▶ 86
- 35 マイクアッテネーター ▶▶ 106
- 36 サラウンドマイク ▶▶ 99
- 37 レベルメーター ▶▶ 103、110
- 38 ミニアドバンストシュー ▶▶ 99
- 39 音声記録形式 ▶▶ 52
「録画モード」で「28 Mbps LPCM (59.94P)」または「24 Mbps LPCM」を選択しているとき、表示されます。

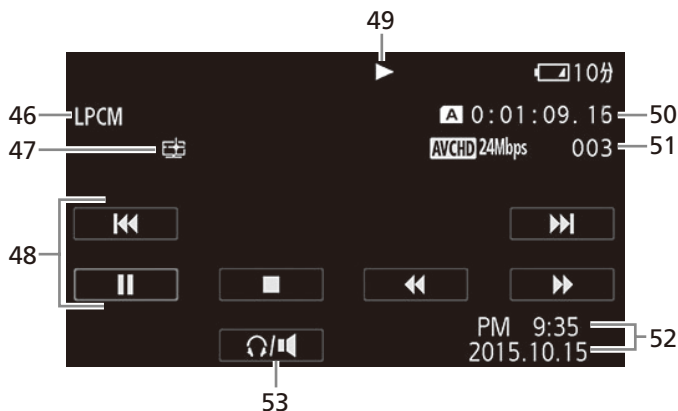
CINEMA (シネマ) モード



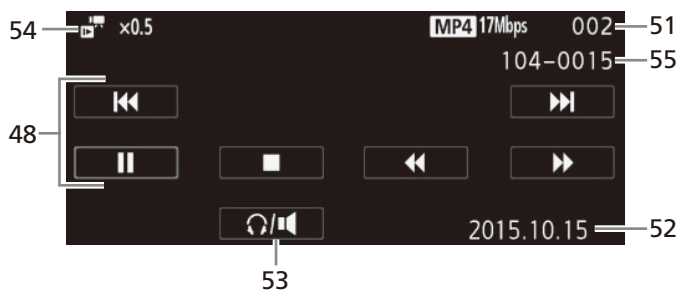
- 40 しぼり数値／NDフィルター ▶▶ 82
- 41 シャッタースピード ▶▶ 82
- 42 ゲイン ▶▶ 82
- 43 ハイスピードAF ▶▶ 65
- 44 シネマルックフィルター ▶▶ 59
- 45 マーカー ▶▶ 210

再生のときの画面

動画のとき（操作ボタン表示時）



MP4動画のとき



46 音声記録形式 ▶▶ 52

「録画モード」で「28 Mbps LPCM (59.94P)」または「24 Mbps LPCM」で記録したシーンを再生しているとき、表示されます。

47 高輝度優先 ▶▶ 91、131

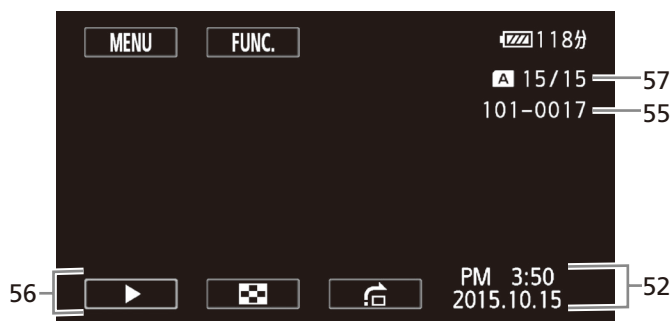
48 操作ボタン（動画）

49 再生状況

- ▶▶ : 再生 || : 再生一時停止
- ▶▶▶▶ : 早送り ◀◀◀◀ : 早戻し
- ◀◀◀◀ : 逆スロー再生／スロー再生
- ◀◀◀◀/▶▶▶▶ : コマ戻し／コマ送り

50 タイムコード

静止画のとき（操作ボタン表示時）



51 再生シーン番号

57 表示枚数／全枚数

52 データコード▶▶ 211

53 ヘッドホン音量/スピーカー音量▶▶ 112、133

54 Slow & Fastモーション▶▶ 57

55 ファイル番号▶▶ 213

56 操作ボタン（静止画）

修理に出す前にこの「トラブルシューティング」で説明する内容をもう一度確認してください。それでも直らないときは、カメラ修理受付センター（☎ 366）にご相談ください。

電源

- ☐ バッテリーは充電されていますか？ (📖 20)
- ☐ 本機はコンパクトパワーアダプター (ACアダプター) で正しく接続されていますか？ (📖 20)

- 電源を入れてCAMERAモードにしていますか？ MEDIAモードになっているときはCAMERAモードに切り換えてください。(📖 30)
- 本機にカードが入っていますか？ (📖 35)

- 電源を入れてMEDIAモードにしていますか？ CAMERAモードになっているときは、MEDIAモードに切り換えてください。
- 本機にカードが入っていますか？ (P.35)

□ 本機を振るとカタカタ音がするときは？ CAMERAモードにして音がしなければ、内部のレンズが動く音です。故障ではありません。

こんなときは	どうするの？	📖
電源が入らない。 途中で電源が切れる。 バッテリーが充電できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。 ● バッテリーを正しく取り付け直す。 	20
	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源を切ってから充電する。 ● バッテリーの温度が使用温度（約0℃～40℃）の範囲外になったため充電を停止した。バッテリーを取り外し、温めるかまたは放置して使用温度の範囲内になってから、充電を行う。 ● 周囲の温度が約0℃～40℃のときに充電する。 ● バッテリーが故障しているので、別のバッテリーを使用する。 ● 本機と通信できないバッテリー（キヤノン推奨以外）が取り付けられているため、充電できない。 ● キヤノン推奨のバッテリーを使用している場合は、ビデオカメラまたはバッテリーの故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。 	20
		266

こんなときは	どうするの？	
コンパクトパワーアダプター (ACアダプター) から音がする。	● コンパクトパワーアダプター (ACアダプター) を使用中に小さな音がすることがある。故障ではない。	—
常温でバッテリーの消耗が極端に早い。	● バッテリーの寿命と考えられる。新しいバッテリーを購入する。	—

撮影中

こんなときは	どうするの？	
START/STOPボタンを押しても録画しない。	● 撮影した映像を本機に書き込んでいる間は録画できない。書き込み終了まで待つ。	—
	● メモリーに空き容量がない。または3999シーン記録されている。不要なシーンや静止画を消すか、初期化する。	39
	● MP4形式の動画や静止画に割り当てられるファイル番号が最大になったためカードに記録できない。新しいカードを入れて、メニューの「ファイル番号」を「オートリセット」にする。	135 213
START/STOPボタンを押した時点と、記録されたシーンの始めと終わりの時点が異なる。	● START/STOPボタンを押してから、録画の開始・終了までに、多少時間がかかることがある。故障ではない。	—
ピントが合わない。	● 被写体によってはピントが自動で合いにくいことがある。手動でピントを調整する。	61
	● レンズやハイスピードAFセンサーが汚れているのでお手入れする。	248
被写体が横切るとき、被写体がゆがんで見える。	● 撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、本機の前を被写体が素早く横切ると、少しゆがんで見えることがある。故障ではない。	—
動画の「●撮影／■撮影停止／▶再生」の切り換えに時間がかかる。	● シーン数が多いとこのようになることがある。動画と静止画をバックアップしてカードを初期化する。	39 152 156 160 163
動画や静止画を正しく記録できない。	● 記録や消去を繰り返すと、このようになることがある。動画と静止画をバックアップしてカードを初期化する。	39 152 156 160 163
動画撮影中、静止画を記録できない。	● CINEMA (シネマ) モードのときは静止画を記録できない。	—
長時間使うと熱くなる。	● 長時間使いつづけると熱くなることがあるが、そのまま使用しても問題ない。本機の温度が急激に上昇したり、持てないほど熱くなったときは故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。	266

再生中

こんなときは	どうするの？	📖
シーンの消去ができない。	● 他機で記録・編集したシーンは消去できないことがある。	—
シーンの消去に時間がかかる。	● シーン数が多いとこのようになることがある。動画と静止画をバックアップしてカードを初期化する。	39 152 156 160 163
シーンを分割できない。	● 他機で記録・編集したシーンは分割できない。 ● カードに空き容量がない。不要なシーンや静止画を消す。	— 135 149
シーンまたは静止画をコピーできない。	● 他機で記録したシーンや静止画はコピーできないことがある。	—
シーンまたは静止画を選択できない。	● シーンや静止画は、100個を超えて選択できない。「選択」ではなく、「全シーン」または「すべての静止画」を使う。	—

表示やランプ

こんなときは	どうするの？	📖
画面で🔴が赤く点灯する。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。	20
画面に🔴が出る。	● 本機と通信できないバッテリーが取り付けられているため、使用可能時間を表示できない。	—
🔴または🔴が赤く点灯する。	● カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、不要なシーンや静止画を消す。	36 39 135 149
🔴または🔴が赤く点灯する。	● カードエラー。電源を切り、カードを出し入れする。それでも赤く点灯しているときは、カードを初期化する。	135 149
撮影を中断してもACCESSランプが点灯している。	● 撮影したシーンをメモリーに書き込んでいる。故障ではない。	—
充電中にCHGランプが速く点滅する。 (0.5秒に1回の点滅)	● バッテリーの温度が使用温度(約0℃～40℃)の範囲外になったため充電を停止した。バッテリーを取り外し、温めるかまたは放置して使用温度の範囲内になってから、充電を行う。 ● 周囲の温度が約0℃～40℃のときに充電する。 ● バッテリーが故障しているので、別のバッテリーを使用する。 ● コンパクトパワーアダプター(ACアダプター)、バッテリーに異常があるため、充電が中止される。カメラ修理受付センターにご相談ください。	266

画面や音

こんなときは	どうするの？	📖
画面が暗い。	● 「有機ELパネル/VF明るさ」で明るさを調整する。	216
画面がついたり消えたりを繰り返す。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。 ● バッテリーを正しく取り付け直す。	20
画面に通常出ない文字が出たり、正常に動作しない。	● 電源を取り外し、しばらくしてから取り付ける。	12 20
画面にノイズが出る。	● プラズマテレビや携帯電話などから離して本機を使用する。	243
画面に横帯が出る。	● 撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、撮影時の照明によっては横帯が見えることがある。メニューの「フリッカー低減」を「 A オート」にするか、電源の周波数に応じたシャッタースピードを設定すると抑制できることがある。電源周波数が50Hzのときは1/100秒を、60Hzのときは1/60秒を選んでください。	80
ビューファインダーの画像がはっきりしない。	● 画像がはっきり見えるように視度調整レバーを動かす。	25
ビューファインダーに映像が出ない。	● ビューファインダーを引き出す。	25
音声記録されない	● Φ3.5mmマイク端子にマイクを取り付けているが、マイクのスイッチがOFFになっている。または、マイクの電池が切れている。 ● 音声レベルが正しく設定されていない。	—
音がひすんだり、実際より小さく記録される。	● マイクレベルを手動で調整する。	103
映像は出るが、内蔵スピーカーから音が出ない。	● スピーカーの音量が「切」になっているので、音量を調整する。 ● ステレオビデオケーブルをはずす。	133 —

■ アクセサリー

こんなときは	どうするの？	📖
カードが入らない。	● 正しい向きでカードを入れる。	36
カードに記録できない。	● カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、不要なシーンや静止画を消す。	36 135 149
	● はじめて使用するときは、カードを初期化する。	39
	● カードの誤消去防止ソマミがLOCK側になっているので、反対側にする。	36
	● 動画を記録する場合は、対応しているカードを確認する。	35
	● MP4形式の動画や静止画に割り当てられるファイル番号が最大になったため、カードに記録できない。新しいカードを入れて、メニューの「ファイル番号」を「オートリセット」にする。	213
リモコンが動作しない。	● メニューの「リモコンセンサー」を「入」にする。	216
	● リモコンの電池を交換する。	28

■ 他機

こんなときは	どうするの？	📖
テレビの放送画面にノイズが出る。	● テレビの近くで使用するときは、テレビやアンテナケーブルからコンパクトパワーアダプター（ACアダプター）を離す。	—
再生しても、テレビに映像が出ない。	● テレビの設定を、接続した端子に切り換える。	—
ハイスピードHDMIケーブルで接続しているとき、テレビに映像や音が出ない。	● ハイスピードHDMIケーブル（付属）を抜き差しするか、本機の電源を入れ直す。 ● 「HDMI出力」で A （オート）以外を設定しているとき、接続したモニターが、設定した出力信号形式に対応していない。対応する出力信号形式に設定する、または A （オート）にする。	140
正しく接続しているのにパソコンから本機が認識されない。	● 接続ケーブルを抜き差しし、本機の電源を入れ直す。 ● パソコンの別のUSB端子につなぐ。	—
静止画をパソコンに取り込めない。	● カードに2500枚以上（Windows）/1000枚以上（Mac OS）の静止画があると、パソコンに取り込めないことがある。 ● カードリーダーなどを使って取り込む。	—

Wi-Fi 接続

お使いのアクセスポイント（無線親機）の説明書も合わせてご覧ください。

こんなときは	どうするの？	📖
アクセスポイント（無線親機）に接続できない。	● アクセスポイントが正常に起動しているか確認する。	—
	● 電波状況によっては通信可能な距離が短くなることがある。本機とアクセスポイントの距離を近づける。	—
	● コードレス電話機、電子レンジ、冷蔵庫などからの電波と干渉することがある。これらの機器から離れた場所で操作する。	244
	● Wi-Fi 設定をするとき、アクセスポイントでステルス機能を有効にしていると、アクセスポイントを検出できない。「手動設定」で接続するか、アクセスポイントのステルス機能を無効にする。	197
動画がパソコンなどからスムーズに再生されない	● 接続しているアクセスポイントの性能や設定、通信状態によっては、動画がスムーズに再生されないことがある。	—
	● パソコンとアクセスポイントは、LANケーブルを使用して有線で接続する。	—
	● 本機とアクセスポイントの間に障害物を置かない。	—
	● 本機とアクセスポイントを近づける。	—
	● 接続しているパソコンなど以外のWi-Fi機器、Bluetooth機器などの通信を切る。	183
	● 無線親機（アクセスポイント）の通信を、IEEE802.11 nに切り換える。	—
ファイル転送中にWi-Fi通信が切れた。	● 上記の設定を行っても、機器や環境によっては、スムーズに再生されないことがある。その場合は、付属のハイスピードHDMIケーブルをテレビに接続して再生する。	—
	● ファイル転送中にWi-Fi通信が切れると、転送先に不要なファイルが残ることがある。	—
	● ファイル転送が中断したときは、「未転送ファイル」を選び、あらためて転送の操作を行う。新しいファイルとして転送される。	—
	● 転送先に不要なファイルが残っている場合は、十分に内容を確認してから、削除する。	—
本機にWi-Fi接続できない	● メニューの「設定初期化」を行うと、本機のSSIDが初期設定になり、パスワードが「未設定」となるのでパスワードを再設定する。Wi-Fi機器で以前のネットワーク設定を削除したあと、本機に接続する。	172

メッセージが出たら？

本機の画面にメッセージが出たときは、次のような対処をしてください。Wi-Fi機能使用時／Wi-Fi機能のWebサービス使用時のメッセージについては188ページをご覧ください。

メッセージ	どうするの？	📖
23.98Pと29.97P(59.94iと23.98P)(PF29.97と23.98P)のシーンは結合変換できません	● 「23.98P」と「29.97P」、「59.94i」と「23.98P」、「PF29.97」と「23.98P」のシーンは結合してMP4変換できない。結合を解除してMP4変換する。	160
59.94Pのシーンは変換できません	● 59.94Pのシーンは変換できない。	160
空き容量が不足しています	<ul style="list-style-type: none"> ● カードの不要なシーンや静止画を消去する。 ● 「録画モード」がAVCHDの場合は「5 Mbps」、MP4の場合は「3 Mbps」に設定する。 ● カードの空き容量がコピーするデータ量より小さい。カードの不要なシーンを消すか、コピーするシーンを減らす。 	135 149 52 156
カードカバーがあいています	● カードを入れたらカードカバーを閉じる。	36
カードがありません	● カードを本機に入れる。	36
カードがいっぱいです	● カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、不要なシーンや静止画を消す。	36 135 149
カードシーン数がいっぱいです	● カードにAVCHD形式の動画が3999シーン記録されているため、動画のコピーができない。カードの不要なシーンを消す。	135
カードテレビ方式が異なります 認識できません	● カードに記録されている動画のテレビ方式が異なるため再生できない。	
カードにアクセス中です カードを取り出さない でください	● カードにアクセスしているときに、カードカバーを開けた。またはカードカバーを開けたときにアクセスし始めた。メッセージが消えるまでカードを絶対に抜かない。	—
カードA(B)に書き込み エラーがあります データの修復を試み ますか？ 最大約3分かかります	● 記録中に電源がはずれた後、電源を入れた。撮影データを修復するときは「修復する」を選ぶ。他機で記録したカードを入れたときは「いいえ」を選ぶことを推奨します。	—
カードの誤消去防止ツマミを確認してください	● カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているため、カードに書き込めない。誤消去防止ツマミを反対側にする。	36
カードの修復が必要です カードの誤消去防止ツマミを解除してください	● カードに記録中に電源が切れた後、カードの誤消去防止ツマミをLOCK側にした。誤消去防止ツマミを反対側にする。	36

メッセージ	どうするの？	📖
カードへの書き込みが間に合わないため記録を中止しました	<ul style="list-style-type: none"> ● カードの書き込み速度が遅いため、記録を中止した。SDスピードクラス4、6または10のカードを使用する。 * 録画モードを「28 Mbps LPCM (59.94P)」や「28 Mbps (59.94P)」[35 Mbps (59.94P)]に設定時はSDスピードクラス6、10のカードを使用する。 ● 「Slow & Fastモーション」記録設定時は、クラス10のカードを使用する。 ● 撮影や編集を繰り返しているカードでは、データの書き込み速度が低下して、記録が停止することがある。本機でカードを初期化してから使用する。 	35 39
カードを確認してください	<ul style="list-style-type: none"> ● カードにアクセスできない。カードが正しく入っているか、カードに不具合がないか確認する。 ● カードにエラーがあり、記録や再生ができない。カードを出し入れするか、別のカードと入れ換える。 ● マルチメディアカードを入れた。推奨のカードを入れる。 ● 「カードを確認してください」が4秒後に消えて[A]または[B]が赤く点灯するときは、電源を切り、カードを出し入れする。[A]または[B]が緑色に点灯すれば、そのまま記録や再生ができる。それでも赤く点灯しているときは、動画と静止画をバックアップして初期化する。 	36 — 35 36 39 152 156 160 163
画像がありません	<ul style="list-style-type: none"> ● 静止画を撮影する。 	44
記録できません カードを確認してください	<ul style="list-style-type: none"> ● カードに異常があるため、記録できない。 ● カードを完全初期化する。それでも解決しない場合は、別のカードと入れ換える。 	39
このカードでは動画記録できないことがあります	<ul style="list-style-type: none"> ● SDスピードクラスに対応していないカードまたはスピードクラス2のカードを入れた。SDスピードクラス4、6または10のカードを使用する。 	35
このカードでは録画モード「59.94P記録モード」以外を推奨します	<ul style="list-style-type: none"> ● SDスピードクラス4のカードには、録画モードを「28 Mbps LPCM (59.94P)」、「28 Mbps (59.94P)」または「35 Mbps (59.94P)」にすると動画が正しく記録できないことがある。 	—
このカードは動画記録できません	<ul style="list-style-type: none"> ● 64 MB以下のカードは動画の記録ができない。推奨のカードを入れる。 	35
このシーンは変換できません	<ul style="list-style-type: none"> ● 動画のテレビ方式が異なるため変換できない。 ● 他機で記録したり、パソコンで作成や加工をしたりした動画を変換できない。 ● 4MbpsのMP4は4Mbpsまたは3Mbpsにしか変換できない。 ● 3MbpsのMP4は3Mbpsにしか変換できない。 	160
再生できない画像です	<ul style="list-style-type: none"> ● 他機で記録したり、パソコンで作成や加工をしたりした静止画は再生できないことがある。 	—
再生できません	<ul style="list-style-type: none"> ● 64 MB以下のカードは動画の再生ができない。推奨のカードを入れる。 	266

メッセージ	どうするの？	📖
再生できません カードを確認してください	<ul style="list-style-type: none"> ● カードに異常があるため、再生できない。 ● カードを完全初期化する。それでも解決しない場合は、別のカードと入れ換える。 	39
再生できません 本機で初期化してお使いください	<ul style="list-style-type: none"> ● パソコンで初期化されたカードを入れた。本機で初期化する。 	39
使用するにはカメラ モードをマニュアルま たはシネマに切り換え てください	<ul style="list-style-type: none"> ● AUTO (オート)モードでは使用できないCUSTOMダイヤル&ボタンまたはアサインボタンを操作した。M (マニュアル)モードまたはCINEMA (シネマ)モードに切り換えて操作する。 	122 125
シーンがありません	<ul style="list-style-type: none"> ● 動画を撮影していないならば、撮影する。 	44
シーン数がいっぱいです	<ul style="list-style-type: none"> ● AVCHD形式の動画が記録可能なシーン数 (3999シーン)に達した。不要なシーンを消す。 	135
消去ができないシーン がありました	<ul style="list-style-type: none"> ● 他機でプロテクトや編集したシーンは消去できない。 	—
処理中です 電源をはずさないでく ださい	<ul style="list-style-type: none"> ● カードに書き込んでいる。書き込みが終わるまで、そのまま待つ。 	—
静止画像が多すぎます USBケーブルを抜いて ください	<ul style="list-style-type: none"> ● カードに記録されている静止画が多すぎる。USBケーブルを抜き、カードにコピーしたあと、カードリーダーなどを使用して静止画をパソコンに移動する。または総数が以下になるように消す (Windows : 2500枚未満。Mac OS : 1000枚未満)。その後、USBケーブルを接続し直す。 ● OSの設定によってはパソコンのモニターにメッセージが出ることがある。メッセージを閉じてからUSBケーブルを接続し直す。 	—
テレビ方式が異なります 認識できません	<ul style="list-style-type: none"> ● テレビ方式が異なる映像を本機に書き戻した。 ● テレビ方式が異なる映像は本機で認識できない 	
データを修復できません でした	<ul style="list-style-type: none"> ● 壊れたデータを修復できない。動画と静止画をバックアップして、カードを初期化する。 	39 152 156 160 163
動画／静止画データの バックアップは定期的 に行ってください	<ul style="list-style-type: none"> ● 万一の故障やデータ破損に備えて、撮影したデータを定期的にバックアップする。 	152 156 160 163
トリミングできません	<ul style="list-style-type: none"> ● MP4撮影時に使用したカードのクラスタサイズより大きなクラスタサイズのカードにコピーしたシーンはトリミングできない。 ● 他機で記録したり、コピーしたりしたシーンはトリミングできない。 	138

メッセージ	どうするの？	📖
USB接続 電源ははずさないでください パソコンで安全な取り外しをするまではUSBケーブルをぬかないでください	● 動画再生時、本機をUSBケーブルでパソコンに接続しているときは、本機の操作はできない。カードのデータが破損しないよう、パソコンで安全な取り外しのための操作を行った後、USBケーブルや電源をはずしたり、本機を操作する。	—
バッテリーと通信できません このバッテリーを使用しますか？	● キヤノンの推奨以外のバッテリーを取り付けて、電源を入れた。 ● キヤノン推奨のバッテリーを使用している場合は、ビデオカメラまたはバッテリーの故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。	266
バッテリーパックを充電してください	● バッテリーが消耗している。バッテリーを充電する。	20
非対応バッテリーです 電源を切ります	● キヤノンの推奨以外のバッテリーを取り付けて、電源を入れた。4秒後に自動的に電源が切れる。	
ファイル名が作成できません	● フォルダー番号やファイル番号が最大になった。MP4形式の動画と静止画をバックアップしてから、「オートリセット」してカードを初期化するか、MP4形式の動画と静止画をすべて消す。	39 135 149 213
分割できません	● 本機の動画管理情報がいっぱいになったため、分割できない。不要な動画と静止画を消して、再度分割を行う。	39 135 149
分割できません 初期化が必要です	● 他機で記録したシーンはコピー、分割できない。	—
本機で記録したシーンではありません コピーできません (分割できません)	● 他機で記録したシーンが含まれた動画はコピーできない。	—
本機で記録したシーンではないためコピーできないシーンがあります		
本機で初期化してお使いください	● カードを本機で初期化する。	39

■ Wi-Fi 機能使用時

お使いのアクセスポイント（無線親機）の説明書も合わせてご覧ください。


こんなときは	どうするの？	📖
アクセスポイントが見つかりませんでした	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機に記憶されているアクセスポイントが見つからなかった。 ● コードレス電話機、電子レンジ、冷蔵庫などからの電波と干渉することがある。これらの機器から離れた場所で本機を操作する。 ● アクセスポイントのSSIDを確認して、同じSSIDを本機に設定する。 ● MACアドレスでフィルタリングしているときは、同じMACアドレスをアクセスポイントに登録する。 	<p>—</p> <p>244</p> <p>196</p> <p>199</p>
カードカバーがあいています	<ul style="list-style-type: none"> ● カードにアクセス中にカードカバーが開けられた。Wi-Fi機能を中止し、Wi-Fi接続を切断する。 	—
接続できませんでした	<ul style="list-style-type: none"> ● コードレス電話機、電子レンジ、冷蔵庫などからの電波と干渉することがある。これらの機器から離れた場所で本機を操作する。 	244
設定情報にアクセスできませんでした	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機の電源を入れ直す。それでも解決しない場合は、お客様相談センターにご相談ください。 	—
複数のアクセスポイントが検出されました もう一度操作してください	<ul style="list-style-type: none"> ● 他のWi-Fi機器がWPSのプッシュボタン方式で接続を行っている。しばらくしてから操作するか、「WPS：PINコード」または「アクセスポイント検索」で接続する。 	195
無線機能が正しく動作していません	<ul style="list-style-type: none"> ● コードレス電話機、電子レンジ、冷蔵庫などからの電波と干渉することがある。これらの機器から離れた場所で本機を操作する。 ● 本機とアクセスポイントの電源を入れ直して、再度、Wi-Fi設定を行う。それでも解決しない場合は、お客様相談センターにご相談ください。 	<p>244</p> <p>194</p>
ワイヤレスマイクロホン 接続中はWi-Fiを使用できません	<ul style="list-style-type: none"> ● ワイヤレスマイクロホンWM-V1(別売)とWi-Fi機能は同時に使用できない。MIC端子からマイクを抜く。 	—
IPアドレスが重複しています	<ul style="list-style-type: none"> ● 同じネットワークに接続している機器とIPアドレスが重複しないよう、本機のIPアドレスを変更する。または、重複している他の機器のIPアドレスを変更する。 	197

こんなときは	どうするの？	📖
IP アドレスを取得できませんでした	● DHCP サーバーを使用していないときは、Wi-Fi接続を「手動設定」で行い、IPアドレスを「マニュアル」で設定する。	197
	● DHCP サーバーを確認する。 ・ DHCP サーバーは、電源が入っていて正常に動作しているか。 ・ DHCP サーバーに割り当てられるアドレスに余裕はあるか。	—
	● DNS サーバーを使用していないときは、DNS アドレスを「0.0.0.0」に設定する。	198
	● 使用するDNS サーバーと同じIP アドレスを本機に設定する。	197
	● DNS サーバーを確認する。 ・ DNS サーバーは、電源が入っていて正常に動作しているか。 ・ DNS サーバーにIP アドレスと、そのアドレスに対応する名前が正しく設定されているか。	—
	● ゲートウェイ機能を持つアクセスポイントを使用しているときは、本機を含むすべてのネットワーク機器に、正しいゲートウェイアドレスを設定する。	198
Wi-Fi の暗号化キーが違います	● アルファベットの大きい文字／小さい文字を確認して、正しい暗号化キー（パスワード）を入力する。	197
Wi-Fi の暗号方式が違います	● 本機とアクセスポイントは同じ認証／暗号化方式で設定する。	197
	● MAC アドレスでフィルタリングしているときは、同じMAC アドレスをアクセスポイントに登録する。	199
Wi-Fiの接続が切れました	● コードレス電話機、電子レンジ、冷蔵庫などからの電波と干渉することがある。これらの機器から離れた場所で本機を操作する。	244
	● Wi-Fi 機器にほかからのアクセスが集中している場合など、接続できない状態になっている。しばらくしてから接続する。	—
Wi-Fi の認証ができませんでした	● 本機とアクセスポイントは同じ認証／暗号化方式、暗号化キー（パスワード）で設定する。	197
	● MAC アドレスでフィルタリングしているときは、同じMAC アドレスをアクセスポイントに登録する。	199
	● 本機とアクセスポイントの設定を確認する。	199
Wi-Fi の認証方式が違います	● 本機とアクセスポイントは同じ認証／暗号化方式、暗号化キー（パスワード）で設定する。	197
	● MAC アドレスでフィルタリングしているときは、同じMAC アドレスをアクセスポイントに登録する。	199
	● 本機と無線親機（アクセスポイント）の電源を入れ直して、設定し直す。それでも解決しないときは、「アクセスポイント検索」で接続する。	196

こんなときは	どうするの？	📖
WPS で接続できませんでした もう一度操作してください	<ul style="list-style-type: none"> ● 無線親機（アクセスポイント）の説明書で指示されている時間、WPS ボタンを押し続ける。 ● 無線親機（アクセスポイント）のWPS ボタンを長押ししてから2分以内に本機の「OK」をタッチする。 ● 無線親機（アクセスポイント）の設定画面でPIN コードを入力してから2分以内に本機の「OK」をタッチする。 	—
[Wi-Fi機器の画面] Another user is already controlling the camcorder. Try again later. [Retry]	● 複数のWi-Fi機器が本機に接続しようとした。本機に接続するWi-Fi機器を1台だけにして、「Retry」をタッチする。	—

■ Wi-Fi 機能のWebサービス使用時

メッセージ	どうするの？	📖
サーバーが混雑しています しばらくしてから実行してください	● CANON iIMAGE GATEWAYサーバーに接続が集中して、繋がりにくくなっている。本機のWi-Fi接続を切り、しばらくしてから接続する。	—
サーバーに接続できませんでした	● CANON iIMAGE GATEWAYサーバーに接続できなかった。本機を接続したアクセスポイントを、インターネットに接続する。	—
サーバーの空き容量が不足しています	● CANON iIMAGE GATEWAYサーバーに保存可能なデータ容量を超えた。不要なデータを消去して、あらためて保存する。	—
送信できない画像です	● Webサービスに対応していない形式や容量の映像を送信しようとした。映像の状態を確認してから送信する。	—
送信できる動画は○分* までです。	<ul style="list-style-type: none"> ● 送信する動画の時間（長さ）が、利用するWebサービスの規定を超えた。動画の時間を短くして送信し直す。 * 送信できる動画の時間（長さ）は、Webサービスによって異なります。 	—
パソコンと接続し本機に 対応のソフトウェアで設 定してください ただし、お使いの地域に よってはご利用できない ことがあります	● Webサービスを利用するには、CANON iIMAGE GATEWAYで設定した情報を、ビデオカメラに書き込む必要がある。CameraWindowをパソコンにインストールして、CANON iIMAGE GATEWAYで設定する。	188
もう一度実行して下さい	● CANON iIMAGE GATEWAYサーバーが一時的に停止しているか、またはサーバーとの通信に不具合が生じた。本機のWi-Fi接続をいったん切り、再接続する。再度同じエラーが出るときは、しばらくしてから再接続する。	—
ネットワーク設定を確認 してください	● 本機のネットワーク設定に誤りがある。接続先やSSIDなどの情報を確認する。	—

メッセージ	どうするの？	
パソコンと接続し本機に対応のソフトウェアで設定し直してください	<ul style="list-style-type: none"> ● CANON iIMAGE GATEWAYサーバーとの接続に不具合が生じた。CANON iIMAGE GATEWAYで設定した情報を確認して、ビデオカメラに書き込み直す。 	189

安全上の注意

お使いになる方だけでなく、他人への危害や損害を防ぐためにお守りください。

こんなときは

- 煙が出ている
- へんなにおいがする
- 落として壊した
- 内部に水や異物が入った



バッテリーを外して、電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると火災や感電の原因になりますので、カメラ修理受付センター（☎ 266）にお問い合わせください。

⚠ 警告 死亡や重傷を負う恐れがある内容です。

内部に異物を入れたり、端子部に金属類をショートさせない。

➤ 火災 感電 けが

雷が鳴っているときには電源プラグに触れない。➤ 感電

ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。➤ 感電

ぬらさない。➤ 火災 感電 やけど

降雨降雪時、海岸、水辺、湿度の高い場所などでの使用は特に気をつける。

液漏れしたバッテリーは使用しない。➤ 皮膚の傷害 失明 発火

液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流す。目に入ったときは、きれいな水で十分洗った後、すぐに医師に相談。

分解や改造をしない。➤ 発熱 感電 火災 けが

強い衝撃や振動を与えない。➤ 火災 やけど けが

ストラップ使用時は特に注意する。画面やレンズは割れるとけがの原因。

電源コードについて次のことを守る。➤ 火災 感電

- 傷つけない
- 加工しない
- 無理に曲げない
- 引っ張らない
- 熱器具に近付けない
- 加熱しない
- 重いものを載せない



禁止



禁止

バッテリーやコイン型リチウム電池を熱しない、火中投入しない。▶ やけど けが

バッテリー端子部に金属のキーホルダーやヘアピンなどを接触させない。▶ やけど けが
ショートして、高熱や液漏れの恐れあり。

充電中は長時間にわたる接触をしない。▶ 低温やけど

海外旅行者用の電子式変圧器や、航空機・船舶・DC/ACコンバーターなどの電源につながらない。表示された電源電圧や周波数以外では使用しない。▶ 火災 感電 けが

油煙・ほこり・砂などの多い場所や、風呂場など湿度の高い場所で使用・保管しない。

▶ 火災 感電 やけど

内部にほこりや水などが入る恐れあり。

直射日光下、ストーブ・照明器具のそばなど60℃以上になる高温の場所や、炎天下の密閉された車中に置かない。▶ 火災 やけど けが
発熱や破裂の恐れあり。

運転中に使用しない。▶ 交通事故

不安定な場所に置かない。▶ けが

落下、転倒の恐れあり。

乳幼児の手の届くところに置かない。▶ 感電 失明 けが

ふとんやクッションなどをかけたまま使用しない。▶ 火災

内部に熱がこもる恐れあり。

病院などの医療機関内、および医療用電気機器の近くで使用しない。▶ 事故

電波の影響で機器類が誤動作し、事故の原因となるおそれあり。

長時間、身体の同じ箇所に触れたまま使用しない。▶ 低温やけど

熱いと感じなくても、皮膚が赤くなったり、水ぶくれができたりするおそれあり。気温の高い場所で使用する場合は、血行の悪い方や皮膚感覚の弱い方などが使用する場合は、三脚などを使う。



強制

指定された機器を使う。▶ 火災 感電 けが

電源プラグやコンセントのほこりを、定期的に乾いた布で拭き取る。▶ 火災

電源プラグは根元まで確実に差し込む。▶ 火災 感電

コンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜く。▶ 火災 感電

使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。▶ 火災

撮影しているときは、周囲の状況に注意する。▶ けが 交通事故



注意 傷害、物的損害を負う恐れがある内容です。



禁止

コイン型リチウム電池を金属ピンセットなどでつかまない。

▶ やけど
発熱の恐れあり。



強制

コード類は、つまずかないように配置する。▶ けが
足を引っ掛けて転倒したり、製品が落下する恐れあり。

バッテリー、リストストラップ、ショルダーストラップ、グリップベルトなどは脱落しないように確実に取り付け。▶ けが

バッテリーやテレコンバーター、ワイドアタッチなどを取り外すときは、落とさないように気をつける。▶ けが

心臓ペースメーカーを装着している場合は、装着部位より22cm程度以上離して使用する。
電波により機器類の動作に影響をあたえるおそれあり。



注意

なるべくビデオカメラを固定して撮影する。
撮影時に不用意にビデオカメラを揺らしたり、素早いズームを多用したりすると、再生時に乗り物酔いのような症状を起こす恐れがあります。その場合はすぐに再生を中止し、休息を取って目を休めてください。

取り扱い上のご注意

ここでは本機やバッテリーとメモリーカードなどを取り扱うときに注意していただきたいことを説明しています。

■ ビデオカメラ本体

データはバックアップする

故障などに備えて、撮影した動画や静止画はパソコンやDVD、ビデオ機器などにバックアップしてください。データ消失については、当社では一切の責任を負いかねます。

ホコリなどの多い場所で使わない

ホコリ・砂・水・泥・塩分の多い場所で使用・保管しないでください。本機は防水・防じん構造になっていませんので、これらが内部に入ると故障の原因となります。

強い磁気の発生する場所では使わない

磁石、モーターの近くや電波塔の近くなど、強い磁気や電波が発生する場所での使用は避けてください。映像や音声が乱れたり、ノイズが入ったりすることがあります。

強い光源にレンズやビューファインダーを向けない

カメラを強い光源（晴天時の太陽や人工的な強い光源など）に向けないでください。撮像素子やビューファインダーなどの内部の部品が損傷する恐れがあります。

有機ELパネルの画面を...

つかんでもちあげない

→ 画面の接合部が破損することがあります。

無理に閉じない

→ 正しい位置に戻してから閉じないと破損することがあります。

ボールペンなど、とがったものでタッチしない

→ タッチパネルが破損することがあります。

強くタッチしない

→ タッチパネルの表示がムラになったり、画面の接合部が破損することがあります。

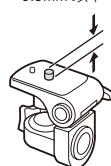
保護シートなどを貼らない

→ タッチパネルは静電容量方式のため、正しく動作しなくなることがあります。

ネジの長い三脚は使わない

取り付けネジの長さが6.5 mm以上の三脚を取り付けると、本体を破損することがあります。

6.5mm 以下



その他

Wi-Fi機能について

電波に関するご注意

- 本製品のうち、外国為替、および外国貿易法の規定により、戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。

電波干渉に関するご注意

- 航空機内で使用する場合は、乗務員の指示に従ってください。

■ バッテリー

端子はいつもきれいに

バッテリーと本体端子（充電器の端子）の間に異物が入り込まないようにしてください。接触不良、ショート、破損の原因となります。

正しく残量表示されない場合は

バッテリーをフル充電してください。ただし、バッテリーの使用回数が多いとき、フル充電後に放置したとき、高温下で長時間使ったときは、正しく表示されないことがあります。なお、表示は目安としてご使用ください。

インテリジェントシステム非対応のバッテリーについて

- インテリジェントシステム（□ 252）に対応していないバッテリーを本機やバッテリーチャージャー CG-800D（別売）に取り付けて、充電することはできません。
- インテリジェントシステムに対応していないバッテリーを本機に取り付けて使用した場合、バッテリー残量は表示されません。



POINT 使用時間を長くするコツ

こまめに電源を切り、10℃～30℃のところで使用すると、長く使えます。スキー場などでバッテリーが冷たくなると、一時的に使用時間が短くなりますので、ポケットなどに入れて温めてから使用すると効果的です。

長い間保管するとき

- バッテリーの消耗を防ぐため本体から取り外し、乾燥した30℃以下のところで保管してください。
- バッテリーの劣化を防ぐため、画面に「バッテリーバックを取り替えてください」が表示されるまで使い切ってから、保管してください。
- 1年に1回程度、充電完了まで充電してから使い切ってください。

■ カード

データはバックアップする

静電気、カードの故障などによるデータの損傷・消失に備えて、データはパソコンなどにバックアップしてください。なお、データ損傷および消失については、当社では一切の責任を負いかねます。

端子に触れない

汚れが付着し、接触不良の原因となります。

磁気に注意する

強い磁気が発生する場所で使わないでください。

高温・多湿の場所に放置しない

シールを貼らない

カード表面にシールなどを貼ると、シールが差し込み口につまる恐れがあります。

ていねいに扱う

落とす、めらす、強い衝撃を与えるなどしないでください。分解は絶対にしないでください。

■ 充電式内蔵電池

本機には充電式のリチウム電池が内蔵されており、日付などの設定を保持しています。この電池は本機を使用中、自動的に充電されますが、約3か月間使わないと完全に放電してしまいます。このときは次のようにして充電してください。

充電のしかた（所要時間：24時間）

- ① 電源を切る
- ② 本機にコンパクトパワーアダプター（ACアダプター）をつなぐ

■ その他のご注意

情報漏洩に注意（譲渡・廃棄するときは）

カードに記録されたデータは、消去や初期化をしても、ファイル管理情報が変更されるだけで、完全には消えません。

譲渡・廃棄するときは、データを復元できないように、一度カードの完全初期化（□ 39）を行った後、本機を箱などで覆って最後まで撮影し、再度完全初期化を行います。これによって、情報漏洩を防いでください。

結露について

室温が高いとき、冷水の入ったコップの表面に水滴がつくことがあります。この現象を結露といいます。本機が結露した場合、そのままの状態ですぐ故障の原因になりますので注意してください。なお、次のような条件のときに結露が発生しやすくなります。

- 寒い所から急に暖かい所に移動したとき
- 湿度の高い部屋の中
- 夏季、冷房のきいた部屋から急に温度や湿度の高い所に移動したとき

結露したらどうする？

周囲の環境によって多少異なりますが、水滴が消えるまで約2時間程度放置してください。

温度差のある場所へ移動するときは

バッテリーを取り外し、カードを取り出して、本機をビニール袋に空気がはいらないように入れて密閉します。移動先の温度になじんだら袋から取り出します。

■ コイン型リチウム電池（CR2025）

コイン型リチウム電池はリモコンに使用されます。捨てるときは、燃えないゴミとして処理してください（地域によって異なりますので指示に従ってください）。

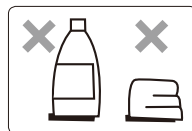
日常のお手入れ

大切なビデオカメラをより長くお使いいただくために、日常のお手入れには十分注意してください。

本体がよごれたときは

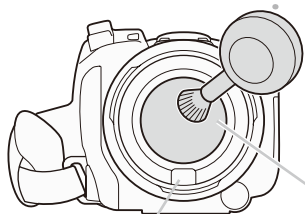
柔らかい布で拭いてください

- 乾いた布で軽く拭いてください。
- 化学ぞうきんやシンナーは表面を傷めますので使わないでください。



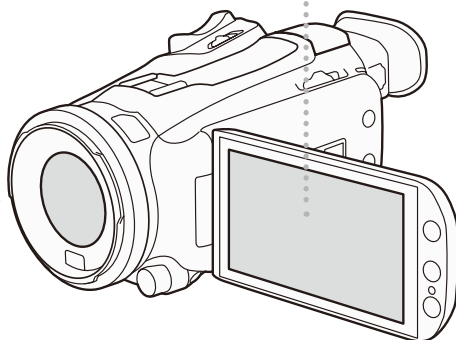
画面

市販の眼鏡クリーナー（布製）で拭きます。水滴が付着しているときは柔らかい布で拭き取ります。



ハイスピードAFセンサー

市販の眼鏡クリーナー（布製）で拭きます。



自動でピントが合わない？

レンズやハイスピードAFセンサーが汚れていると自動でピントが合わなくなることがあります。

レンズ／ビューファインダー

ブローでゴミやホコリを取ったら、市販の眼鏡クリーナー（布製）で拭きます。

海外で使う

海外で使用する時の便利機能やマメ知識です。

■ 充電する

海外でも付属のコンパクトパワーアダプター（ACアダプター）（AC100 ～ 240 V 50 / 60 Hzまでの電源に対応）を使ってそのまま充電できます。コンセントの形が異なる国では、変換プラグを使用してください。コンパクトパワーアダプター（ACアダプター）を変圧器に接続しないでください。故障する恐れがあります。

■ テレビで見る

本機は撮影した動画をNTSC方式で記録します。以下の国や地域ではNTSC方式を採用しているため、本機をテレビに接続するとそのまま映像を見ることができます。

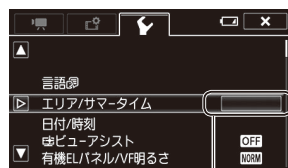
- | | | |
|-----------|-------------|----------|
| • アメリカ合衆国 | • コロンビア | • パナマ |
| • エクアドル | • ジャマイカ | • フィリピン |
| • エルサルバドル | • 台湾 | • プエルトリコ |
| • カナダ | • チリ | • ベネズエラ |
| • 大韓民国 | • ドミニカ | • ペルー |
| • キューバ | • トリニダードトバゴ | • ボリビア |
| • グアテマラ | • トンガ | • ミャンマー |
| • グアム | • ニカラグア | • メキシコ |
| • コスタリカ | • ハイチ | |

（NTSC方式を採用している国や地域 - NHK放送文化研究所発行「世界の放送2007」による -）

■ 旅行先の日時に合わせる

2つの地域の日時を登録できるため、海外旅行先の日時を設定しておくと、撮影した映像を現地時間で記録できます。

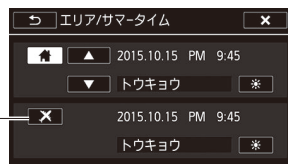
1. **MENU** (メニュー) → **📷** をタッチする。
2. 上下にドラッグして、「エリア/サマータイム」をオレンジ色のバーに合わせ、オレンジ色の枠をタッチする。
3. **✖** をタッチする。
4. **▲/▼** をタッチして、旅行先を選ぶ。



旅行先がサマータイムのとき

***** をタッチする。

5. **🔄** をタッチする。
6. 上下にドラッグして、「日付/時刻」をタッチする。
7. 「日付/時刻を合わせる」(📅 34)の操作2を行う。
8. **✖** をタッチする。



旅行から帰ってきたら

1. 上記の操作3で、**🏠** をタッチする。
2. **✖** をタッチする。

アクセサリ紹介

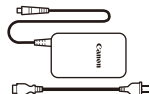
本機の付属品または別売品について紹介しています。



バッテリー
BP-820^{*1} / BP-828



バッテリー
チャージャー ^{*2}
CG-800D



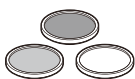
コンパクトパワー
アダプター
(ACアダプター) CA-570^{*1}



ワイドアタッチメント
WA-H58



テレコンバーター
TL-H58^{*3,*4}



PROTECTフィルター
58mm、
ND4Lフィルター 58mm、
ND8L フィルター 58mm



ハイスピード
HDMIケーブル
HTC-100/S^{*1} / HTC-100



ステレオビデオケーブル
STV-250N^{*1}



USBケーブル
IFC-300PCU/S^{*1} /
IFC-400PCU



ワイヤレスマイクロホン
WM-V1



サラウンドマイクロホン
SM-V1



指向性ステレオ
マイクロホン
DM-100



ビデオライト
VL-5



GPSレシーバー
GP-E2



ショルダーストラップ
SS-600/SS-650



リストストラップ
WS-20



ソフトキャリングケース
SC-2000

^{*1} 本機の付属品です。HTC-100/SとIFC-300PCU/Sは別売していません。

^{*2} 改正電気用品安全法の要求により、これ以外のバッテリーチャージャーは本機で使えません。

^{*3} 本機に付属のレンズフードと同時に使用できません。

^{*4} 本機に取り付けると、ピントの合う距離はズームのT端で約1.3 mとなります。



● ご注意

アクセサリはキヤノン純正品のご使用をおすすめします。

本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリと組み合わせて使用した場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリのご使用をおすすめいたします。なお、純正品以外のアクセサリの不具合（例えばバッテリーの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。



MEMO

インテリジェントリチウムイオンバッテリーについて

バッテリーパックBP-820/BP-828(別売)は、ビデオカメラと通信することにより、バッテリー残量を分単位で確認できるインテリジェントリチウムイオンバッテリーです。インテリジェントシステムに対応したビデオカメラかバッテリーチャージャー CG-800D (別売) でのみ使用／充電できます。



このマークは、キヤノンのビデオ関連商品の純正マークです。キヤノンのビデオ機器をお求めの際は、同じマークもしくはキヤノンビデオ関連商品をおすすめします。

主な仕様

iVIS HF G40

システム

カード記録	動画：	AVCHD規格 Ver.2.0準拠 映像：MPEG-4 AVC/H.264 音声：リニアPCM 2ch *1 / Dolby Digital 2ch、Dolby Digital 5.1ch *2 MP4準拠 映像：MPEG-4 AVC/H.264 音声：MPEG-2 AAC-LC (2ch)
	静止画：	DCF準拠、Exif Ver2.3準拠 画像タイプ：JPEG

*1 メニューの「録画モード」で「28 Mbps LPCM (59.94P)」または「24 Mbps LPCM」を設定しているとき。

*2 サラウンドマイクロホンSM-V1 (別売) 使用時。

信号方式	AVCHD、MP4	
記録メディア	SD / SDHC / SDXCメモリーカード (2スロット)	
記録時間	16GB SDカード AVCHD (28 Mbps LPCM (59.94P)、28 Mbps (59.94P)、24 Mbps LPCM、24 Mbps、17 Mbps、5 Mbps) : 1時間15分、1時間15分、1時間25分、1時間25分、2時間05分、6時間05分 MP4 (35 Mbps (59.94P)、24 Mbps、17 Mbps、8 Mbps (59.94P)、4 Mbps、3 Mbps) : 1時間、1時間25分、2時間05分、4時間20分、8時間40分、11時間25分	
	32GB SDカード AVCHD (28 Mbps LPCM (59.94P)、28 Mbps (59.94P)、24 Mbps LPCM、24 Mbps、17 Mbps、5 Mbps) : 2時間30分、2時間30分、2時間55分、2時間55分、4時間10分、12時間15分 MP4 (35 Mbps (59.94P)、24 Mbps、17 Mbps、8 Mbps (59.94P)、4 Mbps、3 Mbps) : 2時間、2時間55分、4時間10分、8時間40分、17時間20分、22時間55分	
撮像素子	1/2.84型、CMOS、総画素数 有効画素	約309万画素 約291万画素
パネル	有機ELパネル (3.5型、約123万ドット相当、視野率100%)、タッチパネル	
ビューファインダー	0.24型ワイドカラー液晶 (約156万ドット相当、視野率100%)	
マイク	ステレオエレクトレットコンデンサーマイク	
レンズ	f=3.67 – 73.4 mm F=1.8 – 2.8 光学20倍ズーム 8枚羽根円形絞り	
	35 mmフィルム換算時の焦点距離	
	● 約28.8 – 576 mm (手ブレ補正、ダイナミック設定時) ● 約26.8 – 576 mm (手ブレ補正、ダイナミック設定時以外)	
レンズ構成	10群12枚、非球面2面使用	

焦点調整	TTL自動焦点 (TTL+外部測距：ハイスピードAF、ミディアムスピードAF選択時)、マニュアル調整可
フィルター径	58 mm
最短撮影距離	ワイド端1 cm、ズーム全域60 cm
ホワイトバランス	オート、太陽光、日陰、くもり、蛍光灯、蛍光灯H、電球、色温度、セット1 / セット2(白取り込み)
最低被写体照度	0.1ルクス (ローライト (シーンモード)、シャッタースピード1/2秒時) 1.2ルクス (P(プログラムAE)モード (オートスローシャッターオン)、シャッタースピード1/30秒時)
推奨被写体照度	100ルクス以上
手ブレ補正機能	光学式
動画サイズ	AVCHD 1920 x 1080 : 28 Mbps、24 Mbps、17 Mbps 1440 x 1080 : 5 Mbps MP4 1920 x 1080 : 35 Mbps、24 Mbps、17 Mbps 1280 x 720 : 8 Mbps、4 Mbps 640 x 360 : 3 Mbps
静止画サイズ	1920 x 1080 : AVCHD/MP4(35 Mbps / 24 Mbps / 17 Mbps)記録時 1280 x 720 : MP4(8 Mbps / 4 Mbps)記録時 640 x 360 : MP4(3 Mbps)記録時 1920 x 1080 : あとからフォト

入・出力端子

HDMI OUT端子	HDMIミニコネクタ、出力のみ
USB端子	mini-B Receptacle、Hi-Speed USB (出力のみ)
映像／音声出力端子 (AV OUT端子)	Φ3.5 mm4極ミニジャック、1 Vp-p / 75 Ω －10 dBv(47 kΩ負荷時) / 3 kΩ以下
MIC端子	Φ3.5mm ステレオミニジャック (不平衡)、 －65dBV(ボリュームオート、フルスケール－12dB) / 5KΩ 以上 Att : 20dB
ヘッドホン端子	Φ3.5mmステレオミニジャック －29dBV(16Ω負荷、ボリューム最大) / 100 Ω
REMOTE端子	Φ2.5mm ステレオミニジャック (入力のみ)

電源その他	
電源電圧	DC7.4 V(バッテリーパック)、DC8.4 V(DC IN)
消費電力 (17 Mbps、AF合焦、明るさ 「通常」時)	有機ELパネルのみ使用時： 約4.3W ビューファインダーのみ使用時： 約4.4W
動作温度	約0℃～+40℃
外形寸法(幅×高さ×奥行き)	約109×84×182 mm (レンズフード、グリップベルト含まず) 約115×84×231 mm (レンズフード含み、グリップベルト含まず)
撮影時総質量	約900g(レンズフード、BP-820、メモリーカード(1枚)含む)
本体質量	約765g(グリップベルト含む)

■ 付属品

コンパクトパワーアダプター (ACアダプター) CA-570

電源	AC 100 V-240 V、50 / 60 Hz
出力／消費電力	公称DC8.4 V、1.5 A/29 VA(100 V) ～ 39 VA(240 V)
使用温度	約0℃～+40℃
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	約52×29×90 mm
本体質量	約135 g

バッテリーパック BP-820

使用電池	リチウムイオン (インテリジェントリチウムイオンバッテリー)
使用温度	約0℃～+40℃
公称電圧	DC7.4 V
公称容量	1780 mAh
定格 (最小) 容量	13 Wh / 1700 mAh
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	約30.7×39.4×40.2 mm
質量	約85g

■ バッテリーの充電時間／使用時間の目安

付属のバッテリー BP-820と別売のBP-828をフル充電したときの使用時間の目安は、次のとおりです。

AVCHD形式

録画モード	使用時間	使用画面	BP-820	BP-828
28 Mbps LPCM (59.94P) / 28 Mbps (59.94P)	連続撮影時間	有機ELパネル	2時間30分	3時間45分
		ビューファインダー	2時間35分	3時間50分
	実撮影時間	有機ELパネル	1時間30分	2時間20分
		ビューファインダー	1時間30分	2時間20分
24 Mbps LPCM / 24 Mbps	再生時間	有機ELパネル	4時間20分	6時間35分
		ビューファインダー	4時間20分	6時間35分
	連続撮影時間	有機ELパネル	2時間50分	4時間10分
		ビューファインダー	2時間45分	4時間5分
17 Mbps	実撮影時間	有機ELパネル	1時間40分	2時間30分
		ビューファインダー	1時間40分	2時間30分
	再生時間	有機ELパネル	4時間35分	6時間50分
		ビューファインダー	4時間35分	6時間50分
5 Mbps	連続撮影時間	有機ELパネル	2時間50分	4時間20分
		ビューファインダー	2時間50分	4時間20分
	実撮影時間	有機ELパネル	1時間40分	2時間35分
		ビューファインダー	1時間40分	2時間35分
	再生時間	有機ELパネル	4時間40分	6時間55分

MP4形式

録画モード	使用時間	使用画面	BP-820	BP-828
35 Mbps (59.94P)	連続撮影時間	有機ELパネル	2時間35分	3時間50分
		ビューファインダー	2時間30分	3時間45分
	実撮影時間	有機ELパネル	1時間30分	2時間20分
		ビューファインダー	1時間30分	2時間20分
	再生時間	有機ELパネル	4時間20分	6時間35分
24 Mbps	連続撮影時間	有機ELパネル	3時間0分	4時間35分
		ビューファインダー	2時間55分	4時間30分
	実撮影時間	有機ELパネル	1時間45分	2時間40分
		ビューファインダー	1時間45分	2時間40分
	再生時間	有機ELパネル	4時間40分	6時間55分
17 Mbps	連続撮影時間	有機ELパネル	3時間0分	4時間35分
		ビューファインダー	3時間0分	4時間35分
	実撮影時間	有機ELパネル	1時間45分	2時間45分
		ビューファインダー	1時間45分	2時間40分
	再生時間	有機ELパネル	4時間40分	6時間55分
8 Mbps (59.94P)	連続撮影時間	有機ELパネル	2時間45分	4時間10分
		ビューファインダー	2時間45分	4時間10分
	実撮影時間	有機ELパネル	1時間40分	2時間35分
		ビューファインダー	1時間40分	2時間30分
	再生時間	有機ELパネル	4時間35分	6時間55分
4 Mbps	連続撮影時間	有機ELパネル	3時間10分	4時間50分
		ビューファインダー	3時間5分	4時間45分
	実撮影時間	有機ELパネル	1時間50分	2時間50分
		ビューファインダー	1時間50分	2時間45分
	再生時間	有機ELパネル	4時間50分	7時間30分
3 Mbps	連続撮影時間	有機ELパネル	3時間10分	4時間55分
		ビューファインダー	3時間10分	4時間55分
	実撮影時間	有機ELパネル	1時間50分	2時間50分
		ビューファインダー	1時間50分	2時間50分
	再生時間	有機ELパネル	5時間0分	7時間35分

* 実撮影時間とは撮影、撮影停止、電源の入／切、ズームなどの操作を繰り返したときの撮影時間です。

* 画面を明るくしていると、バッテリー使用時間が少し短くなることがあります。

* 低温下で使用すると、使用時間が短くなります。

バッテリーは予定撮影時間の2～3倍分をご用意ください

ビデオカメラの消費電力はズームなどの操作によって変化します。そのため、上記の使用時間より短くなることがあります。

■ Full HD 1080iについて

Full HD 1080とは垂直画素（走査線）数1080画素（本）のHD（High Definition）映像に対応しているキヤノン製ビデオカメラを示しています。



「HF G40」は、DCFに準拠しています。DCFは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で主として、デジタルカメラ等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。

「HF G40」は、Exif 2.3（愛称「Exif Print」）に対応しています。ExifPrintは、ビデオカメラとプリンターの連携を強化した規格です。ExifPrint対応のプリンターで印刷することで、撮影時のカメラ情報を生かし、それを最適化して、よりきれいな印刷出力が得られます。

索引

ア

アサインボタン	125
あとからフォト	134
アフターサービス	265
安全上のご注意	240
インデックス画面	131
打上げ花火 (シーンモード)	89
エリア	250
オーディオシーン	101
オートスローシャッター	209
おしらせ音	216
お手入れ	248
音量	
: 再生時	133
: 撮影時	103

カ

カードを入れる	36
海外で使う	249
画質	52
カメラモード切り換えスイッチ	15, 31
画面の見かた	220
カラーバー & テストトーン	114
強制逆光補正	85
記録先	41
グリップズーム	70
グリップベルト	26
結露	247
高輝度優先 (ルック)	91
こだわりオート	47
コピー	
: 静止画	157
: 動画	156
コンパクトパワーアダプター	10, 20

サ

サイズ (静止画)	50
再生する	
: 静止画	146
: 動画	132
撮影する	
: 静止画	46
: 動画	45
撮影モード	80, 89
サマータイム	250
三脚	29, 243
シーンモード	89
シーンを消す	135
シーンを分割する	137
自動逆光補正	207
シネマルックフィルター	59
しぼり	80
シャッタースピード	80
充電	20
ジョイスティック	33
消去する	
: 静止画	149
: 動画	135
初期化する	39
ショルダーストラップ	27
シリアル番号 (機番)	14
ズーム	69
ズームスピードレベル	70
ストラップ	27
スノー (シーンモード)	89
スポーツ (シーンモード)	89
スポットライト (シーンモード)	89
ゼブラパターン	86

タ

タイムコード	93
タッチ (操作)	32
タッチパネル	32
データコード	118, 211
デジタルテレコン	76
手ブレ補正	77
テレビタイプ	211
動画形式	40
同時記録	55
ドラッグ (操作)	32
トラブルシューティング	226
取り扱い上のご注意	243
トリミング	138

ナ

内蔵マイク	15
-------	----

ハ

ハイスピードAF	65
ハイスピードズーム	72
ハイライトAE	84
バッテリーの残量表示	23
バッテリーの使用時間 (目安)	257
パワードIS	78
ピーキング	63
ビーチ (シーンモード)	89
ピクチャー設定	91
日付・時刻	34
ビデオスナップ	116
ビューファインダー	25
ファイル番号	213
フェイスオンリー AF	68
フェイスキャッチ&追尾	67
フォーカスアシスト	209

フォーカス/ズームリング	12, 61, 69
フォーカス (ピント合わせ)	61
フォーカスプリセット	62
ブラウザープレビュー	179
ブラウザーリモート	172
フリッカー低減	209
ブレREC	117
フレームレート	56
ヘッドホン	112
ポートレート (シーンモード)	89
ホワイトバランス	87

マ

マーカー	210
マニュアルフォーカス	61
マニュアル露出	82
マルチシーンIS	48
メッセージ	232
メディアサーバー	183
メニュー一覧	207
メニューを設定する	37

ヤ

夜景 (シーンモード)	89
有機ELパネル	14, 26
ユーザービット	95
夕焼け (シーンモード)	89

ラ

リモコン	17, 28
リレー記録	55
ルック	91
レックレビュー	51
レベルメーター	104
レンズフード	24
ローライト (シーンモード)	89
録画モード	52
露出	83

その他

AGCリミット	79
AUTO(オート)モード	31
AV OUT端子	142
Av(絞り優先AE)	80
CAMERAモード	30
CANON iMAGE GATEWAY	188
CINEMA(シネマ)モード	31
CUSTOMダイヤル&ボタン	122
FTP転送	185, 188
FUNC.ボタン	33
FUNC.メニュー	204
HDMI OUT端子	141
ID-1方式	142
MEDIAモード	30
Movie Uploader	181
MP4変換	160
M(マニュアル)モード	31
NDフィルター	209
P(プログラムAE)	80
SD / SDHC / SDXCメモリーカード	35
Slow & Fastモーション	57
Tv(シャッター優先AE)	80
Wide DR(ルック)	91
Wi-Fi	168
WPS	195
⌚(ヘッドホン)端子	112

商標について

- SD、SDHC、SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Microsoft、Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Mac OS、App Store、iTunes、iPhone、iPad、iPod touchは、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- "AVCHD"、"AVCHD Progressive"、および"AVCHD Progressive" ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- DCFロゴマークは、(社) 電子情報技術産業協会 (JEITA) の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- Google、Android、Google Play、YouTube は、Google Inc. の商標です。
- FacebookおよびfロゴはFacebook Inc.の商標です。
- iOSは、米国およびその他の国における Cisco社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。
- Wi-Fi CERTIFIED、WPA、WPA2とWi-Fi CERTIFIEDロゴは、Wi-Fi Allianceの商標です。
- ビデオカメラの設定画面と本書内で使用されている「WPS」は、Wi-Fi Protected Setupを意味しています。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、キャノンはこれら商標を使用する許可を受けています。
- JavaScriptは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。



本機器は、MicrosoftからライセンスされたexFAT技術を搭載しています。

MPEG-4使用許諾について

This product is licensed under AT&T patents for the MPEG-4 standard and may be used for encoding MPEG-4 compliant video and/or decoding MPEG-4 compliant video that was encoded only (1) for a personal and non-commercial purpose or (2) by a video provider licensed under the AT&T patents to provide MPEG-4 compliant video. No license is granted or implied for any other use for MPEG-4 standard.

保証書と修理対応

本機の保証は日本国内を対象としています。万一、海外で故障した場合の現地での修理対応はご容赦ください。

■ 保証書

本体には保証書が添付されています。必要事項が記入されていることをお確かめのうえ、大切に保管してください。

■ 修理対応

製品の保証について

- 使用説明書、本体注意ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間中に本製品が万一故障した場合は、保証書を製品に添付のうえ当該保証期間内に弊社修理受付窓口までご持参あるいはお送りいただければ、無料で修理いたします。この場合の交通費、送料および諸掛かりはお客様のご負担となります。なお、出張修理をご希望される場合は、別途出張費用を申し受けます。修理受付窓口については、カメラ修理受付センター（☎ 266）にお問い合わせ頂くか、弊社ホームページでご確認ください。
- 保証期間内でも保証の対象にならない場合もあります。詳しくは保証書に記載されている保証内容をご覧ください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。
- 保証期間経過後の修理は有料となります。
- 本製品の故障または本製品の使用によって生じた直接、間接の損害および付随的損害（録画再生に要した諸費用および録画再生による得べかりし利益の喪失、記録されたデータが正常に保存・読み出しができないことによって発生した損害等）については、弊社ではその責任を負いかねますのでご了承願います。

修理を依頼されるときは

- 故障内容を明確にご指示ください。また、修理品を送付される場合は、見本のデータやプリントを添付いただくなど故障内容を明確にご指示の上、十分な梱包でお送りください。

修理対応期間について

- ビデオカメラの修理対応期間は、製造打ち切り後8年です。なお、弊社の判断により保守サービスとして同一機種または同程度の仕様製品への本体交換を実施させていただく場合があります。その場合、旧製品でご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応OSが変更になることがあります。

修理料金について

- 故障した製品を正常に修復するための技術料と修理に使用する部品代との合計金額からなります。
- 窓口で現品を拝見させていただいてから概算をお知らせいたします。なお、お電話での修理見積依頼につきましては、おおよその仮見積になりますので、その旨ご承知おきください。

修理について

■ 修理に出すまえに

- 不具合症状の再現・確認のために、記録メディアをお預かりすることがあります。その場合、修理の前に必ずデータをバックアップしてください。なお、修理によってデータが消去された場合の補償についてはご容赦ください。
- 修理の際、必要最小限の範囲で記録メディア内のデータを確認させていただくことがあります。ただし、データを弊社が複製・保存することはありません。

■ 修理のお問い合わせは

カメラ修理受付センター

050-555-99077 (全国共通)

9:00 ～ 18:00 (1月1日～ 1月3日を除く)

電話番号はよくご確認の上、おかけ間違いのないようお願いいたします。

上記電話番号をご利用にならない場合は、

043-211-9316をご利用ください。

- 購入年月日、型名「iVIS HF G40」、故障内容を明確にお伝えください。不具合内容を確認の上、修理方法をご案内いたします。
- 修理を承る窓口をご案内いたします。
- 修理品の引き渡し方法（宅配便発送／弊社によるお引き取り）やお届けについてご案内いたします。
- お近くにサービスセンターがない場合は、ご自宅にいながら修理申込みができる「らくらく修理便（引取修理サービス）」をご利用いただけます。キヤノンサポートページの「修理のお問い合わせ・お申込み」→「キヤノン製品を、快適に、安心してお使いいただくために。」→「らくらく修理便」をご覧ください。

ビデオカメラの使用方法やData Import Utilityに関するご相談窓口は

キヤノンお客様相談センター

050-555-90003 (全国共通)

9:00～18:00 (1月1日～1月3日を除く)

※上記番号をご利用になれない場合は043-211-9394をご利用ください。

■保証書は製品の箱に添付されています
本保証書と納品書を合わせて保管してください。

デジタルビデオカメラホームページ

最新の情報については、こちらをご覧ください。

デジタルビデオカメラ製品情報
canon.jp/ivis

キヤノン サポートページ
canon.jp/support

CANON iMAGE GATEWAY
<http://www.imagegateway.net/>

■本書の記載内容は2016年4月現在のものです
製品の仕様および外観は予告なく変更することがあります。ご了承ください。

Canon

キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6